

# 上越教育大学 上廣道德教育アカデミー

第Ⅱ期（令和3年度～令和4年度）

事業報告書



## 上越教育大学上廣道德教育アカデミー 「第Ⅱ期終了」を祝して

上越教育大学学長  
上廣道德教育アカデミー統括監督者  
林 泰成

公益財団法人上廣倫理財団よりご寄附をいただき、平成30年度に上越教育大学上廣道德教育アカデミーが設置されました。最初の3年間は第Ⅰ期として令和2年度末に事業が終了し、今回、令和3・4年度の2年間で取り組んできた第Ⅱ期の事業が終了します。

第Ⅰ期では、道德の教科化が平成30年度からまず小学校で、翌年度から中学校で実施されたこともあり、本アカデミーの研修会等でも、「道德の教科書に代えて別な教材を使うことは可能なのかどうか」とか、「評価はどう行うのか」とか、授業を行う上での基礎的な問いが、現場で授業を実践している先生方からも出ていたように思います。第Ⅱ期に入ると、もう少し深いレベルの問いが出され、多様な指導方法の導入と同時に、個々の子どもたちに望ましい道德性を育む道德科授業の実践についての議論が研修会でも、学校現場でも行われているように私は感じています。この第Ⅱ期に本アカデミーが取り組んだ内容については、本事業報告書をご覧いただきたいと存じます。

道德を教科化しようという議論が政府で始まったとき、私は、教科化は難しいのではないかと考えていました。道德は、知識を教えることを中心とするような教科とは違って、ある総合的な価値観を身に付けることを狙っているからです。もし、教科化によって、知識を教えるように道德的価値を教えることになるとすれば、それは道德教育に反することになるのではないかとさえ思っていました。しかし、この教科化は、実際には、「考え、議論する」道德への転換であり、道德ばかりでなく教科の指導も含めて、アクティブラーニング（学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」という表現に変わりました）という手法への転換であり、主体的な学びとしての道德学習にどんどん近づいているように見えます。

いま振り返ってみますと、教科化の際の私の危惧は間違っていたと思います。道德教育は、考えてみれば、民主的な社会においても必要なものです。この点では、道德の時間の「特別の教科 道德」への転換と時期を同じくして、公益財団法人上廣倫理財団のご寄附による上廣道德教育アカデミーを設置できたこと、そしてそのアカデミーの活動を通して、新しい道德教育の在り方を本学が支援できたことは、とても幸せな巡り合わせだったと思っています。大学は、いま、教育・研究に加えて社会貢献が求められています。そうした意味でも、本アカデミーの活動を、大学としては今後も大切にしていきたいと考えています。

第Ⅱ期の事業は令和4年度で終わりますが、これまでの本学での取り組みを評価していただき、第Ⅲ期においても、また新しい事業に取り組むことになっています。公益財団法人上廣倫理財団をはじめ関係の皆様には、これまでのご支援に厚く御礼申し上げますとともに、今後の活動に対してもさらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

# ご挨拶

公益財団法人上廣倫理財団  
事務局長 丸山 登

この度、国立大学法人上越教育大学上廣道德教育アカデミーの第Ⅱ期の事業報告書の発刊にあたり、これまでの5年間の関係者の皆様のご努力に敬意を表するとともに、関係者皆様のご尽力に感謝を申し上げます。

上廣道德教育アカデミーは、全国の小学校において、「道德の時間」が教科化され、「道德科」となった2018年（平成30年）4月に上越教育大学に設立されました。道德教育の教科化にあたり、政府の有識者会議「道德教育の充実に関する懇談会」は、2013年（平成25年）12月の報告書で、以下のように、これまでの「道德の時間」の課題を指摘しました。

- 地域間、学校間、教師間の差が大きく、道德教育に関する理解や道德の時間の指導方法にばらつきが大きい。
- 道德の時間の指導方法に不安を抱える教師が多く、授業方法が、単に読み物の登場人物の心情を理解させるだけなどの型にはまったものになりがちである。
- 児童生徒の発達の段階に即した道德の時間の指導方法の開発・普及が十分でない。

これらの課題は、学校現場だけで解決できるものではないことは言うまでもありません。上越教育大学では、これらの課題に向かい合い、地元教育委員会とも連携して、上廣道德教育アカデミーの活動を通して、教科化における教科としての理解の徹底、多様な指導法を目指す教師の力量形成と、道德教育の可能性を広げる研究を着実に進めてこられました。

2018年4月から3年間の第Ⅰ期に続き、第Ⅱ期の2021、2022年度は、第Ⅰ期の研修の成果を踏まえて、新潟県において道德教育推進の拠点となる学校の育成を図り、研修の発信に努めるとともに、教科となり対応が求められた特別支援教育における道德教育をテーマとして研究を進めてこられました。

また、この第Ⅱ期はコロナ感染症が広がり、学校へ足を運べないという状況のなかで、いち早く研修をオンラインに切り替え、歩みを止めずに教師への学びの提供を続けてこられました。

明日の日本を担う児童生徒の道德性の養成は各教科による知力の充実を樹木の幹や枝とするならば、根の部分に相当する働きであると、私どもは考えています。道德教育の充実は、未来の日本の希望につながります。

2022年12月には、第Ⅲ期の寄附覚書が締結をされて、2023年4月から6年間の新たな上廣道德教育アカデミーの活動が始まります。教育現場は常に新しい課題を抱えています。私どもは、皆様のご努力に寄り添い、見守って参ります。アカデミーのより一層の活動の充実と広がりをご期待申し上げます。

# 事業実施報告

## 目次

### 令和3年度

・事業計画と事業報告（概要）	1
①派遣事業	7
②教職員のための自主セミナー（水曜セミナー）	16
③研究大会	19
④協定を結んだ研修拠点校における研修事業	25
⑤特別支援教育における道徳授業モデルの作成・構築事業	37

### 令和4年度

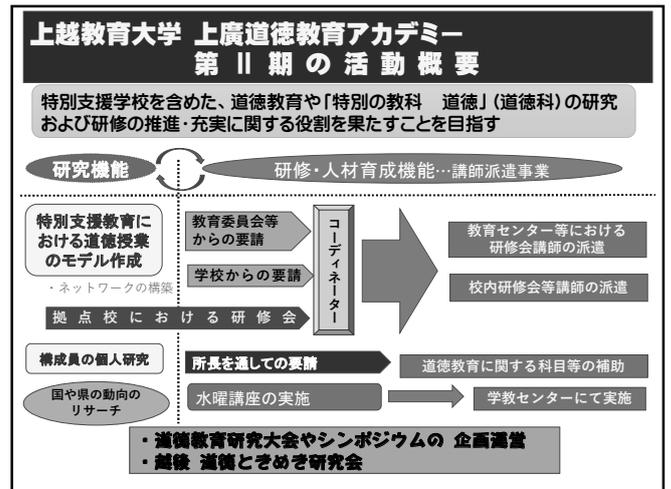
・事業計画と事業報告（概要）	40
①派遣事業	47
②教職員のための自主セミナー（水曜セミナー）	56
③研究大会	61
④協定を結んだ研修拠点校における研修事業	67
⑤特別支援教育における道徳授業モデルの作成・構築事業	80



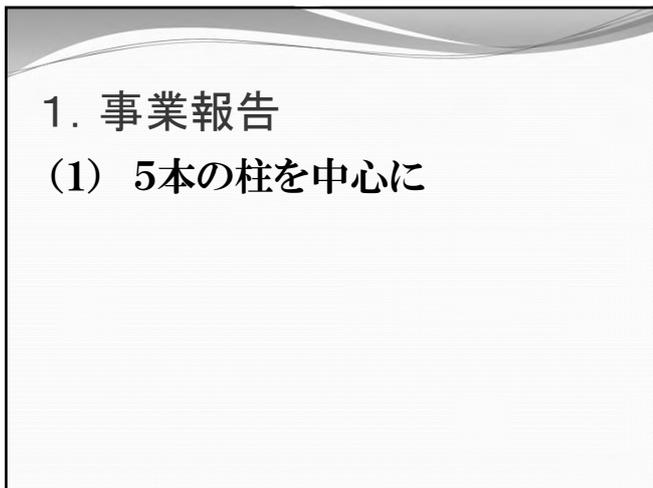
# 1. 令和3年度事業報告…概要



1



2



3

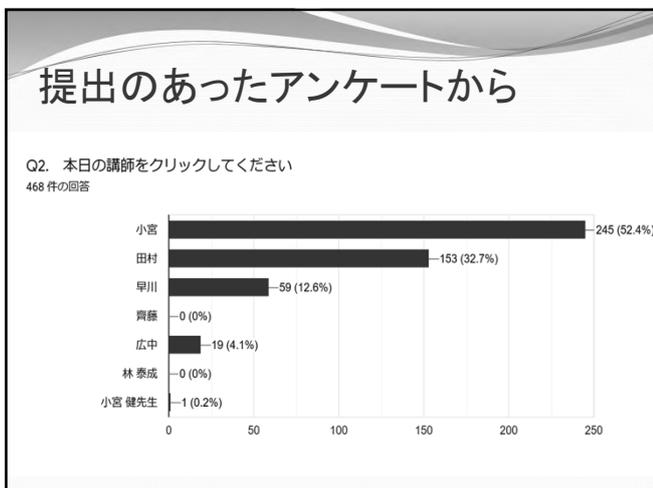
### 1. 【研修会への無償による講師派遣事業】

教員の道德科に関する授業力の向上、学校での道德科授業や道德教育の充実、推進のため、各学校、教育委員会、教育センター、各種研究団体主催の研修会等に、本アカデミーの職員を、無償にて講師として派遣する

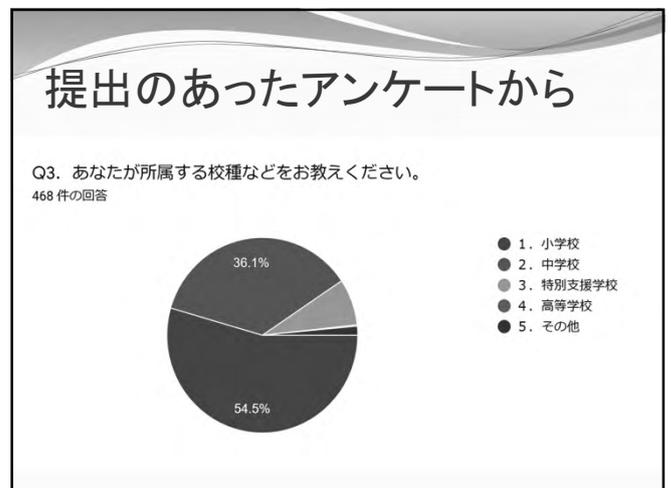
派遣回数...延べ72回  
県内:63回 県外:9回  
(上廣道德教育アカデミー 客員講師を含める)

※客員講師  
○上越教育大学上廣道德教育アカデミー設置要項 第6条  
学校現場の教員を対象とした研修講座等を実施するため、学外の教員等を招致することができる。  
2 前項の規定により招致した者を客員講師と称する。

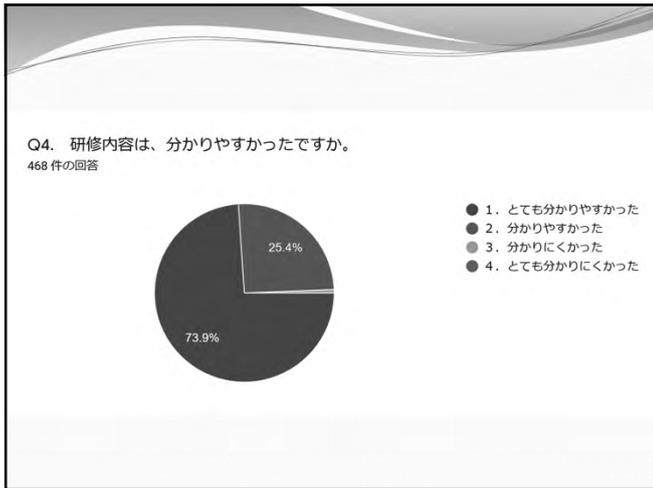
4



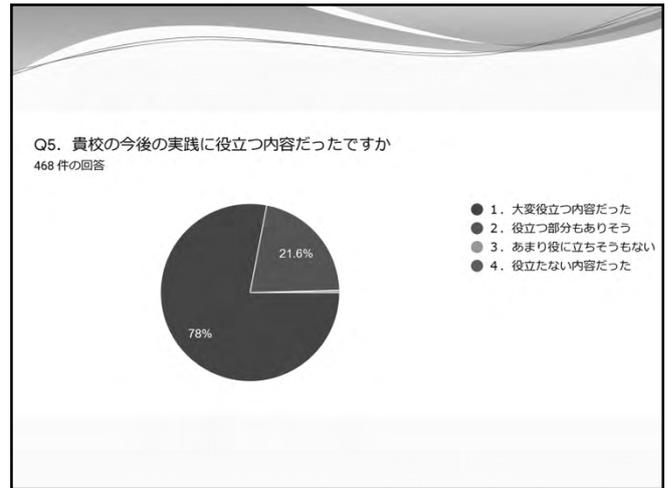
5



6



7



8

## 2.【研修講座の開設・実施】

質の高い多様な道徳科の授業、道徳科の理解、道徳科の評価、道徳教育推進のための計画づくりや体制づくりなど、大学、地域の教育センター等と連携し、道徳教育の研修講座を開設・実施する。

※ 上越教育大学学校教育実践研究センターにおける「教職員のための自主セミナー」で「上廣道徳教育アカデミー 道徳教育セミナー」を開設。  
今年度、4回実施  
(参加者 延べ15人)

9

上越教育大学教職員のための自主セミナー(水曜セミナー)  
「上廣道徳教育アカデミー 道徳教育セミナー」実施一覧

会場: 上越教育大学学校教育実践研究センター

回	実施日	対象・テーマ・内容	講師	参加数
1	10月27日	【中学校対象①】「個性の伸長」をテーマに	田村	2
2	11月10日	【小学校対象①】 6年生「ブランコ乗りとピエロ」(相互理解・寛容)を教材に	小宮	4
3	11月17日	【中学校対象②】「個性の伸長」を継続テーマに	田村	2
4	12月1日	【小学校対象②】 2年生「ぼんたとかんた」(善悪の判断、自律、自由と責任)を教材に	小宮	7

10

## 3.【研修プログラムの構築と、道徳教育に関わる新しいスタイルの探究】

公益財団法人上廣倫理財団と連携し、全国展開できる研修プログラムの構築並びに道徳教育や道徳科授業の様々なスタイルを探究していく。

「令和3年度  
上廣道徳教育アカデミー  
道徳教育研究大会」  
令和3年8月19日  
Zoomによるリモート研修  
参加者115名

参加者内訳

参加者内訳	割合
県内	53.0%
県外	44.3%
本学学生・院生	2.7%

11

13:00	●基調講演 「道徳授業における学びとは何か」 林 泰成 (上廣道徳教育アカデミー統括監督者 上越教育大学 学長)
14:00	
14:10	●シンポジウム テーマ 「道徳授業の主体的、対話的、深い学びを考える」 ○シンポジスト 鈴木 賢一 (愛知県あま市立七宝小学校教諭) 佐々木 篤史 (弘前大学教育学部附属中学校教諭) 木下 美紀 (福岡県宗像市立玄海東小学校主幹教諭) ○コーディネーター 田村 博久 (上廣道徳教育アカデミー 特任教授)
15:30	

12

15:45 ●道徳授業の実践紹介(話題提供)

**A会場 小学校Ⅰ：低・中学年**

- 実践紹介者 秋山 佳子 (上越市立高田西小学校教諭)  
林 誠仁 (上越市立柿崎小学校教諭)
- 指定討論者 木下 美紀 (福岡県宗像市立玄海東小学校主幹教諭)
- 司会 早川 裕隆 (上廣道徳教育アカデミー 所長)

**B会場 小学校Ⅱ：中・高学年**

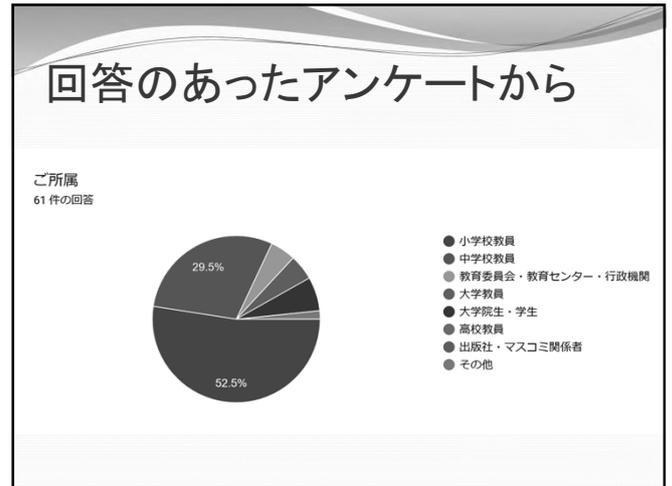
- 実践紹介者 梅澤 ちひろ (上越市立稲田小学校教諭)  
松榮 尚樹 (新潟市立亀田小学校教諭)
- 指定討論者 鈴木 賢一 (愛知県あま市立七宝小学校教諭)
- 司会 小宮 健 (上廣道徳教育アカデミー 特任教授)

**C会場 中学校**

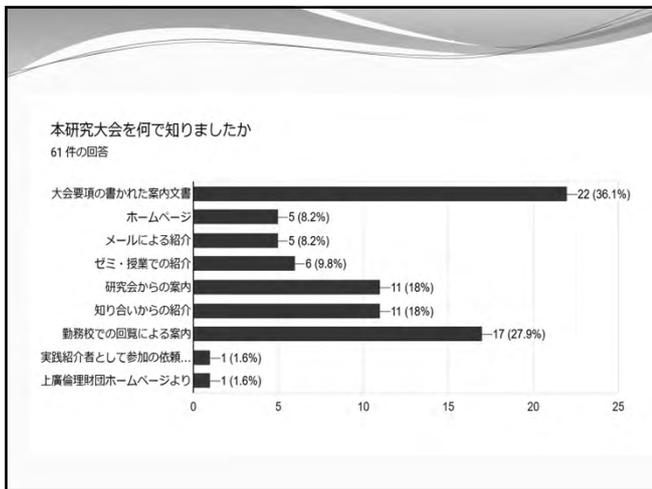
- 実践紹介者 佐久間 奈々子 (新潟市立宮浦中学校教諭)  
川上 綾子 (見附市立南中学校教諭)
- 指定討論者 佐々木 篤史 (弘前大学教育学部附属中学校教諭)
- 司会 田村 博久 (上廣道徳教育アカデミー 特任教授)

16:55

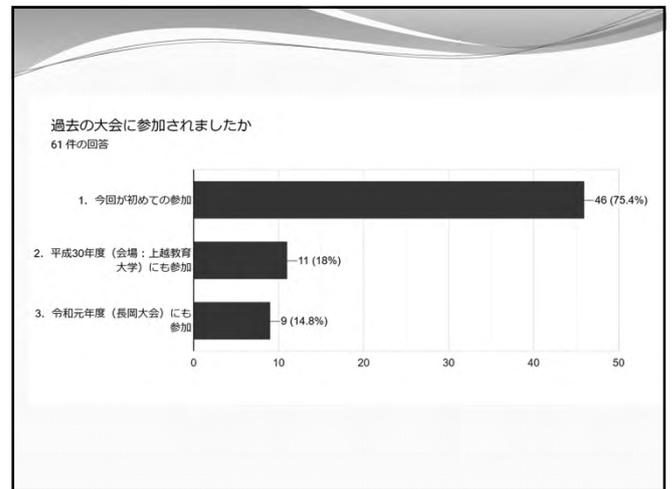
13



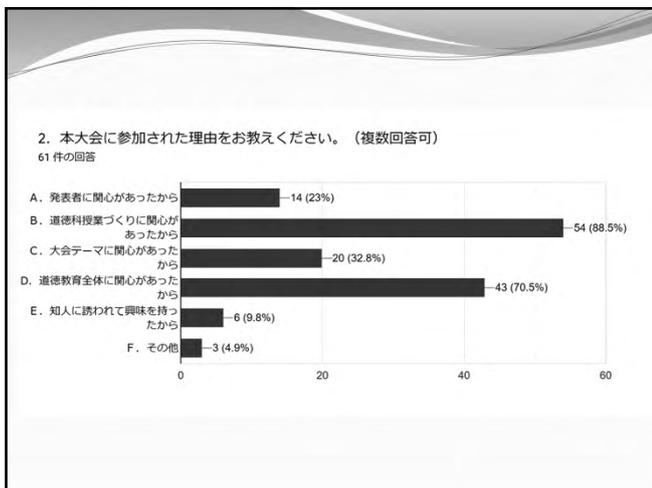
14



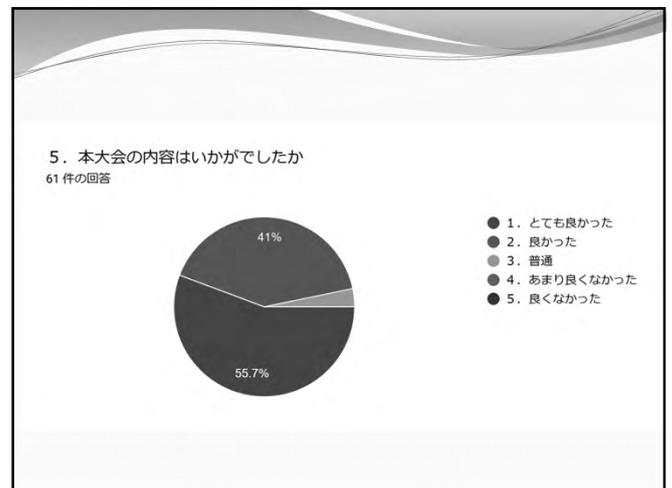
15



16



17



18

#### 4.【協定を結んだ拠点校における研修事業】(新規)

「研修拠点校」における研修会を複数回重点的に実施し、近隣の学校にも広く開放して、多くの先生方にも参加してもらえるようにする。

上越エリア	上越市立板倉中学校 上越市立稲田小学校
中越エリア	長岡市立梧吉中学校
下越エリア	新潟市立小針小学校



19

#### 拠点校への講師派遣について

学校名	回数	日にち	派遣講師…予定していた講師が変更になった場合は、変更前の講師を( )で記述	研修の形態 (対面・オンライン・視聴授業等)
上越市立板倉中学校	第1回	5/17 (月)	早川 裕隆 (客員講師 齋藤 真弓)	対面・公開授業・模擬授業・講話
	第2回	7/12 (月)	早川 裕隆・小宮 健	対面・公開授業・協議会・指導
	第3回	10/18 (月)	早川 裕隆・小宮 健	対面・公開授業・協議会・指導
	第4回	12/20 (月)	客員講師 齋藤 真弓	対面・示範授業・講話
上越市立稲田小学校	第1回	5/27 (木)	早川 裕隆・小宮 健	対面・示範授業・演習・講話
	第2回	8/23 (月)	客員講師 広中 忠昭	オンライン・模擬授業・講話
長岡市立梧吉中学校	第1回	6/29 (火)	客員講師 広中 忠昭	オンライン・模擬授業・講話
	第2回	9/17 (金)	早川 裕隆・小宮 健	対面・演習・講話
	第3回	11/11 (木)	早川 裕隆	対面・公開授業・協議会・指導
	第4回	1/11 (火)	客員講師 広中 忠昭	対面・示範授業・講話
新潟市立小針小学校	第1回	7/26 (月)	早川 裕隆	対面・模擬授業・講話
	第2回	1/28 (金)	早川 裕隆・小宮 健	オンライン・公開授業・協議会・講話

20

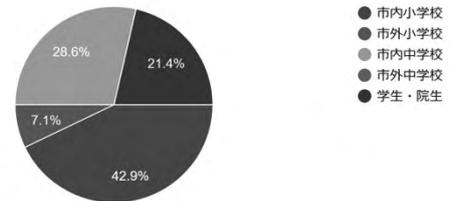
#### 外部参加者の反応(14名)

会場校名を選択してください。  
14件の回答



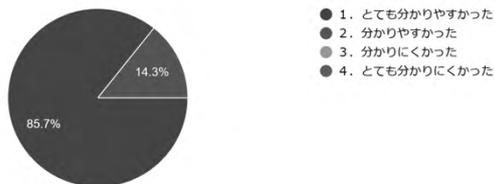
21

ご所属を選択してください  
14件の回答



22

Q1. 研修内容はわかりやすかったですか  
14件の回答



23

Q2. 貴校の今後の実践に役立つ内容だったですか  
14件の回答



24

## 5.【特別支援教育における道徳授業モデルの作成と、ネットワークの構築】（新規）

県内外の特別支援学校・学級と連携し(以下、研究協力校)、特別支援教育における道徳授業モデルを作成するとともに、特別支援教育における道徳教育の推進に関するネットワーク(協議会)を構築する。



25

## 協議会メンバー(所属学校名)

学校名	学校名
(熊本大学教育学部附属特別支援学校)	上越市立大町小学校
山口県立宇部総合支援学校	妙高市立新井小学校
山口県立下関南総合支援学校	三條市立大島小学校
小千谷市立総合支援学校	千葉県 流山市立東深井小学校
新潟県立東新潟特別支援学校	千葉県 流山市立おおたかの森中学校

上野道徳教育アカデミー研究員  
本学教員 藤井 和子 教授

26

## 令和3年度

- ①協議会メンバーの決定
- ②5回の協議会運営委員会
- ③2回の研修会を実施(研修会は、広く一般の参加あり)
- ④今後の方針と内容の明確化...実践の蓄積へ

27

## 研修会

第1回 令和3年8月3日(火) 14:30~15:30

- 講師 流山市立東深井小学校校長 笠井 善亮 先生  
流山市立おおたかの森中学校特別支援学級担任  
教諭 新井 紀美 先生
- 演題 「特別支援学級における道徳授業の始め方・進め方」

外部参加申し込み者 12名

28

## 研修会

第2回 令和3年10月23日(土) 13:00~15:00

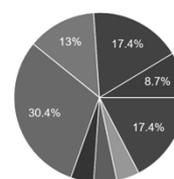
- 講師 聖徳大学名誉教授 吉本 恒幸 先生  
演題 「特別支援教育の分野における道徳の理解と、その進め方」

外部参加申し込み者 35名

29

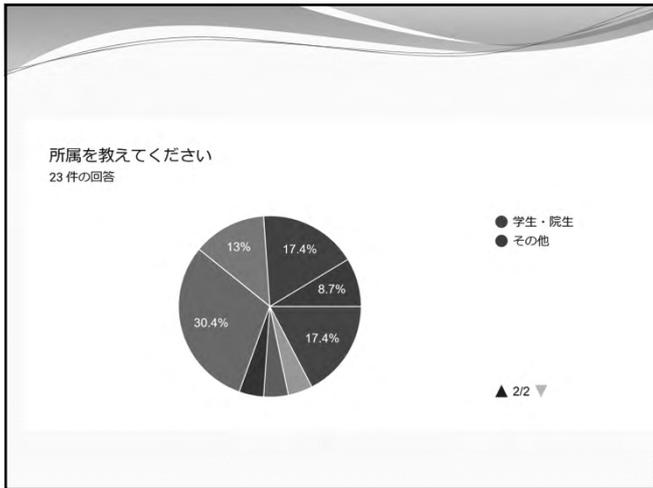
## 回答のあったアンケートから(外部参加者)

所属を教えてください  
23件の回答

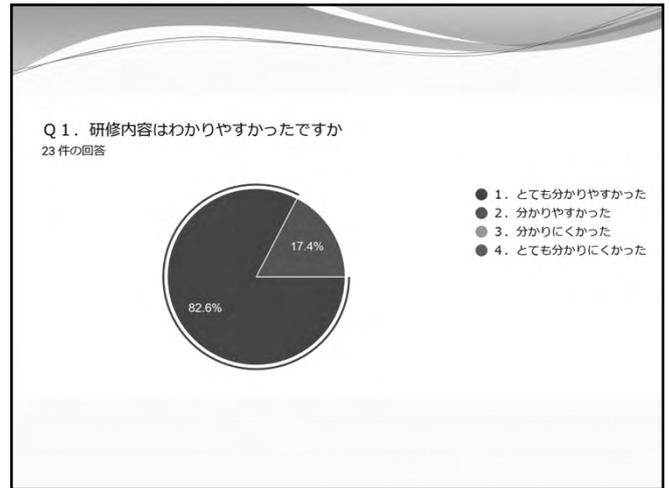


- 特別支援学級 (小学校)
  - 特別支援学級 (中学校)
  - 特別支援学校 (小学部)
  - 特別支援学校 (中学部)
  - 特別支援学校 (高等部)
  - 上記以外の小学校
  - 上記以外の中学校
  - 大学教員
- ▲ 1/2 ▼

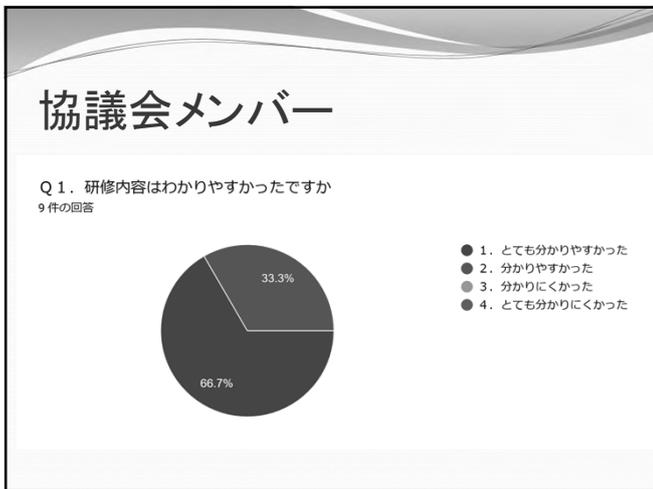
30



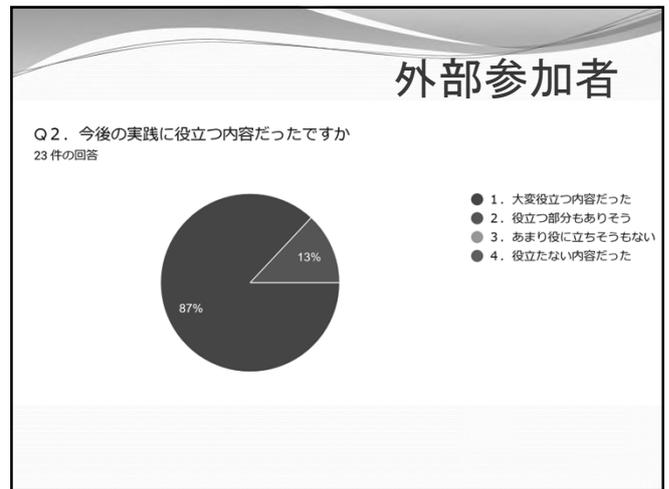
31



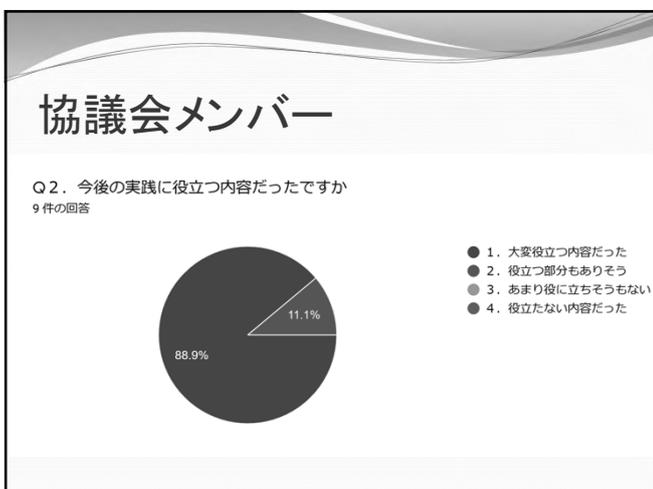
32



33



34



35

派遣

学校名	回数	日にち	派遣講師	研修内容
三条市立大島小学校	第1回	5/13 (木)	早川 裕隆・小宮 健	対面・公開授業・計画合わせ
	第2回	6/17 (木)	早川 裕隆	対面・示範授業・模擬授業・講話
	第3回	9/27 (月)	小宮 健	対面・示範授業・講話
	第4回	1/26 (水)	早川 裕隆	オンライン・模擬授業・講話
上越市立大町小学校	第1回	11/8 (月)	早川 裕隆・小宮 健	対面・指導案検討
	第2回	11/19 (金)	小宮 健	対面・公開授業・振り返り
	第3回	12/2 (木)	小宮 健	対面・公開授業の指導?・協議会?・講話
	第4回	12/8 (水)	早川 裕隆・小宮 健	対面・指導案検討
	第5回	12/17 (金)	早川 裕隆	対面・公開授業・振り返り
小千谷市立総合支援学校	第1回	12/14 (火)	小宮 健	対面・公開授業(高等部)・振り返り
	第2回	2/16 (水)	小宮 健・早川 裕隆	オンライン・公開授業(中等部)・振り返り
	第3回	2/18 (金)	小宮 健	オンライン・公開授業(初等部)・振り返り
流山市立おおたかの森中学校	1	2/21 (月)	早川 裕隆	オンライン 講話・模擬授業
流山市立東深井小学校	1	9/24 (金)	早川 裕隆	打ち合わせ(私費・年休)

36

## 2. 事業報告

### ① 派遣事業

#### (1) 成果

##### <アカデミーの周知について>

開設4年目となり、昨年度末と本年度当初に挨拶と周知活動のため、所長と研修支援コーディネーターが出向いた機関は次のとおりである。

- ◇**県教委** 新潟県教育委員会 新潟県立教育センター 上越教育事務所
- ◇**市町村教委** 新潟 上越 長岡 小千谷 柏崎 妙高 糸魚川 三条 刈羽
- ◇**校長会** 新潟市(小) 上越市(中) 柏崎市刈羽村(小中) 妙高市 糸魚川市 長岡市三島郡(中)
- ◇**研究団体** 新潟県中教研 新潟県小教研 新潟市中教研 新潟市小教研
- ◇**拠点校** 長岡市立栖吉中学校 上越市立板倉中学校 新潟市立小針小学校 上越市立稲田小学校
- ◇**特別支援関係** 上越市立大町小学校 妙高市立新井小学校 三条市立大島小学校 小千谷市立総合支援学校
- ※ 昨年度より拡大した派遣の対象エリアである富山県、長野県については、次の機関にメールによる周知活動を行った。
- ◇**富山県** 県教育委員会 東部教育事務所 西部教育事務所 市町村教育委員会 市町村教育センター
- ◇**長野県** 県教育委員会 北信教育事務所 北信教育事務所管内市町村教育委員会

4年目に入り、アカデミーが各方面に周知されてきたことと、これらの周知活動とが奏功し、コロナ禍の状況にも関わらず、年度初めの4月より県内の小中学校、総合支援学校、高等特別支援学校、行政、研究団体から多数の研修への講師派遣依頼があった。研修支援コーディネーターによる継続的な情報提供と周知活動により、派遣依頼は続いている。

##### <テキスト「道徳科 Q&A ハンドブック」の配布と活用について>

開設当初から参加者にテキストとして配布してきた「道徳科 Q&A ハンドブック」が、8月で在庫がなくなり配布を終了した。本年度の配布総数は464冊である。

##### <派遣依頼の機関について>

本年度の派遣回数は72回である。昨年度はコロナ禍により、最終的に派遣を中止せざるを得ないケースも非常に多かった。本年度も残念ながら中止にせざるを得ないケースもあったが、昨年度より減少、対面は諦めオンラインにより実施したケースが11回あった。しかし、本年度も依頼に至らず断念した機関も多数あったと想像される1年であった。その理由としては、コロナの蔓延のほかにも、校内の研修としてGIGAスクール構想によるICTの運用に関する研修、小学校では外国語指導の研修に重点が置かれ、道徳科研修の入る隙間がなくなったという声も聞かれた。

本年度の県内の小・中・特別支援学校の派遣先は、県内の15市村(新潟、長岡、上越、妙高、柏崎、五泉、佐渡、魚沼、南魚沼、新発田、加茂、三条、燕、小千谷、刈羽村)に及んでいる。行政では、新潟県教育委員会、上越市教育委員会、柏崎市教育委員会、佐渡市教育委員会、長岡市教育委員会、魚沼市教育委員会、三条市教育委員会、また、上越市、妙高市の教育研究団体からの依頼にも応えてきた。(資料1～資料3)。

また、県外に拡大した派遣先である富山県魚津市で2回、他に石川県3回、千葉県4回実施した。

また、本年度も7月に本学教職員大学院と長野県総合教育センターとの連携講座の中に、本アカデミーによる「道徳の授業づくり」の講座を開設させていただいた。

これらの学校・行政・研究団体とのつながりを大切にすることで、それぞれの機関において道徳教育・道徳科授業改善が継続し、研究開発における協力依頼等も円滑に進めることが可能になると思われる。

### <実績と評価>

小学校が教科化4年目、中学校が3年目となり、当初の一番大きな関心事であった「道徳科の評価」に関する依頼は大幅に減少し、授業づくりに関心が移ってきた。

研修内容の例をパンフレットに示してはいるものの、元々道徳の研修と言うと、講話や発問づくり等「座学」のイメージが強いようである。そこで、子どもたちとの示範授業、先生方を子どもに見立てた模擬授業も可能であることを働きかけることで、これらのアクティブな学びの希望が年々増えている。

これらの依頼内容で特筆されるのは「教員対象の模擬授業」の実施で、37件に上った。先生方が子ども役となり、アカデミー講師（または受講者の先生方から希望を募るやり方もある）が教師役となり、実際に教科書教材を使つての授業を行う。この研修の最大の意義は、先生方が「道徳授業の具体的なイメージが持てる」ことにある。教師がどんな発問をどのように投げかけ、子どもの発言をどう受け止め活かしているのかといった、指導案には表れない役割を目の当たりにできる。そして、子どもの立場から人の意見をじっくり聞いてみたり、自分の考えを素直に思いのまま語ったりする中で、どんな意見も教師が受容し価値づけてくれる安心感や喜びと、考えを深める体験をすることにより、道徳授業の楽しさもまた実感する。このように、頭で理解するのではなく「体感」することで、道徳授業を理解することによって道徳授業のイメージがより鮮明になっていくことが、最も大きな意義になっている。

#### <事後アンケートよりー模擬授業を体験しての感想ー>

- 役割演技を通して主人公の気持ちに寄り添えたことが、自分の心が成長したと感じた。子どもにも体験させたいと思った。
- 模擬授業を受けてすごく発表したいと思った。先生が否定せずに聞いてくれて要約をしてくれるからだと思った。

派遣先の学校のクラスをお借りしての児童生徒との示範授業は、コロナ禍の状況の中にも関わらず17件実施した。子どもたちは初めて出会うアカデミー所員との授業で緊張しているにも関わらず、張り切って取り組んでいた。授業者である所員が、丁寧に発問し個々の発言を大事に扱うことで、子どもたちも自分の体験や価値観を総動員して深く考えようとする姿を目の当たりにし、「ウチの学校の子どもたちでもこんな風に深く考えるんだなあ」と先生方を驚かせる場面もよく見られた。

#### <事後アンケートよりー示範授業を参観しての感想ー>

- 初めて会う生徒を相手に打ち解けた雰囲気や醸成し、一人一人の考えを大切にしながら生徒の意見をつないでいるところを役立てたい。
- 児童への発言を促す言葉かけや聞き出し方はとても参考になった。温かい言葉選びから児童の気持ちを中心に展開していく授業は、参観している側からも児童の気持ちの変化を実感することができた。

アカデミー所員による子ども対象の示範授業、先生方対象の模擬授業を中核とした、言わば「アクティブ・ラーニング」としての研修メニューの提供が、アカデミーによる派遣事業の存在意義として確実に定着してきたと言える。教科化の実施から3～4年経過したとは言え、教科化以後初めて道徳の研修を実施した学校が多い。そのため、未だに多くの先生方は、道徳授業では「一定の型がある」「間違えてはいけない」「ねらいに到達しなければならない」といった縛りがあると感じている。日頃の道徳授業に迷いや改善したい思いがあった先生方にとって、「もっとシンプルに考えて良いのだ」「ねらいをしっかりと立て、子どもが考えたい発問を設定することが大事なのだ」「子どもの発言を丁寧に受け止め活かすこと」等、個々に気づきがあり、「目からうろこが落ちた」という言葉を聞くことが本年度も多かった。

これらのメニューの提供を促進することで、先生方の道徳科における具体的な授業力を身に付けたいという意欲を高め、同時にその意欲に応えていきたい。「教えなければならない」授業から、「先生が教えるのではなく、子どもが考え発見する」授業へと、先生方の道徳の授業観は変わりつつある。「楽しい授業をしたくなった」と先生方や学校全体が前向きに元気になっていく姿こそ、本アカデミーの大きな使命であることを再認識し、努力を重ねていきたい。

#### <研修拠点校への派遣事業>

第Ⅱ期の新規事業として、道徳に関する地域の中核校として発信する力を持つ学校をつくっていくために、県内の各地域に研修拠点校を委嘱し、取り組みを始めた。本年度、上越エリアの上越市立板倉中学校、上越市立稲田小学校、中越エリアの長岡市立栖吉中学校、下越エリアの新潟市立小針小学校の4校と覚書を結んだ。

これらの学校には、派遣の回数に上限を設けず、年間を通じて重点的に研修を充実させるとともに、広報活動を通じて近隣の学校や教員に研修会への参加希望を募り、拠点校としての機能が発揮できるように進めてきたところである。研修の講師として客員講師の派遣も行ってきた。

詳細は、別項で報告する。

#### <特別支援教育における道徳授業モデルの作成事業への派遣>

「特別支援学校・学級での道徳授業はどうしたらよいか？」という現場からあがっていた多くの声に応え、第Ⅱ期の新規事業として、「特別支援教育における道徳授業モデルの作成とネットワークの構築」を立ち上げた。県内外の10機関に及ぶ特別支援学校・小中学校が本事業の研究協力校となり、それらの学校への派遣を行ってきた。

詳細は、別項で報告する。

### (2) 課題

#### <近隣学校への派遣・拡大された派遣先への派遣>

県内の機関からの派遣依頼に応えつつ、近隣に拡大された範囲からの依頼にも応えられるよう備えたい。本年度、富山県からの依頼が2件あったが、コロナの感染状況を踏まえながら、拡大された派遣先へのアカデミーの周知を図る。

一方で、地元上越市の小中学校からの派遣依頼がコロナ禍の影響、GIGAスクール実施等の影響もあり、非常に少なかった。本学との連携事業や教育現場等、関わりのある学校に積極的に働きかけ、

道徳教育の充実・発展に少しでも貢献したいところである。

#### <コロナ禍における派遣事業への対応>

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、今後も派遣事業に携わる所員が健康管理に留意すること、県外への移動は大学からの通知、アカデミー内で決められた行動制限を遵守していくことが大切である。

また、対面を避けたオンラインの研修が今後も継続していくことが予想される。次年度も、大学より「遠隔会議システム Zoom の有料ライセンス」を特任教授 2 名に付与し、オンライン研修を充実させていくことにしている。

## 令和3年度派遣事業 研修一覧

zoomによるリモート研修、メールによる指導等							講話	道徳科 研修 授業	模範 授業	模範づくり 授業 公開	模範づくり 授業 公開	その他
回数	依頼 市町村名	学校名等	人数 (定数)	担当	月 日	曜 内 容 等						
32	24	加茂	須田中①	6	小宮	04月28日	水 加茂市教育委員会指定研究発表会(小中連携)、須田中学校の教員による道徳授業(2年1組公開授業) 加茂市教育委員会指定研究発表会(小中連携)、模範授業 加茂市教育委員会指定研究発表会(小中連携)、協議会:対話力を育成するためにどのようなことが必要か 加茂市教育委員会指定研究発表会(小中連携)、指導			1		1
35	26	長岡	秋葉中	23	田村	05月10日	月 「問題解決的な道徳授業」示範授業、(14:05~14:55) 「問題解決的な道徳授業」講話(15:10~16:20)	1			1	
16	14	三条	大島小①	4	小宮	05月13日	木 授業参観5年生6名(14:00~14:45)、 計画話し合い・意見交換(15:00~16:00)				1	1
10	9	上越	清里中①	12	田村	05月17日	月 模範授業の実施 職員向けの講義? 質疑応答	1		1		1
24	19	上越	【拠点校】板倉中①	25	早川	05月17日	月 学年道徳公開(3学年) 講師による模範授業 授業づくりについての講話	1	1			
45	33	上越	【拠点校】稲田小①	24	小宮	05月27日	木 小宮Tによる示範授業(4年2組: ~ ) 職員研修:早川Tによる講話 職員研修:早川Tによる演習	1			1	1
12	10	上越	黒田小	10	小宮	05月31日	月 3年生(児童23名)を対象にした示範授業(14:00~14:45) 職員向けの研修 模範授業 質疑応答(15:00~18:30)	1			1	1
4	4	新潟県	県立教育センター	4	小宮	06月01日	火 教科リーダー育成講座(小・中・特)、講義「学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり」 教科リーダー育成講座(小・中・特)、模範授業	1		1		
9	8	長岡	山古志中	10	田村	06月02日	水 山古志小学校の職員も参加(授業、研修会に4名、テキスト小学校分6冊)「考え、議論する道徳授業」についての研修 山古志小学校の職員も参加(授業、研修会に4名、テキスト小学校分6冊)示範授業	1			1	
6	6	上越	上越市教育センター①	4	小宮	06月04日	金 山古志小学校の職員も参加(授業、研修会に4名、テキスト小学校分6冊)教員に向けた考え議論する道徳の授業づくりや指導方法についての研修 「道徳教育研修Ⅰ(小)」小学校対象、具体的な教材を取り上げ、子どもが自分との関わりで道徳的価値を捉え、多面的・多角的に考えられるような指導方法について学ぶ(小学校) 「道徳教育研修Ⅰ(小)」小学校対象、教材解釈、 「道徳教育研修Ⅰ(小)」小学校対象、模範授業	1	1	1		
21	16	佐渡	佐渡総合教育センター(畑野)	34	田村	06月04日	金 児童生徒の学びを一層深めるための指導の在り方について 模範授業を含めて	1		1		
37	28	新潟	山潟小①	20	小宮	06月15日	火 3限 示範授業①(2年2組)10:45~11:30 5限 示範授業②(6年1組)13:50~14:35 模範授業 職員研修(本時の授業についての解説、「議論する道徳」についての講義)	1		1	1	1
17	14	三条	大島小②	12	早川	06月17日	木 4校時:ウォーミングアップ(5年生)11:25~12:10 5校時:示範授業(5年生)14:00~14:45 職員研修:模範授業 15:15~16:45 職員研修:講話 15:15~16:45	1		1		1
28	18	五泉	愛宕小	17	小宮	06月17日	木 「ここがポイント!道徳科の授業づくり」 模範授業	1		1		
7	6	上越	上越市教育センター②	4	田村	06月29日	火 事前に職員から「指導が難しかった」「指導が不安」という教材についての研修 「道徳教育研修Ⅱ(中)」中学校対象、具体的な教材を取り上げ、子どもが自分との関わりで道徳的価値を捉え、多面的・多角的に考えられるような指導方法について学ぶ(中学校) 「道徳教育研修Ⅱ(中)」中学校対象、教材解釈 「道徳教育研修Ⅱ(中)」中学校対象、「考え議論する」場面設定や発問等の授業づくり 「道徳教育研修Ⅱ(中)」中学校対象、評価の方法 「道徳教育研修Ⅱ(中)」中学校対象、模範授業	1	1	1		
48	35	長岡	【拠点校】栖吉中①	16	広中	06月29日	火 *栖吉中学校の要望で新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施。模範授業 *栖吉中学校の要望で新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施。講話	1		1		
3	3	長野県	長野県総合教育センター	14	早川	07月01日	木 「道徳授業づくりの理論と実践」、道徳科の授業の意義やあり方に関する講義 「道徳授業づくりの理論と実践」、演習 「道徳授業づくりの理論と実践」、模範授業、	1		1		
13	11	長岡	北中	20	田村	07月01日	木 示範授業 協議会	1				1
5	5	長岡	長岡市教育センター	7	小宮	07月05日	月 中学校教材での役割演技による模範授業 道徳科授業づくりに関する講義	1	1			
47	34	新発田	加治川中	16	田村	07月05日	月 示範授業(中2):13:50~14:40 校内研修会「授業解説と問題解決型授業のポイント②」:15:10~16:40	1			1	
41	30	上越	明治小①	8	小宮	07月08日	木 第2学年道徳 授業公開(13:45~14:30) 協議会(15:45~15:30) 講話(15:40~16:40):授業についての指導 講話(15:40~16:40):発問の工夫 講話(15:40~16:40):自分の考えの伝え方(役割演技や対話、ディベート等) 模範授業	1				1
25	19	上越	【拠点校】板倉中②	21	小宮	07月12日	月 授業公開(1年生2クラス)<板倉中職員18名+県中教研上越地区推進委員3名+院生1名> 協議会(2会場)<板倉中職員18名+県中教研上越地区推進委員3名+院生1名> 指導・講話(1会場)<板倉中職員18名+県中教研上越地区推進委員3名+院生1名>	1		1		1
56	39	石川県金沢市	金沢市立高尾台中学校	35	田村	07月12日	月 示範授業(2年生) 講義「生徒が主体的・共同的に学び、つながりのある道徳授業をめざして」	1			1	
22	17	柏崎	柏崎市教育センター	43	小宮	07月16日	金 柏崎市立比角小学校における示範授業(13:45~14:30) 講演(15:00~16:30)	1		1		

zoomによるリモート研修、メールによる指導等							講話	模擬授業	模範づくり演習	模範授業公開	その他		
回数	依頼	市町村名	学校名等	人数(実数)	担当	月日	曜	内容等	講話	模擬授業	模範づくり演習	模範授業公開	その他
54	38	新潟	【拠点校】小針小①	29	早川	07月26日	月	テーマ「『考え、議論する道徳』の実現を図るか(仮)」、講義 テーマ「『考え、議論する道徳』の実現を図るか(仮)」、模擬授業 テーマ「『考え、議論する道徳』の実現を図るか(仮)」、質疑応答	1				1
20	15	燕	栗生津小	15	小宮	07月27日	火	4年道徳の模擬授業 道徳科の授業のつくり方について模擬授業の解説 質疑応答	1		1		1
52	36	長岡	豊田小	25	田村	07月28日	水	模擬授業 講話 質疑応答	1		1		1
28	20	千葉県我孫子市	我孫子市教育委員会	34	小宮	07月30日	金	教育委員会主催の道徳研修会、講義「役割演技を取り入れた道徳科の授業」、研修参加者は、千葉県我孫子市内の研修会場に集まるが、小宮Tは、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 教育委員会主催の道徳研修会、模擬授業、研修参加者は、千葉県我孫子市内の研修会場に集まるが、小宮Tは、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 教育委員会主催の道徳研修会、道徳科の評価について(学習中にどう見とるか等)、研修参加者は、千葉県我孫子市内の研修会場に集まるが、小宮Tは、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施	1		1		
1	1	富山県魚津地区	魚津地区教育センター協議会	103	早川	08月02日	月	道徳科の理解と指導力の向上 役割演技を取り入れた道徳科の授業づくり(模擬授業) 具体的な評価方法等	1		1		
33	24	加茂	須田中②(須田中学校区)	19	広中	08月02日	月	加茂市立須田中学校での小中合同研修会(小中職員参加:130~300)、7/5の加茂市立須田小学校での公開授業についての指導。加茂市教育委員会指定研究発表会(小中連携)、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施。 加茂市立須田中学校での小中合同研修会(小中職員参加:130~300)小中連携で取り組む研究概要に関する指導。加茂市教育委員会指定研究発表会(小中連携)、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施。 加茂市立須田中学校での小中合同研修会(小中職員参加:130~300)道徳教育に関わる職員研修。加茂市教育委員会指定研究発表会(小中連携)、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施。	1				
42	30	上越	明治小②	8	小宮	08月03日	火	第4学年模擬授業「近いた赤鬼」(9:30~10:15) シナリオ教材を活用した役割演技や対話を取り入れた道徳授業のポイント(10:15~11:00):模擬授業を基にした協議 シナリオ教材を活用した役割演技や対話を取り入れた道徳授業のポイント(10:15~11:00):模擬授業を基にしたご指導	1				1
44	32	上越	公孫会くびき野支部 青年部	13	田村	08月04日	水	オンライン研修(Zoomによるリモート研修)で実施、小学校高学年~中学校での効果的な授業展開について オンライン研修(Zoomによるリモート研修)で実施、模擬授業、小学校高学年~中学校での効果的な授業展開について オンライン研修(Zoomによるリモート研修)で実施、質疑応答(全員にアンケート済み)	1		1		1
46	33	上越	【拠点校】稲田小②	20	広中	08月23日	月	オンライン研修(Zoomによるリモート研修)で実施 2時間~3時間、模擬授業 オンライン研修(Zoomによるリモート研修)で実施 2時間~3時間、講演	1		1		
58	41	長岡	柿小	12	田村	08月25日	水	柿小12、旭岡中数名、「特別の教科 道徳」の基本的な理念について(道徳が教科化された背景、道徳科の目標、これまでの道徳との違いについて等) 柿小12、旭岡中数名、「考え、議論する道徳」授業づくりについて(実践例等を交えてご講話いただけるとうりがたいです) 柿小12、旭岡中数名、模擬授業	1		1		
31	23	佐渡	佐和田中	19	田村	08月30日	月	示範授業、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施(時間、内容等の変更はない、示範授業もZoomによるリモートで実施する) 職員向けの講義、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施(時間、内容等の変更はない、示範授業もZoomによるリモートで実施する)	1				1
36	27	南魚沼	上関小	11	小宮	09月06日	月	示範授業「ハチドリのはやしづくし」(3年生:昨年度、小宮Tが示範授業を行った学年) 示範授業「ハチドリのはやしづくし」についての解説、道徳の授業の組み立てについての講義 模擬授業 道徳の授業の組み立てについての講義	1		1		1
49	35	長岡	【拠点校】栢吉中②	35	小宮 早川	09月17日	金	栢吉小学校の教職員も参加、講義 栢吉小学校の教職員も参加、授業づくり演習(各学年で資料を1つ選び、中心発問までの指導案を考える)	1				1
29	21	上越	公孫会高田支部中堅・青年部研修会	55	小宮 田村	09月22日	水	道徳科授業の充実のための講話(模擬授業等参加型の研修を希望)、小学校教諭向けの講座。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 模擬授業、小学校教諭向けの講座。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 道徳科授業の充実のための講話(模擬授業等参加型の研修を希望)、中学校教諭向けの講座。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 模擬授業、中学校教諭向けの講座。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施	1		1		
34	25	新潟	県立西蒲高等特別支援学校	37	小宮	09月24日	金	1限:9:35~10:20 道徳授業の参観(1年、2年) 2-3限授業参観(2年:修学旅行の事前学習発表、1年:家庭生活、洗濯等) 職員研修(90分):模擬授業 職員研修(90分):ワークショップ 職員研修(90分):道徳の授業改善に向けた指導助言 職員研修(90分):道徳の評価についての指導助言	1		1		1
18	14	三条	大島小③	11	小宮	09月27日	月	示範授業(14:00~14:45) 模擬授業 日頃の実践をもとに職員の意見交換(15:00~15:30) 指導(15:30~16:30)	1		1		1
61	44	富山県朝日町	富山県小学校教育課程研究会 魚津ブロック道徳科部会	31	早川	10月11日	月	講義「子どもたちが自分の生き方について考えを深めることができる道徳科の授業について、主題の分析、発問や板書等の教師の働きかけのあり方を学ぶ」。参加者は、黒部市立中央小学校に集まり、Zoomによるリモート研修。 模範授業「子どもたちが自分の生き方について考えを深めることができる道徳科の授業について、主題の分析、発問や板書等の教師の働きかけのあり方を学ぶ」。参加者は、黒部市立中央小学校に集まり、Zoomによるリモート研修。 演習「子どもたちが自分の生き方について考えを深めることができる道徳科の授業について、主題の分析、発問や板書等の教師の働きかけのあり方を学ぶ」。参加者は、黒部市立中央小学校に集まり、Zoomによるリモート研修。	1		1		1
11	9	上越	清里中②	10	小宮	10月12日	火	示範授業1年(5限:13:50~14:40) 協議会(6限:14:50~15:40)					1
26	19	上越	【拠点校】板倉中③	25	早川 小宮	10月18日	月	授業公開(2年生2クラス) <板倉中職員18名+県中教研上越地区推進委員5名+院生3名> 協議会(2会場) <板倉中職員18名+県中教研上越地区推進委員5名+院生3名> 指導・講話(1会場) <板倉中職員18名+県中教研上越地区推進委員5名+院生3名>	1				1
2	2	魚沼	魚沼市教育委員会	40	小宮	10月20日	水	示範授業(魚沼市立魚沼北中学校2年生) 模範授業 講演会(対象は、魚沼市の各中学校等の教職員) 教職員対象の研修会、模擬授業について	1		1		1
30	22	三条	第4中	20	小宮	10月25日	月	教職員対象の研修会、道徳授業の進め方について 教職員対象の研修会、ロールプレイや役割演技などに係る講義	1		1		
60	43	新潟	巻東中	24	小宮	10月26日	火	示範授業(1年生):13:40~14:30 全体研修「道徳の授業づくりについて」講話:15:00~15:40 全体研修「道徳の授業づくりについて」模擬授業:15:00~15:40 ご指導:15:40~16:00	1		1		1
39	29	魚沼	広神中①	7	小宮	10月28日	木	2年2組道徳科授業研修(公開授業)の事前録画に係り、授業参観 11/17の研修会の事前打合わせ				1	1

zoomによるリモート研修、メールによる指導等							回数	講師	道徳科の 評価	模擬 授業	授業づくり 公開 授業	その 他
回数	依頼	市町村名	学校名等	人数 (実際)	担当	月日	曜	内 容 等				
8	7	三条	三条市教育委員会	30	小宮	10月29日	金	道徳授業の在り方 役割演技の方法と実際 役割演技の方法と実際:模擬授業 道徳科の評価	1			
68	46	加茂	須田小	2	小宮	11月04日	木	第2学年授業参観 第2学年道徳授業づくりについて(指導案の構想検討)			1	1
64	47	上越	大町小①	3	早川 小宮	11月08日	月	11/19(金)の道徳科実践授業①の構想 11/19(金)の道徳科実践授業①の指導案の検討 12/2(木)の職員研修の打合せ				1 1 1
14	12	石川県金沢市	金沢市中学校教育研究会 道徳部会	26	田村	11月09日	火	模擬授業、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施(時間、内容等の変更はない) 講演、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施(時間、内容等の変更はない)	1		1	
43	31	妙高	妙高市教育研究会道徳部	10	田村	11月10日	水	「考え、議論する道徳」を旨とした模擬授業、オンライン研修(Zoomによるリモート研修)で実施 授業づくりと評価についての研修、オンライン研修(Zoomによるリモート研修)で実施 質疑応答、オンライン研修(Zoomによるリモート研修)で実施	1		1	
50	35	長岡	【拠点校】稻吉中③	20	早川	11月11日	木	公開授業、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、近隣の学校を集めての授業公開は中止とする。講師も県外講師でなく県内講師(早川)として、校内研修とする。(稲吉小学校の教職員の参加の可能性あり) 協議会、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、近隣の学校を集めての授業公開は中止とする。講師も県外講師でなく県内講師(早川)として、校内研修とする。(稲吉小学校の教職員の参加の可能性あり) 講話・指導、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、近隣の学校を集めての授業公開は中止とする。講師も県外講師でなく県内講師(早川)として、校内研修とする。			1	1
40	29	魚沼	広神中②	43	小宮	11月17日	水	協議会:2年2組道徳科授業研修(公開授業)を事前に録画し参加者・小宮Tに事前に送付し視聴してもらおう。当日は、授業参観はなく、協議会をZoomで行う。 指導・講話:2年2組道徳科授業研修(公開授業)を事前に録画し参加者・小宮Tに事前に送付し視聴してもらおう。当日は、授業参観はなく、授業研究協議会での指導・講話のみをZoomで行う。	1			1
65	47	上越	大町小②	11	小宮	11月19日	金	道徳科実践授業①の参観 道徳科実践授業①の振り返り			1	1
66	47	上越	大町小③	16	小宮	12月02日	木	大町小学校全教職員参加の職員研修:11/19(金)の道徳科実践授業①の授業者の振り返り 大町小学校全教職員参加の職員研修:11/19(金)の道徳科実践授業①についての指導・講話 大町小学校全教職員参加の職員研修:11/19(金)の道徳科実践授業①についての協議会	1			1 1
67	47	上越	大町小④	3	早川 小宮	12月08日	水	12/17(金)の道徳科実践授業②の構想 12/17(金)の道徳科実践授業②の指導案の検討				1 1
38	28	新潟	山潟小②	21	小宮	12月13日	月	示範授業(4年) 職員研修	1			1
15	13	柏崎	第2中	21	田村	12月13日	月	職員打合せ 示範授業 職員研修	1			1
59	42	刈羽	刈羽小	10	田村	12月14日	火	示範授業(5年生 42名):14:50~15:35 講話:15:50~16:40	1			1
69	48	小千谷	小千谷市立総合支援学校①	9	小宮	12月14日	火	高等部(1年生)の公開授業:10:00~10:45 授業の振り返り:11:00~11:20 指導:11:20~11:40			1	1 1
58	37	千葉県市川市	市川市立南行徳小学校	30	小宮	12月16日	木	2年生の道徳授業参観(4限) 2年生の道徳授業の指導 示範授業(5限:6年)			1	1
57	40	千葉県市川市	市川市立富貴島小学校	30	小宮	12月17日	金	若年層授業研修:授業参観(5限) 若年層授業研修:職員研修 模擬授業 若年層授業研修:職員研修 講話	1		1	
68	47	上越	大町小⑤	12	早川	12月17日	金	道徳科実践授業②の参観 道徳科実践授業②の振り返り			1	1
27	19	上越	【拠点校】板倉中④	20	齋藤	12月20日	月	示範授業 講話「生徒一人一人が「深い学び」に至るために、発問や意見交流をどのように組み立てていけばよいか」	1			1
51	35	長岡	【拠点校】稻吉中④	17	広中	01月11日	火	模擬授業 職員研修:講話「模擬授業の解説」、「道徳の授業づくり」	1		1	
19	14	三条	大島小④	11	早川	01月26日	水	模擬授業、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 講話(授業づくり)、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 講話(評価等)、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施	1		1	
72	49	新発田	加治川小	18	小宮	01月27日	木	授業公開 6年生 協議会 指導(後日、メールで)			1	1
55	38	新潟	【拠点校】小針小②	48	早川 小宮	01月28日	金	授業公開(2年:田中 流晟、3年:菅原 友和) ミニ協議会、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 指導者による授業解説:指導、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 講演会、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施	1			1
70	48	小千谷	小千谷市立総合支援学校②	7	小宮 早川	02月16日	水	中学部の公開授業:1/25 10:00~10:40 協議会:15:50~16:15、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 講話・指導:16:15~16:45、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施	1			1
71	48	小千谷	小千谷市立総合支援学校③	9	小宮	02月18日	金	小学部(4・5・6年生)の公開授業:1/31 10:20~11:00 協議会:15:50~16:15、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施 講話・指導:16:15~16:45、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施	1			1
62	45	千葉県流山市	流山市立おおたかの森中学校	35	早川	02月21日	月	道徳の授業づくり、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施(時間、内容等の変更はない) 役割演技とは何か、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施(時間、内容等の変更はない) 模擬授業、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、Zoomによるリモート研修で実施(時間、内容等の変更はない)	1 1		1	

## 上廣道徳教育アカデミー 令和 3 年度 派遣事業 派遣回数及び派遣先一覧 (最終版)

赤字・・・研修拠点校 青字・・・特別支援教育における道徳授業協力校

地域	回数	小学校	中学校	小中一貫校・高等学校・特別支援学校	教育委員会等	その他
上越市	20	4) 黒田 1・稲田 2・明治 2・大町 5	2) 板倉 4・清里 2		1) 上越市教育センター 2	2) 公孫会くびき野支部青年部 1 公孫会高田支部中堅青年部 1
柏崎市	2		1) 第二 1		1) 柏崎市立教育センター 1	
長岡市	10	2) 豊田 1・柿 1	4) 栖吉 4・山古志 1・北 1・秋葉 1		1) 長岡市教育センター 1	
新潟市	7	2) 山潟 2・小針 2	1) 巻東 1	1) 県立西蒲高等特別支援学校 1	1) 県立教育センター 1	
加茂市	3	1) 須田 1	1) 須田 2			
燕市	1	1) 粟生津 1				
小千谷市	3			1) 小千谷市立総合支援学校 3		
五泉市	1	1) 愛宕 1				
妙高市	1					1) 妙高市教育研究会道徳部 1
新発田市	2	1) 加治川 1	1) 加治川 1			
魚沼市	3		1) 広神 2		1) 魚沼市教育委員会 1	
南魚沼市	1	1) 上関 1				
三条市	6	1) 大島 4	1) 第 4 1		1) 三条市教育委員会 1	
佐渡市	2		1) 佐和田 1		1) 佐渡総合教育センター 1	
刈羽村	1	1) 刈羽 1				
新潟県	63	新潟県小学校 15	新潟県中学校 13	新潟県 2	新潟県の教育委員会・センター 7	新潟県 3
千葉県	4	2) 市川市立南行徳 1・市川市立富貴島 1	1) 流山市立おおたかの森 1		1) 我孫子市教育委員会 1	1) 金沢市中学校教育研究会道徳部会 1
石川県	2		1) 金沢市立高尾台 1			
長野県	1				1) 長野県総合教育センター 1	
富山県	2				1) 魚津地区教育センター協議会 1	1) 富山県小学校教育課程研究会魚津ブロック道徳科部会 1
<b>合計</b>	<b>72</b>	<b>17</b>	<b>15</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>5</b>

ア 回数は延べ派遣回数

イ 事前の打ち合わせもカウントする

ウ 受講機関件数は同一校で複数回開催は 1 カウント、同一開催で複数校参加 (中学校区で開催等) は各校数で計上

※上記により派遣依頼機関件数と受講機関件数は一致しない

エ 教育センターは教育委員会でカウント

オ 上記以外 ・上越教育大学学校教育実践センターの水曜セミナーで 4 回開催 \*延べ参加者 15 名

まとめ

延べ派遣回数

延べ参加人数

派遣依頼機関件数

受講機関件数

Zoom によるリモート研修

72回 (県内…63回 県外…9回)

1445名

49件 (県内…40件 県外…9件)

49件 (県内…40件 県外…9件)

17件 (県内…13件 県外…4件)

Ⅲ 連携講座

# 上越教育大学教職大学院 連携講座

(教科教育・学級経営実践コース)



上越教育大学教職大学院 教科教育・学級経営実践コース・長野県教育委員会の連携講座



イメージキャラクター  
マナーブ・デ・ジョーキョー先生

研修を楽しんだだけに終わらせない。明日の子どもに役立つ研修とするために、今年度の上越教育大学の講座はチャレンジします。

一緒に創り上げましょう、研修を！

一部講座では、上越教育大学教職大学院 教科教育・学級経営実践コースの学生と一緒に学びます。

アカデミーが講師をおこなった講座

上越教育大学教職大学院 連携講座					実施日				内容、連絡等					
講座番号・講座名														
3-8-01-01 特別支援教育講座 ～小・中学校、高等学校における特別支援教育～					6月18日(金)				午前講義 「特別支援学級の子どものためのキャリア教育入門」 特別支援学級・学校卒業後、30～40歳になった方の保護者、雇い主に聞いた「学校で何を学んで欲しかったか」をお話します。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 西川 純 午後講義 「教育的ニーズのある児童生徒の理解と対応」 通常の学級や通級指導教室における発達障がい等の教育的ニーズのある児童生徒への指導・支援を考えます。 講師 上越教育大学教職大学院 准教授 関原 真紀					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		基礎形成	伸長	充実	次世代育成	希望	- 小中高特 -
					⑧	⑩	⑪	⑬						
3-8-01-02 道徳教育講座 ～道徳授業づくりの理論と実践～					7月1日(木)				道徳科の授業の意義やあり方に関する講義と、小・中学校それぞれの教材を使った模擬授業(演習)を通して、道徳授業づくり、とりわけ、その活用が求められている道徳的行為に関する体験的な学習としての役割演技の活用の仕方、発問、主題とねらい、評価等について具体的に学び、効果的な授業展開ができる授業力の向上を目指します。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 早川 裕隆 講師 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任教授 小宮 健 ・持ち物 所属する校種の学習指導要領解説 特別の教科 道徳編					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		基礎形成	伸長	充実	次世代育成	希望	- 小中 - 特 -
					⑦	⑧	⑨							
ICT 3-8-01-03 ICT活用の初歩講座 ～教科学習・プログラミング教育の実践～					7月20日(火)				午前講義 「教科学習におけるICT活用の基礎と実践」 ICTが苦手な人のための講座です。ICT活用の基本を知り、授業場面での簡単な使い方をタブレットを使いながら体験します。 講師 上越教育大学教職大学院 准教授 榊原 範久 午後講義 「小学校プログラミング教育の基礎と実践」 小学校におけるプログラミング教育の基本を知り、授業におけるプログラミング教育の導入について体験を通して学びます。 講師 上越教育大学教職大学院 准教授 大島 崇行					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		基礎形成	伸長	充実	次世代育成	希望	- 小中高特 -
					⑦	⑧		⑫						
3-8-01-04 主体的・対話的で深い学び講座 ～算数・数学と国語での「深い学び」～					8月26日(木)				午前講義 「算数・数学の本質に迫る授業づくりの理論と実践」 課題を決めるのも、解決方法や結果の妥当性を判断するのも子ども……。そんな子どもの優秀な能力を引き出す授業実践に学びます。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 岩崎 浩 午後講義 「国語科授業での様々な「対話的学び」の体験」 「対話的学び」と「深い学び」は密接に繋がっています。様々な対話型国語授業を作り、学びの様相の変化を検証していきます。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 片桐 史裕					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		基礎形成	伸長	充実	次世代育成	希望	- 小中高特 -
					⑦	⑧	⑨							
3-8-01-05 学級経営講座 ～効果的な集団づくり～					8月31日(火)				午前講義 「学級経営の評価」 学級経営における評価基準の作成から、学級経営の課題と傾向を把握し、今後予想される課題の予防と解決方法を考えていきます。 講師 上越教育大学教職大学院 准教授 岡田 広示 午後講義 「指導力の高い教師の知識と技術」 効果的な指導をしている教師たちは、どのような考えのもとにどのようなことをしているのか。研究や実践をもとに考えます。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 赤坂 真二					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		基礎形成	伸長	充実	次世代育成	希望	- 小中高特 -
					⑧	⑩	⑪							

## ② 教職員のための自主セミナー

### 「上廣道德教育アカデミー 道德教育セミナー」

#### 1. 開催日及び実施内容

本年度は新型コロナ感染拡大防止に配慮し、10～12月に4回計画し、各回18:30～20:00に実施した。小学校教員対象2回、中学校教員対象2回の実施内容は、以下の通りである。

##### <小学校教員対象>

道德科授業において明らかになってきた課題について協議した。道徳的行為に関する体験的な学習について、教科書教材を活用し、役割演技を交えて模擬授業を実施した。

11月10日 6年生「ブランコ乗りとピエロ」(相互理解・寛容)を教材にした。

12月1日 2年生「ぼんたとかんた」(善悪の判断, 自律, 自由と責任)を教材にした。

##### <中学校教員対象>

「受容を大切にした道徳の授業」の意義や展開について、模擬授業を基に協議した。道徳の授業づくりでは、ねらいの設定・発問の意義・板書の構造化について協議した。

10月27日 「個性の伸長」をテーマにした。

11月17日 「個性の伸長」を継続テーマにした。

#### 2. 場所

上越教育大学 学校教育実践研究センター

#### 3. 参加人数

全4回開催の延べ参加人数は15名である(詳細は資料4)。

#### 4. 評価

勤務を終え道德教育を学ぼうと参加する意欲的な教員を対象にした講座である。模擬授業と参加型の演習を中心に、具体的な内容を工夫し実施してきた。セミナー修了後に実施しているアンケート「本日の道徳研修に学びはありましたか」の記述(概要)には次のようなものが見られた。教材研究の視点で協議することが参加者のニーズに沿っているものとうかがえる。

##### ① 授業づくりについて(ねらい・発問の立て方等)

- ・ 授業のねらいや発問を考えることでより実践に生きる力を学ぶことができた。
- ・ 自分自身、切り返しの発問・補助発問を考えることが苦手なので、まずはしっかり教材研究を行って、子どもの気持ちになってみようと思う。
- ・ 子どもにいろんなことを考えさせる発問を考えていこうと改めて思った。
- ・ 発言に対する返しや板書が参考になる。
- ・ 教材の読み方、授業での使い方、授業の組み立て方など、普段、自分だけでは思いつかない、考えの及ばない視点でたくさん考えることができた。自分たちで考え合うことがとても面白いと感じた。次の時間も楽しみにしている。
- ・ 教材を批判的に見ることで、教材に意図的に込められた道徳的価値が見えた。この教材でねらいが本当に達成されるのかよく考える機会になった。
- ・ 授業展開を考える前に、ねらい(個性の伸長)についてよく考えてみるのが重要である。

##### ② 指導方法について

- ・ 模擬授業を受けることで授業に参加する子どもの気持ちを知ることができた。じっくり考える時間となり大変有意義な研修だった。
- ・ 子どもの考えにしっかり耳を傾け、「？」を感じたことについて、他の考えを聞いてみる。対話の結果は一人ひとりの感じ方や考え方が違っていいこと。考える視点がいろいろあることを学ぶことが道徳であること。

- ・ 対話するメンバーが変わると語る内容が変わり、新しい視点に気付くだけでなくこだわりたい自分の考えがはっきりしてくる。そこで、自分が大切にしたいと思っているところの自己理解ができうれしくなる。話すことは大切だと感じる。
- ・ 「個性の伸長」をテーマにした実践を分かりやすく体験できた。授業展開や発問の方法だけでなく、「自分を見つめるとは？」の一貫した観点で考え、楽しく学ぶことができた。自分の教師としての在り方も考える機会となった。来年度の受講も考えたい。ありがとうございました。
- ・ 自分自身の道徳観を見つめ直すことができた。ありがとうございました。

### ③ 情報交換・協議の場として

- ・ 1つの教材を参加者があーだこーだと話しながら進めるこのセミナーは自分の考えや他者の考えを受け入れられるので学びが多い。
- ・ 6年担任として「ブランコ乗りとピエロ」の授業をして、子ども達がどの様に言うのかを聞いてみたい。
- ・ 毎回楽しく参加している。自分が考えたことを素直に出せるこの場が好きだ。

## 5. 課題

道徳科では、学校内の困り感や課題がより具体的になる時期が続いていると捉えている。そのために道徳授業づくりを基にした、より深い学びを求める要請が継続するものと捉え、以下の4点に留意する。

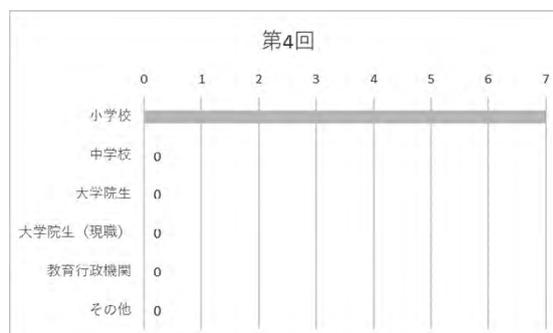
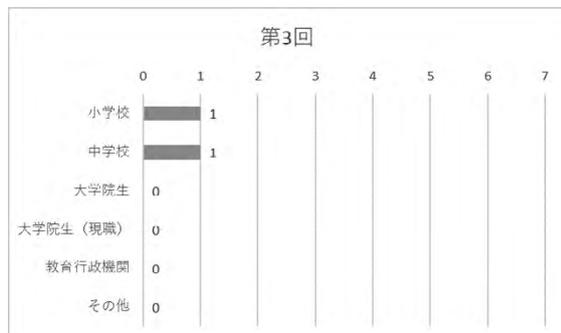
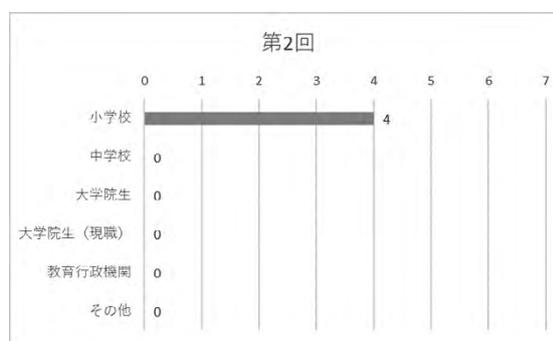
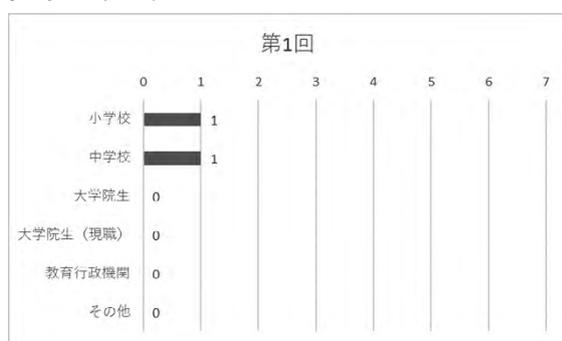
- ① 小中学校で採択されている教科書教材での授業づくりと演習への支援を、引き続き大切に位置づける。特に年間を見通し、学校・学年の実態に応じた重点内容項目を活かす。
- ② 模擬授業を中心に、参加者が立ち止まり、協議できる演習をより工夫する。現場の見方や取り組み方をより具現化した時間とする。
- ③ 次年度の計画にも市内外共通の行事日程を考慮し、教員の多くが参加できる開催日を選定する。併せて、年間を通じて学教センターより、上越市内の小中学校に具体的なテーマを連絡・周知してもらおう。
- ④ セミナーに意見交換・情報交換を交え、協働の教材研究の場と位置付ける。本セミナーへの事前の期待や要望を大切に捉え、引き続き協働のセミナーを準備していく。

## 令和3年度 教職員のための自主セミナー(水曜セミナー)「上廣道徳教育アカデミー 道徳教育セミナー」実施一覧

会場: 上越教育大学学校教育実践研究センター

回	実施日	対象・テーマ・内容	講師	参加数
1	10月27日	【中学校対象①】 「個性の伸長」をテーマに	田村	2
2	11月10日	【小学校対象①】 6年生「ブランコ乗りとピエロ」(相互理解・寛容)を教材に	小宮	4
3	11月17日	【中学校対象②】 「個性の伸長」を継続テーマに	田村	2
4	12月1日	【小学校対象②】 2年生「ぼんたとかんだ」(善悪の判断, 自律, 自由と責任)を教材に	小宮	7
合計				15

## 所属別参加者内訳

令和3年度 教職員のための自主セミナー(水曜セミナー)  
「上廣道徳教育アカデミー 道徳教育セミナー」アンケート結果(自由記述除く)

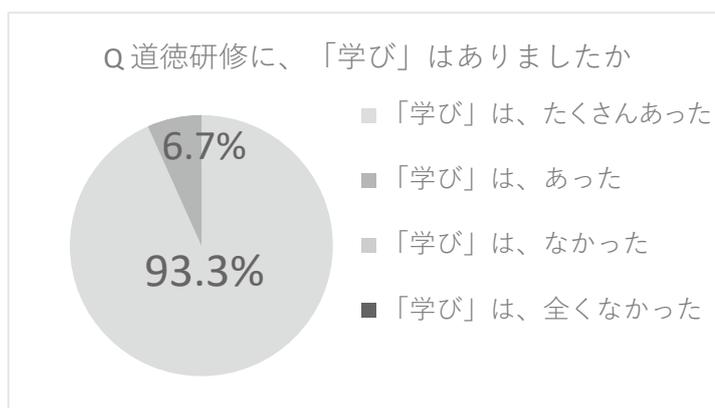
回答数 15(延べ参加者数15名)

アンケート回収率 100.0%

## Q 本日の道徳研修に、「学び」はありましたか。

回答番号	回答	%
1	「学び」は、たくさんあった	93.3%
2	「学び」は、あった	6.7%
3	「学び」は、なかった	0.0%
4	「学び」は、全くなかった	0.0%

有効回答数(※無効回答0) 15 100.0%



### ③ 上廣道徳教育アカデミー道徳教育研究大会（Zoomによるリモート研修）について

#### (1) 運営

本年 8 月 19 日に、上越教育大学上廣道徳教育アカデミー道徳教育研究大会(Zoom によるリモート研修)を開催した。予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となるよう、「主体的・対話的で、深い学び」への授業改善は、特別の教科道徳にも求められている。「考え、議論する道徳」の実現に向け、「道徳授業の学びを考える」をテーマに、実践研究者の道徳授業づくりの取り組みや工夫、さらには、学ぶ子どもの実態等の紹介を通じて、広く新潟県内外の教育関係者との意見交流の場を設定した。

Zoom による半日のリモート研修の開催であったが、全国の道徳教育実践団体の教育関係者を含め 115 名の参加者があった。県内は、夏季休業中の小中学校から 61 名の参加となった。

運営はアカデミースタッフ 6 名で行った。

#### (2) 内容（資料 5.6 参照）

＜基調講演＞（参加率 94.8%）

13:00-14:00

「道徳授業の学びを考える」

林 泰成（上廣道徳教育アカデミー統括監督者 上越教育大学 学長）

＜シンポジウム＞（参加率 95.7%）

14:10-15:30

テーマ 「道徳授業の主体的、対話的、深い学びを考える」

シンポジスト 鈴木 賢一先生（愛知県あま市立七宝小学校教諭）

佐々木 篤史先生（弘前大学教育学部附属中学校教諭）

木下 美紀先生（福岡県宗像市立玄海東小学校主幹教諭）

コーディネーター 田村 博久（上廣道徳教育アカデミー 特任教授）

＜道徳授業の実践紹介（話題提供）＞（参加率 96.5%）

15:45-16:55

A 会場 小学校 I :低・中学年（※道徳授業の実践紹介参加者中 参加率 32.4%）

実践紹介者 秋山 佳子先生（上越市立高田西小学校教諭）

林 誠仁先生（上越市立柿崎小学校教諭）

指定討論者 木下 美紀先生（福岡県宗像市立玄海東小学校主幹教諭）

司会 早川 裕隆（上廣道徳教育アカデミー 所長）

B 会場 小学校Ⅱ：中・高学年（※道徳授業の実践紹介参加者中 参加率 32.4%）

実践紹介者	梅澤 ちひろ先生（上越市立稲田小学校教諭）
	松榮 尚樹先生（新潟市立亀田小学校教諭）
指定討論者	鈴木 賢一先生（愛知県あま市立七宝小学校教諭）
司会	小宮 健（上廣道徳教育アカデミー 特任教授）

C 会場 中学校（※道徳授業の実践紹介参加者中 参加率 35.1%）

実践紹介者	佐久間 奈々子先生（新潟市立宮浦中学校教諭）
	川上 綾子先生（見附市立南中学校教諭）
指定討論者	佐々木 篤史先生（弘前大学教育学部附属中学校教諭）
司会	田村 博久（上廣道徳教育アカデミー 特任教授）

(3) 成果と課題

- 全国、そして県内から大勢の参加があり盛会であった。事後アンケートから、「今回が初めての参加者」が 75%を超え、その参加理由は、「道徳科授業づくりに関心があったから」が 88%、「道徳教育全体に関心があったから」が 70%と、道徳授業の具体を求める多くの参加者を迎えた研究大会となった。テーマを「道徳授業の学びを考える」の視点で重視し、基調講演、全国的に熱心に活躍している実践者を迎えたシンポジウム、県内の多彩な実践紹介が一貫してなされたことは、参加者から具体的な学びの多い研究大会であったと高い評価を得た。今後も継続していく意義はある。
- シンポジウムは、全国的に活躍している 3 名の若手実践者で構成した。個々のシンポジストが「主体的・対話的で、深い学び」の観点で紹介された内容は、具体的で貴重な実践内容であった。大会参加者には、主体的な子どもの学びの成立から、理論と実践の両面を広く発信することができた。
- 道徳授業の実践紹介では、ICT 活用の実践事例を含め、県内の多彩な道徳実践の紹介に高い評価を得た。新潟県内には本アカデミーの研究実践活動に刺激を受け、実践研究を推進している人が多数いる。授業観や指導法の工夫まで幅広く学ぶ機会となり、参加者の「1 時間の授業づくり」への高い関心に沿う時間であった。今後の研究大会では、参加者同士が議論し交流できる場の設定を丁寧に企画していきたい。
- Zoom で気軽に参加できる大会であったことは、県内外に道徳教育の新しいスタイルの研究大会となった。このような研究大会は、従来の対面での大会と比較検討しながら拡充させ、今後も継続して検討していく。
- リモート研修の利点として、画面越しだが、発表者と顔を合わせた打ち合わせを行うことができた。

令和3年度  
上越教育大学 <sup>うえひろ</sup>上廣道德教育アカデミー  
道德教育研究大会 (Zoom によるリモート研修) のご案内

コロナ禍の中、昨年度は中止となりました本アカデミー道德教育研究大会を、本年度は Zoom によるリモート研修で開催いたします。予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となるよう、道德科にも「主体的・対話的で、深い学び」への授業改善の視点から、「考え、議論する道德」の実現が求められています。本大会では主に、実践研究者の道德授業づくりの取り組みや工夫、さらには、学ぶ子どもの実態等の紹介を通じて、広く新潟県内外の皆様との意見交流の場を設定いたします。是非お誘い合わせの上ご参加ください。

**テーマ：**「道德授業の学びを考える」

**期 日：**令和3年8月19日(木) 12:55～17:00 (Zoom 接続 12:40～)

**方 法：**Zoom によるリモート研修

**参加者：**180名(先着順) ※参加費無料

**主 催：**国立大学法人 上越教育大学 上廣道德教育アカデミー

**共 催：**公益財団法人上廣倫理財団

**後 援：**新潟県教育委員会, 新潟市教育委員会, 長岡市教育委員会,  
上越市教育委員会, 新潟県・新潟市小学校教育研究会, 新潟県中学校教育研究会,  
新潟市小学校教育研究協議会, 新潟市中学校教育研究協議会

〈大会実行委員長〉早川 裕隆

上越教育大学上廣道德教育アカデミー 所長 上越教育大学大学院教授

TEL/FAX;025-521-3515 E-mail;hayakawa@juen.ac.jp

〈事務局・連絡先〉 田村 博久

事務局長 上越教育大学上廣道德教育アカデミー 特任教授

住所 〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

TEL/ FAX 共通;025-521-3305 E-mail;academy@juen.ac.jp

ホームページ <https://www.juen.ac.jp/400academy/>

## Zoomによるリモート研修日程(敬称略)

12:40  ●Zoom 接続

12:55  開会式

13:00  ●基調講演

「道徳授業における学びとは何か」

14:00  林 泰成 (上廣道徳教育アカデミー統括監督者 上越教育大学 学長)

14:10  ●シンポジウム テーマ 「道徳授業の主体的, 対話的, 深い学びを考える」

○シンポジスト

鈴木 賢一 (愛知県あま市立七宝小学校教諭)

佐々木 篤史(弘前大学教育学部附属中学校教諭)

木下 美紀 (福岡県宗像市立玄海東小学校主幹教諭)

○コーディネーター

15:30  田村 博久 (上廣道徳教育アカデミー 特任教授)

15:45  ●道徳授業の実践紹介(話題提供)

**A**会場 小学校Ⅰ:低・中学年

○実践紹介者 秋山 佳子 (上越市立高田西小学校教諭)

林 誠仁 (上越市立柿崎小学校教諭)

○指定討論者 木下 美紀 (福岡県宗像市立玄海東小学校主幹教諭)

○司 会 早川 裕隆 (上廣道徳教育アカデミー 所長)

**B**会場 小学校Ⅱ:中・高学年

○実践紹介者 梅澤 ちひろ (上越市立稲田小学校教諭)

松榮 尚樹 (新潟市立亀田小学校教諭)

○指定討論者 鈴木 賢一 (愛知県あま市立七宝小学校教諭)

○司 会 小宮 健 (上廣道徳教育アカデミー 特任教授)

**C**会場 中学校

○実践紹介者 佐久間 奈々子 (新潟市立宮浦中学校教諭)

川上 綾子 (見附市立南中学校教諭)

○指定討論者 佐々木 篤史 (弘前大学教育学部附属中学校教諭)

16:55  ○司 会 田村 博久 (上廣道徳教育アカデミー 特任教授)

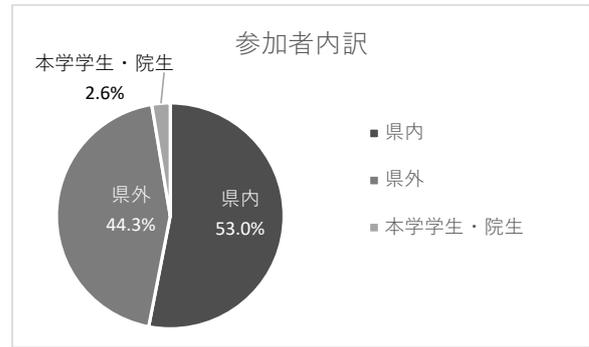
16:55  閉会式(各研修会場)

17:00  ●終了

## 令和3年度 上越教育大学上廣道德教育アカデミ―道德教育研究大会 参加者集計

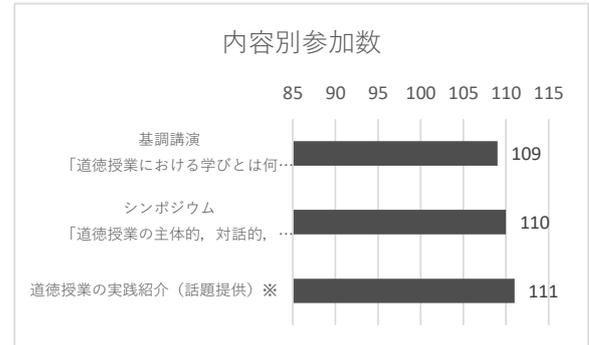
## 参加者内訳

所属区分	参加数	%
県内	61	53.0%
県外	51	44.3%
本学学生・院生	3	2.6%
全参加数	115	100.0%



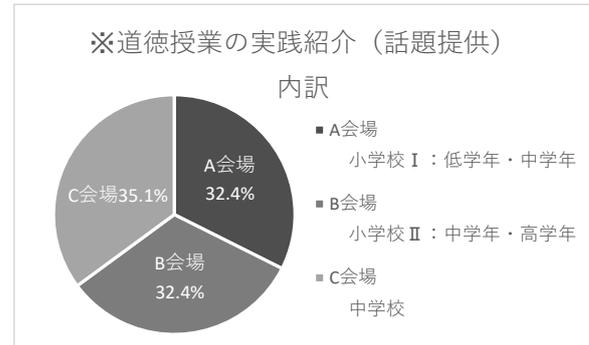
## 内容別参加数(全参加数115名中)

参加内容	参加数	%
基調講演 「道德授業における学びとは何か」	109	94.8%
シンポジウム 「道德授業の主体的, 対話的, 深い学びを考える」	110	95.7%
道德授業の実践紹介(話題提供)※	111	96.5%



## ※ 道德授業の実践紹介(話題提供)内訳

参加内容	参加数	%
A会場 小学校Ⅰ:低学年・中学年	36	32.4%
B会場 小学校Ⅱ:中学年・高学年	36	32.4%
C会場 中学校	39	35.1%
道德授業の実践紹介参加数	111	100.0%



## 令和3年度 上越教育大学上廣道德教育アカデミー道徳教育研究大会 アンケート結果（自由記述除く）

回答数 61（参加者数115名）

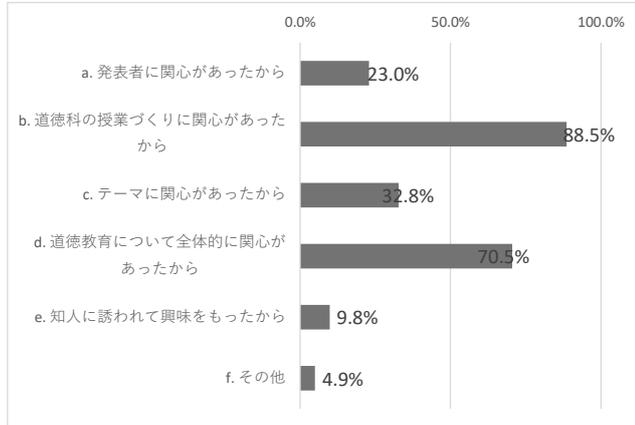
アンケート回収率 53.0%

Q1 本大会では何に参加されましたか。 ※別途参加者集計あり

Q2 本大会に参加された理由をお教えてください。（複数回答可）

回答番号	回答	%
a. 発表者に関心があったから	14	23.0%
b. 道徳科の授業づくりに関心があったから	54	88.5%
c. テーマに関心があったから	20	32.8%
d. 道徳教育について全体的に関心があったから	43	70.5%
e. 知人に誘われて興味をもったから	6	9.8%
f. その他	3	4.9%

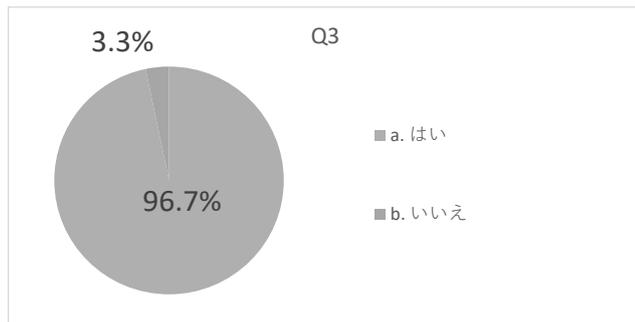
有効回答数（※無効回答0） 61



Q3 開催日については、適当でしたか。

回答番号	回答	%
a. はい	59	96.7%
b. いいえ	2	3.3%

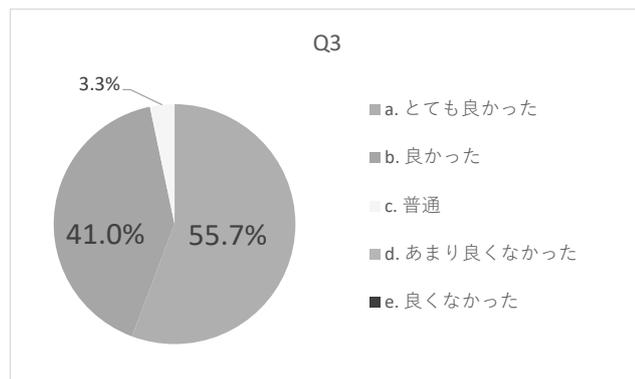
有効回答数（※無効回答0） 61 100.0%



Q3 本大会の内容はいかがでしたか。（一つ選択）

回答番号	回答	%
a. とても良かった	34	55.7%
b. 良かった	25	41.0%
c. 普通	2	3.3%
d. あまり良くなかった	0	0.0%
e. 良くなかった	0	0.0%

有効回答数（※無効回答0） 61 100.0%



#### ④ 協定を結んだ研修拠点校における研修事業

##### <研修拠点校事業の概要>

第Ⅱ期の新規事業として、道徳に関する地域の中核校として発信する力を持つ学校をつくっていくために、県内の各地域に研修拠点校を委嘱し、取り組みを始めた。本年度、上越エリアの上越市立板倉中学校、上越市立稲田小学校、中越エリアの長岡市立栖吉中学校、下越エリアの新潟市立小針小学校の4校と研修拠点校(以下拠点校)としての覚書を結んだ。これらの学校には、派遣の回数に上限を設けず、年間を通じて重点的に研修を充実させるとともに、広報活動を通じて近隣の学校や教員に研修会への参加希望を募り、拠点校としての機能が発揮できるように進めてきた。研修の講師として客員講師の派遣も行ってきた。

拠点校には、効果測定と先生方の意識の変容を捉えるために、毎回、研修後にアンケートへの記入をお願いしてきた。アンケートの内容は、

- 道徳授業に関する10項目の観点について、理解度の自己評価。(資料8)
- 研修によって「今までの自分と変わったと感じたところの変化の内容や理由」の記述。

##### <経過報告>

本年度、上越市立板倉中学校では4回、上越市立稲田小学校2回、長岡市立栖吉中学校4回、新潟市立小針小学校2回の研修を実施した。概要は下記のとおりである。

	1回目	2回目	3回目	4回目
上越市立板倉中学校	5月17日(月) 校内公開授業、アカデミーによる模擬授業、講話	7月12日(月) 校内公開授業、協議会	10月18日(月) 校内公開授業、協議会	12月20日(月) 客員講師による示範授業、講話
上越市立稲田小学校	5月27日(木) アカデミーによる示範授業、講話	8月23日(月) 客員講師による模擬授業、講話(オンライン)		
長岡市立栖吉中学校	6月29日(火) 客員講師による模擬授業、講話(オンライン)	9月17日(金) 校内公開授業の指導案協議会、講話(栖吉小学校と合同)	11月1日(木) 校内公開授業、協議会、講話(栖吉小学校と合同)	1月11日(火) 客員講師による模擬授業、講話
新潟市立小針小学校	7月26日(月) アカデミーによる模擬授業、講話	1月28日(金) 市内公開授業、協議会、講話(オンライン)		

その中で、上越市立板倉中学校における先生方の変容を例に経過を報告する。(資料9)

板倉中学校での研修1回目は、上の表に示すとおり本アカデミー職員による先生方対象の模擬授業と講話による研修、2回目と3回目は校内の先生方による公開授業と協議会による研修、4回目は客員講師による示範授業と講話による研修を実施した。継続して研修に取り組んだ先生方の中には、1回目から4回目までの研修後の自己の変容を次のように記述した先生(A教諭)が見られた。

- < 1 回目 > 新しい自分と出会う（出会わせる）ことがわかり、これまで自分がやってきたことはとても表面的なものだったことが実感できました。（子どもたちにここまで考えさせることができるかはまったく自信がありませんが・・・）
- < 2 回目 > 自分ごととして考える時の資料の使い方やもっていき方、また、深めるために発問をしぼることがわかりました。
- < 3 回目 > 本時のねらいに沿ったもっていき方、ゆさぶりの問い返しなどがわかりました。（ただ、自分がこれができる自信はありませんが・・・）本音を出させるのは難しいです。
- < 4 回目 > 授業をする側に立つと、いろいろなことに余裕がなくなり、子どもを見ることがおろそかになることが課題です。

A教諭は1回目の研修で、自分のやってきた実践が表面的だったことを実感している。2回目には発問の大切さに気づき、3回目には問い返しに関心を寄せている。そして、本年度の最終回の研修後には、授業者として「子どもを見ることがおろそかになることが課題」と記述している。年間を通して多様に学んできたが、“頭でっかち”になっている自分に気づき、もう一度原点に戻って生徒の言動を大切にしたい授業にしようという気持ちを新たにしている。

また、同校B教諭は次のように記述した。

- < 1 回目 > 話の論点がわかっていると、発問も掘り下げもしやすいと感じる。指示の出し方も的を射ているといえますか、例えば立場を今日みたいにとってやるのは（ロールプレイング）わかりやすく変容もとらえやすい。当事者として考える、考えさせる、心を掴む道徳っていいなって思いました。
- < 2 回目 > 道徳授業に向けての意義、内容を精選することを心掛ける点は変わった。あとやっぱり、情報の準備、提供するものの精選はやっぱり授業準備で必要なのだと思う。
- < 3 回目 > 揺さぶる、切り返しの発問は中心発問を大きくサポートするものだと感じました。生徒も「自分事」という表現が心底わかってきている様に思いますし、私自身も広がっていくこととか変わっていくこととかが見取れる様にもなったので、変わってきたのかな？と感じています。
- < 4 回目は自由記述なし >

B教諭は、1回目の研修で当事者として考える道徳学習の良さを感じ、回を追うごとに授業内容の精選の必要性、発問の大切さを実感し、理解の深まりが道徳授業への自信に繋がっていったようである。

A教諭、B教諭の道徳授業に対する意識の変容は、道徳科の模擬授業を生徒役となって体験すること、校内教員による授業の観察、授業後のシェアリングによる授業の分析考察、アカデミー職員とは別の客員講師による生徒への示範授業の観察や授業の解説等、多様な学びの場を経たことによるものと想像される。研修を積み重ねることの重要性を示唆している事例である。

次年度は、このように関心を高めた教諭が自ら授業実践を行う等、主体的な研修に取り組んでいけるように支援していくことが、拠点校研修における方向性の一つと言えそうである。道徳授業の実践研究者を育成していくという視点からも重要である。

また、コロナ禍にあつて、公開授業に近隣校の先生方を招くことが難しく、拠点としての機能が十分に果たせていない状況である。オンラインでの研修も併用しながら多くの先生方への発信にも力を注ぎたい。

上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 拠点校事業

## 道徳科研修 調査アンケート

学校名 \_\_\_\_\_

記入日 令和3年 月 日 (第 回)

お名前 \_\_\_\_\_

Q1. 今日の研修後のご自分の状況について、各項目毎、あてはまる記号に○をつけてください。

そう 思わない	あまり 思わない	どちらとも 言えない	わりと そう思う	そう思う
1	2	3	4	5

A. 道徳授業の意義や魅力、可能性がわかる 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5

B. 授業のねらいをたてることの意味がわかる 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5

C. 教材分析や、教材の活かし方がわかる 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5

D. 発問構成がわかる 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5

E. ねらいと関連した中心発問の工夫のしかたがわかる 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5

F. 効果的な指導方法のしかたがわかる 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5

G. 児童生徒との応答（発言の活かし方）がわかる 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5

H. 授業形態の工夫がわかる 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5

I. 自分自身の道徳授業づくりに関する希望や可能性を感じる 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5

J. 自分自身の道徳授業づくりの課題がわかる 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5

Q2. 上のご回答をされて、本日の研修によって、今までのご自分と変わったと感じたところの変化の内容や理由を簡潔にお書きください。

**拠点校事業に参加して頂いた現時点での印象についてご回答ください。**

記入日 令和 年 月 日

**1** 道徳科授業についての理解に変化はありましたか？（それぞれあてはまる番号に○をつけて下さい。）

	とても理解 できている	まあ理解 できている	あまり理解 できていない	ほとんど 理解できていない
昨年度末	4	3	2	1
現在	4	3	2	1

（変化があった方に）そのように変化したのはなぜですか？

**2** 道徳科授業づくりに関する意識に変化はありましたか？（あてはまる番号に○をつけて下さい。）

	全く いやではない	それほど いやではない	少し いや	とても いや
昨年度末	4	3	2	1
現在	4	3	2	1

（変化があった方に）そのように変化したのはなぜですか？

**3** 道徳科授業づくりに関しての同僚などからの相談に応じる意欲や自信に変化はありましたか？

	全く いやではない	それほど いやではない	少し いや	とても いや
昨年度末	4	3	2	1
現在	4	3	2	1

（変化があった方に）そのように変化したのはなぜですか？

※ご協力頂き、ありがとうございました。

## 拠点校 印象比較調査の結果について

### 1. 分析結果

A1:小針小    A2: 栖吉中    A3:板倉中    A4: 稲田小  
B1:道徳授業についての理解の変化(「とても理解できている」4～「ほとんど理解できていない」1)  
B2:道徳科授業に関する意識の変化(「まったくいやでない」4～「とてもいや」1)  
B3:同僚の相談に応じる意欲や自信(「全く嫌でない」4～「とてもいや」1)  
C1:昨年度  
C2:現在

各学校の各設問に対する時期別印象度の得点について基本統計量を表1に示す。

要因A(学校)を参加者間、要因B(項目)・C(時期)を参加者内に配置した3要因分散分析(Type III SS使用)を行った結果(表2)、主効果 学校が有意傾向で( $F(3,74)=2.37$ ,  $p<.10$ ), 主効果 項目が有意でなく( $F(2,148)=2.15$ ,  $p=0.119$ ), 主効果 時期が有意であった( $F(1,74)=108.24$ ,  $p<.01$ )。また一次の交互作用については、学校×項目が有意でなく( $F(6,148)=0.656$ ,  $p=0.684$ ,  $\eta^2=0.026$ ,  $1-\beta=0.837$ ), 学校×時期が有意であり( $F(3,74)=4.48$ ,  $p<.01$ ), 項目×時期が有意であった( $F(2,148)=4.04$ ,  $p<.05$ )。二次の交互作用 学校×項目×時期は有意でなかった( $F(6,148)=0.82$ )。

以下、主な概要を示す。

項目×時期の交互作用について平均のプロフィールを表3と図1に示す。単純主効果検定の結果(表4)、項目×時期の単純主効果項目は、事後において有意であった( $F(2,148)=3.59$ ,  $p<.05$ )。

LSD法を用いた多重比較の結果(表5)、事後においては、項目1の平均が、項目3の平均より有意に高く、項目2の平均も項目3の平均より、有意に高かった( $MS=0.12102$ ,  $p<.05$ )。このことから、同僚の相談に応じる自信より、道徳授業に付いての理解や、それに伴う道徳授業に対する意識が有意に高くなったことが示唆された。

一方、項目×時期の単純主効果時期は、項目1においても( $F(1,74)=85.77$ ,  $p<.01$ ), 項目2においても( $F(1,74)=52.73$ ,  $p<.01$ ), 項目3においても( $F(1,74)=32.51$ ,  $p<.01$ )と有意差が認められた( $Mse=0.2102$ ,  $p<.05$ )。どの項目においても、本事業での1年間の有意な成果が認められたと考える。

【表 1】基本統計量

学校	項目	時期	人数	平均	標準偏差
1	1	事前	32	2.5000	0.6124
1	1	事後	32	3.0625	0.3480
1	2	事前	32	2.7500	0.6614
1	2	事後	32	3.0313	0.5294
1	3	事前	32	2.5625	0.7881
1	3	事後	32	2.8438	0.7545
2	1	事前	15	2.5333	0.4989
2	1	事後	15	3.2000	0.5416
2	2	事前	15	2.6000	1.0198
2	2	事後	15	3.2000	0.7483
2	3	事前	15	2.4667	0.8844
2	3	事後	15	2.9333	0.9978
3	1	事前	12	2.2500	0.7217
3	1	事後	12	3.0000	0.4082
3	2	事前	12	2.2500	0.9242
3	2	事後	12	2.9167	0.6401
3	3	事前	12	2.0833	0.8620
3	3	事後	12	2.8333	0.5528
4	1	事前	19	2.6842	0.6531
4	1	事後	19	3.1579	0.3646
4	2	事前	19	3.0000	0.7255
4	2	事後	19	3.3158	0.5669
4	3	事前	19	3.0526	0.6862
4	3	事後	19	3.1053	0.7178

N が不揃いです。

Unweighted-Mean ANOVA を行います。

Nh= 17.10(調和平均)と仮定します。

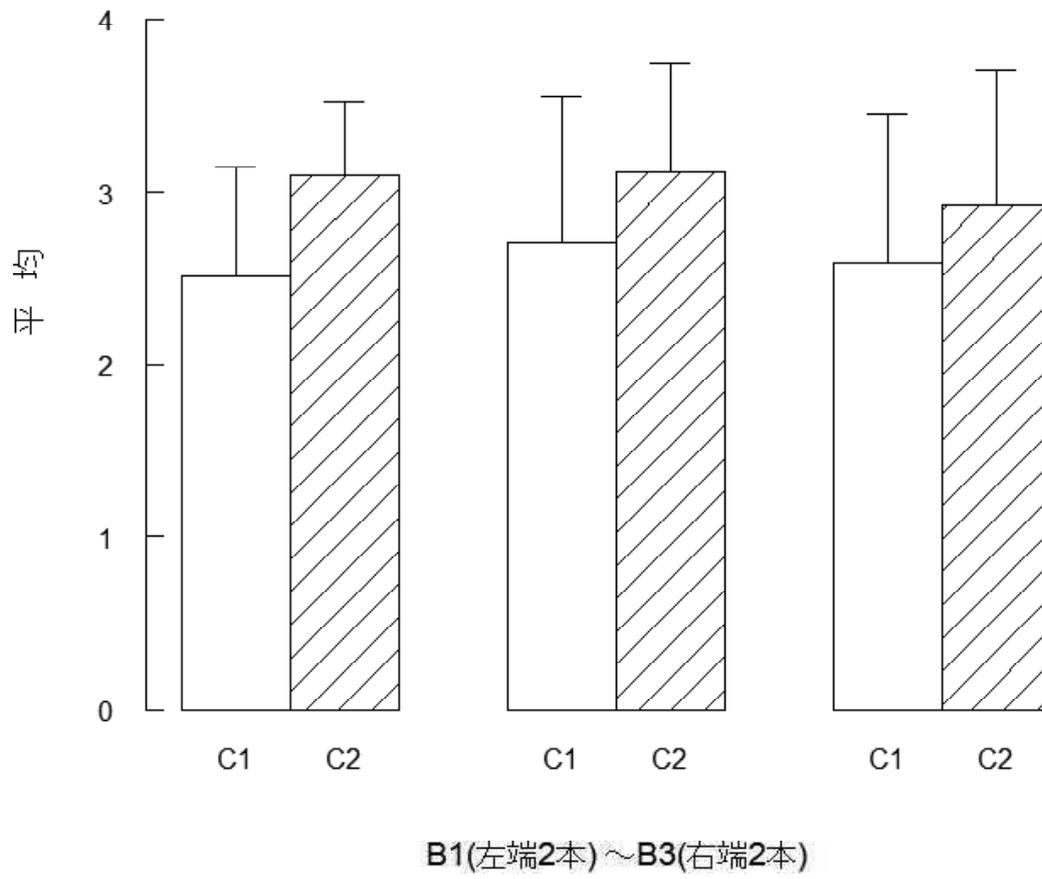
【表 2】 分散分析の結果

S.V	SS	df	MS	F
A	12.7262	3	4.2421	2.37 +
subj	132.2842	74	1.7876	
B	1.5058	2	0.7529	2.15 ns
AxB	1.3960	6	0.2327	0.67 ns
sxB	51.7093	148	0.3494	
C	24.5302	1	24.5302	108.24 **
AxC	3.0441	3	1.0147	4.48 **
sxC	16.7711	74	0.2266	
BxC	0.8974	2	0.4487	4.04 *
AxBxC	0.5443	6	0.0907	0.82 ns
sxBxC	16.4466	148	0.1111	
Total	261.8551	467		+p<.10 *p<.05 **p<.01

【表 3】 項目×時期の交互作用について平均のプロフィール

項目	時期	N	平均
1	1	68.41	2.4919
1	2	68.41	3.1051
2	1	68.41	2.6500
2	2	68.41	3.1159
3	1	68.41	2.5413
3	2	68.41	2.9289

### 交互作用BxCの平均のプロフィール



【図1】

【表 4】 項目×時期の単純主効果検定の結果

S.V	SS	df	MS	F
B at C1:	0.8953	2	0.4476	1.79 ns
(sxB at C1:	37.0523	148	0.2504*	)
B at C2:	1.5079	2	0.7540	3.59 *
(sxB at C2:	31.1036	148	0.2102*	)
C at B1:	12.8622	1	12.8622	85.77 **
(sxC at B1:	11.0976	74	0.1500 )	
C at B2:	7.4256	1	7.4256	52.73 **
(sxC at B2:	10.4203	74	0.1408 )	
C at B3:	5.1398	1	5.1398	32.51 **
(sxC at B3:	11.6997	74	0.1581 )	

【表 5】 LSD 法を用いた事後における項目の多重比較の結果

B at C2 Level

(MSe= 0.2102, \* p<.05)

(LSD= 0.1552)

B1 = B2 n.s.

B1 > B3 \*

B2 > B3 \*

## 2. 自由記述から

### 1) 道徳授業についての理解

分析結果から、4校とも、道徳科授業(道徳科の本質、授業で大切にすべき点等)についての理解が有意に深まったことが示唆された。このことは、自由記述の記述からも多様に認められる。

小学校では変化の理由として次のような記述が見られた。

○授業の流れを学んだから。○進め方が理解できたから。○授業づくりのイメージを持てたから。  
○教材を通し何を学ばせたいのか考えるようになったから。○道徳授業のあり方が分かったから。  
○道徳で何を考え、それは何のために、どんな方法があるか以前より理解できたから。  
○道徳科に対する関心が高まったから。 ○道徳の授業のおもしろさを感じたから。

大別すると、①道徳の授業のイメージが具体的になった。②道徳の授業の意義が分かった  
③道徳の授業の楽しさが分かってきた。教科化4年目となり教科書を使った道徳科授業が定着したところではあるが、研修を重ねることで、固定的だった道徳授業について意義を改めて理解し、開発の余地が様々にあることに気づいた先生が多かったと思われる。

一方、中学校では変化の理由として次のような記述が見られた。

<栖吉中学校>  
○導入から資料理解、発問の工夫について課題があると感じていたのですが、4回の研修を通して改善の方向性がみえてきたから。  
○資料導入の方法、発問の工夫について考える機会が多くあったから。模擬授業がためになった。  
○中心発問の工夫や授業構成について自分で少し考えられるようになったから。  
○1時間の構成、中心発問後の時間の確保等、大切な部分が少しずつ分かってきたから。  
○道徳科の目標や指導内容項目を意識するようになったから。  
○道徳の授業づくりで大切にしなければならないことが明確になったから。  
<板倉中学校>  
○少しずつスキルアップしている気がするから。  
○新しい捉え方、考え方を知ったり、改めて確認したりすることがあったから。  
○昨年度も理解できているつもりであったが、研修によって教科書の仕組みや何が基準なのか等を知り、そうでなかったことが分かった。  
○道徳科授業について考えは深まりましたが、その分、課題がたくさん見えてきた。  
○道徳に対する考え方や実際に授業を行う時の手法などについて新しい知見を得たが、それを実践するまでには至らなかった。頭で分かっても自分の授業を変えていくのは大変。

栖吉中学校では、道徳科授業について理解が深まった根拠を、導入の方法、発問の工夫、目標の意識化といったように要素を具体的に挙げた先生が多かった。また、板倉中学校では、理解の深まりとともに自分の至らなさ、授業の課題を掴むといった謙虚さを感じられた。どちらも手応えを感じた具体的な記述と考えられる。

### 2) 道徳科授業づくりについての意識

この内容についても、分析結果から4校とも有意な効果が認められた。自由記述の内容にも、道徳科授業をよりよいものにしていこうとする、授業づくりへの意識の変化が表れている。

小学校であげられた変化の理由は、次の通りである。

- 1時間1時間を大切にしていこうという思いはかなり強くなった。
- どのように授業を展開していくのか自信がなかったが、少しずつ慣れてきた。
- 1年目より道徳授業への苦手意識が減ったから。
- 道徳授業をさらに良くしたいという気持ちが強くなった。
- 授業の構成や発問のし方について学んだことで、色々試したい気持ちが高まった。
- 今回の授業や講演により参考になったことが多く、実践してみようという気持ちになったから。

「大切にしていこう」「良くしたい」「色々試したい」「実践してみよう」という言葉に見られるように、道徳授業に取り組む際の意識が前向きに変化していることがみてとれる。

一方、中学校の先生方の変化の理由は以下のとおりである。

#### <栖吉中学校>

- 「悩む」「分からない」「自信がない」でしたが、今はどう授業を組もうか楽しい時があります。
- 自分自身、授業づくりに自信が持てなかったのだが、研修を深める中で理解が進んでいったため。
- 生徒の反応が少しだけ楽しみになってきた。
- お話を伺うとおもしろいものだなあと感じたし、同僚の授業を「すばらしいなあ」と思ったから。

#### <板倉中学校>

- 生徒と道徳心について語り合える貴重な時間なので様々な授業づくりにチャレンジしたい。
- この発問がよかったのか、この発問で迫れた価値は何だったのか等、授業のたびに自己評価や教師同士の意見交換をするようになったことが自分のスキルアップにつながっていると感じた。
- 「難しい」というのが正直なところですが、発問に対して生徒がどう考えてくれるのかを考えたり、実際の授業で想定していない考えが出たりすることを楽しめるようになってきた。

記述の中に「楽しみ」「おもしろい」「すばらしい」「楽しめる」といった、真面目一辺倒とは別の「楽しさ」を見出し、また、研修で学んだことを取り入れながら実践に取り組むうちに、「自信」を感じ始めていることがうかがえる。

### 3) 道徳科授業づくりに関しての同僚などからの相談に応じる意欲や自信

この内容についても、分析結果から4校とも有意な効果が認められた。

小学校の先生方の変化の理由は次のとおりである。

- 相談というか、色々な会話からヒントを得たりアイデアが生まれたりした。
- 学年として足並みを揃え自作プリントを共有する工夫は、かなり意識するようになった。
- 力が身についたと思うので相談を受けた時に答えられると思うから。
- 一緒に悩めばいい（考えればいい）ことに気づいたから。
- 一緒に教材研究したい意欲はある。

記述の数は中学校に比べて少なかったが、同僚からの相談に応じる意欲や自信がうかがえる記述が見られた。

数値に変化のなかった先生方からは次のような控え目な記述も見られた。

- まだ相談に応じるほどの自信はない。
- まだ理解が不十分なところが多いと感じたため。

一方、中学校の先生方は、次のように変化の理由を述べている。

＜板倉中学校＞

○（わずかですが）上手くいった経験があったため。 ○意見交換することで考えが深まるから。  
○授業をやった分だけ少しずつ自信になってきているからでしょうか。でもやっぱり心の中では私  
が相談したい…という思いも諸先輩方にはありました。

○様々な先生に指導いただいたり議論したりということを積極的に行って、よりよい授業にしてい  
きたいです。

○研修を通して授業づくりのポイントがおさえられるようになったからだと思います。

＜栖吉中学校＞

○研修を受ける中で理解が進み、相談に応じやすくなった。また、自分自身も他の同僚に声を上げ  
やすくなったと思う。

○職員室で道徳授業への意識の高まりを感じ、一緒にがんばりたいと思えるようになったから。

○応じるまではいかないが、一緒になって考えることへの面白さや学びを深める実感が伴っている  
と感じるから。

○一人でなく多くの人と考えることで自分にとっても新たな視点や方法を発見することができる。

○教材の解釈を考えることが何回かあり、職員とともに議論することに楽しみを感じ、意欲が高ま  
ったと思うので。

記述からは、同僚からの相談に応える自信というよりも、お互いに授業について語り合える「新  
しい教科」が出来たことを喜び、プラスに感じている先生が多いことがうかがえる。中学校は教  
科担任制のため、日常的に授業改善の問題について話し合う機会が少なかった。中学校は、この  
度の道徳の教科化によって、初めて「同じ教科を指導する教師集団」となった。これは小学校と  
の決定的な違いである。授業についての情報交換や改善について議論するという教科が誕生した  
中学校の先生方の熱量が記述から感じられた。

#### 4) 自由記述全体から

1) 2) 3) とともに意識が変化した理由についての自由記述は、記述した人数、記述の量とも  
に中学校の方が多かった。その理由としては、次の点が挙げられる。

- ・中学校は2校とも研修の回数が4回であり、小学校は2校とも2回であった。
- ・中学校では客員講師による生徒への示範授業や先生方への模擬授業等も実施され、研修内容、  
講師ともに多彩であった。

本年度の中学校の拠点校2校は継続して令和4年度も拠点校を引き受けていただけることにな  
った。引き続き学校の要望に応じながら、先生方の道徳科授業への意識についても継続して追  
かけていきたい。

また、本アンケートの中で際立っていたのが、板倉中の初任の先生の回答である。この一年間  
で①～③全ての設問で2段階アップの変化を感じ取っていた。自分の担当教科と同じ比重で道徳  
科を位置づけて研鑽を積もうとしてきたようである。こういった若い先生の成長にも特段の配慮  
をもって寄与できるようにしたい。

## ⑤特別支援教育における道徳授業モデルの作成・構築事業

### 1. 運営委員会

#### (1)令和3年6月28日(月)15:30～17:00(Zoom会議)

##### 【内容】

- ①自己紹介
- ②講 話 「特別支援教育における道徳のあり方や留意点」  
上越教育大学大学院 藤井 和子 教授
- ③話題提供 ・熊本大学教育学部附属特別支援学校 日置 健児朗 先生  
・山口県立宇部総合支援学校 和田 剛志 先生
- ④質疑応答
- ⑤今後の方針や予定

#### (2)令和3年8月25日(水)15:00～16:45(Zoom会議)

##### 【内容】

- ①話題提供 ・上越市立大町小学校 岩崎 裕 先生  
・妙高市立新井小学校 伊藤 奨 先生
- ②質疑応答
- ③進捗状況や今後の予定など
- ④その他

#### (3)令和3年10月23日(土)15:00～16:00(Zoom会議)

- 今後の進め方…手順と内容の具体

### 2. 研修会

#### (1)令和3年8月3日(火)14:30～15:30(Zoomによるオンライン研修)

##### 【内容】

- ①講 師 千葉県流山市立東深井小学校校長 笠井 善亮 先生  
流山市立おおたかの森中学校 新井 紀美 先生
- ②演 題 特別支援学級における道徳授業の始め方・進め方

#### (2)令和3年10月23日(土)13:00～15:00(Zoomによるオンライン研修)…詳細:次頁参照(資料10)

##### 【内容】

- ①講 師 聖徳大学名誉教授 吉本 恒幸 先生
- ②演 題 特別支援教育の分野における道徳の理解と、その進め方

令和3年9月30日

上越教育大学上廣道德教育アカデミー主催

## 第2回

## 「特別支援教育における道德研修会（Zoom）」の御案内

平成30年4月（中学校・中学部においては、31年4月）から教科化された「特別の教科 道德」（道德科）は、特別支援教育の分野においてもその適切な実施が求められています。しかし、それまでの道德教育や道德授業についての実践や研究の多くが、通常の学級で学ぶ、障害のない子供達を対象としたものであったために、特別支援教育の分野での道德教育や道德科の進め方については、多くの課題が解決されないまま、そもそもどう展開したら良いのか戸惑っているのが現状ではないでしょうか。

そんな時期であるからこそ、その推進の基盤となる特別支援教育の分野における道德科や教育課程について適切な理解を深め、子供達の学びが確かなものになるよう、授業を展開する教員の資質・能力を養うことが肝要と考えます。

今回、聖徳大学名誉教授の吉本恒幸先生を講師にお招きし、上越教育大学上廣道德教育アカデミーが主催する研修会を開催する運びとなりました。

先生は、東京都教育庁指導主事、東京都公立小学校校長、東京都教育庁副参事等を経た後聖徳大学大学院教授になられ、現在名誉教授としてご活躍中です。その間、全国小学校道德教育研究会会長や文部科学省「魅力ある道德教材に関する開発委員会」副委員長、「中央教育審議会初等中等教育分科会道德教育専門部会」委員なども務められ、日本道德教育学会 全集編集委員会でも、編著者として『第4巻 中学校、高等学校、特別支援教育における新しい道德教育』（2021 学文社）をおまとめになる等、学会でも精力的にご活躍中です。本研修会を通じて、特別支援教育の分野における道德教育や道德科についての進め方に関する多くの示唆をいただけるものと思います。

今回は、本アカデミーにおける、「特別支援教育における道德授業モデルづくり協議会」のメンバーだけでなく、広く皆様の参加も募りたいと思います。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日程 令和3年10月23日（土）

- ・ 13:00 開会
- ・ 13:05～14:35  
講話「特別支援教育の分野における道德の理解と、その進め方」  
講師 聖徳大学名誉教授 吉本 恒幸 先生
- ・ 14:35～14:55 質疑応答
- ・ 15:00 閉会  
(協議会のメンバーは、その後、運営委員会を開催します)

令和3年12月3日 新潟日報

全校で持続可能な開発目標（SDGs）の学習に取り組む三条市の大島小学校5、6年生が1日、国境なき医師団の活動でアフリカのマラウイに派遣されている魚沼基幹病院（南魚沼市）の鈴木美奈医師とオンラインで交流した。世界の問題について調べてきた児童たちは、「医療が十分でない国でたくさんの子どもが命を落としている。マラウイではワクチンは足りてますか」などと質問し、鈴木医師が語る同国の現状に真剣に耳を傾けた。

鈴木医師は長岡市出身。2015年から魚沼基幹病院で産婦人科医として勤務し、国境なき医師団としてアフガニスタンやナイジェリアなどで活動。今年10月にマラウイへ派遣された。

同小で6月と8月、鈴木医師が海外での活動などについて話したことが、今回の交流会につながった。児童たちは総合学習で世界の課題について調べ、どうしたらよいかを考えてきた。

交流会では、5、6年の児童14人が学習の成果を鈴木医師に報告。「紛争で命

を落とす人がまだいる。話し合っって問題を解決してほしい」と発言すると、鈴木医師は「マラウイは貧しい国でウイルス禍で困っているが、さまざまな団体が助け合っって対応している。目的や気持ちが一緒なら、人種や国が違っっても力を合わせられる」と応えた。

最後に児童らは、同校のSDGs学習のテーマ曲「地球星歌」を合唱。「あ

なたの毎日が世界を創り」などの歌詞に、地球全体の幸せを願う気持ちを込めた歌声に、鈴木医師は拍手を送った。

6年の小野心陽さん(11)は「マラウイの病院では、日本や他国を参考にして受診前にウイルス検査をするなど、外国の良さを認めているところがいい。調べ学習で知ったフェアトレードも広がっしてほしい」と語った。

### 三条・大島小5、6年生

## マラウイ派遣医師と交流 厳しい医療の現状知る



マラウイにいる鈴木美奈医師と交流する  
大島小児童11日、三条市代官島

※三条市立大島小学校 桑原敦子 校長先生より、アカデミー宛てのメール（抜粋）

おはようございます。今朝（12月3日）の「新潟日報」見てください！  
大島小学校、出ています。  
先生方のお陰で、様々な問題を「自分事」として考えられる子どもたちに成長しました。嬉しくて、報告しました。

# 1. 令和4年度事業報告…概要

上越教育大学上廣道德教育アカデミー  
令和4年度 事業計画と事業報告



上越教育大学  
上廣道德教育アカデミー  
所長 早川 裕隆



## 1. 事業報告

### (1) 5本の柱を中心に



### 1.【研修会への無償による講師派遣事業】

教員の道徳科に関する授業力の向上、学校での道徳科授業や道徳教育の充実、推進のため、各学校、教育委員会、教育センター、各種研究団体主催の研修会等に、本アカデミーの職員を、無償にて講師として派遣する

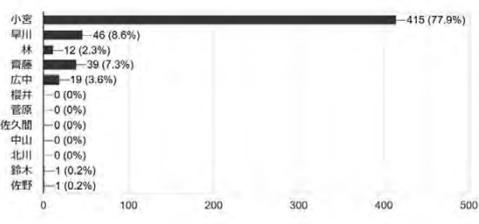
**派遣件数…延べ64回**  
(令和5年3月までの見込み。  
上廣道德教育アカデミー客員講師も含める)

※客員講師  
○上越教育大学上廣道德教育アカデミー設置要項 第6条  
学校現場の教員を対象とした研修講座等を実施するため、学外の教員等を招致することができる。  
2 前項の規定により招致した者を客員講師と称する。



### 提出のあったアンケートから

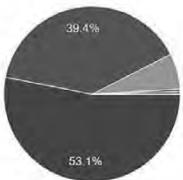
Q2. 本日の講師をクリックしてください  
533件の回答



氏名	回数	割合
小宮	415	77.9%
早川	46	8.6%
林	12	2.3%
齋藤	39	7.3%
広中	19	3.6%
橋井	0	0%
藤原	0	0%
佐久間	0	0%
中山	0	0%
北川	0	0%
鈴木	1	0.2%
佐野	1	0.2%

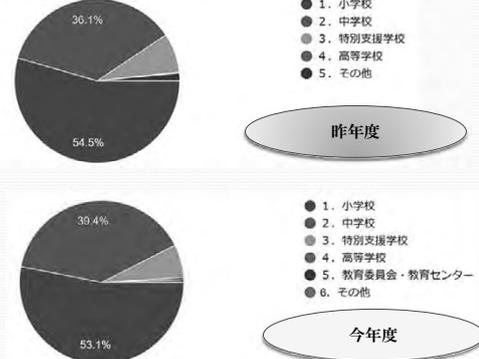
### 提出のあったアンケートから

Q3. あなたが所属する校種などをお教えてください。  
533件の回答



校種	割合
1. 小学校	39.4%
2. 中学校	53.1%
3. 特別支援学校	
4. 高等学校	
5. 教育委員会・教育センター	
6. その他	

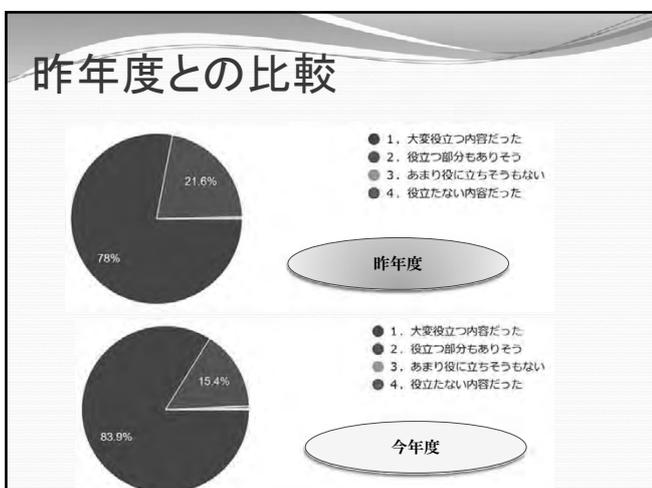
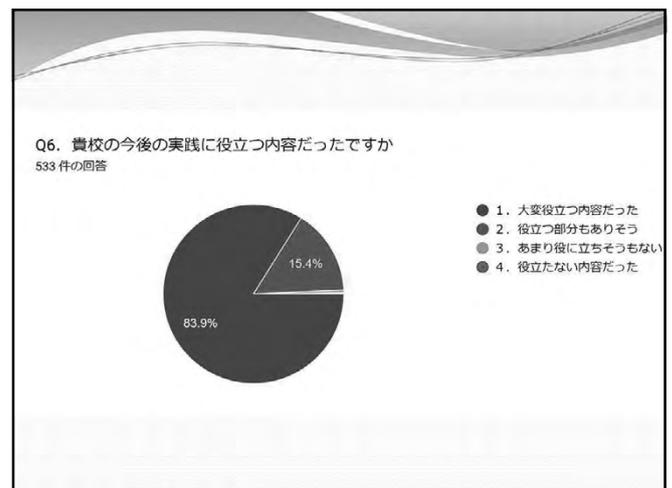
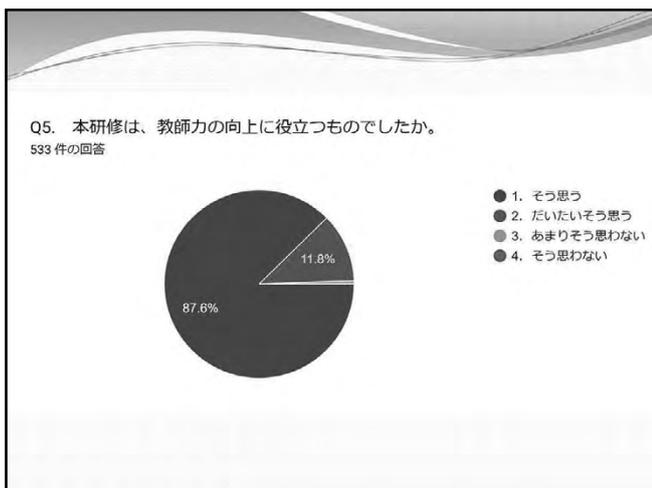
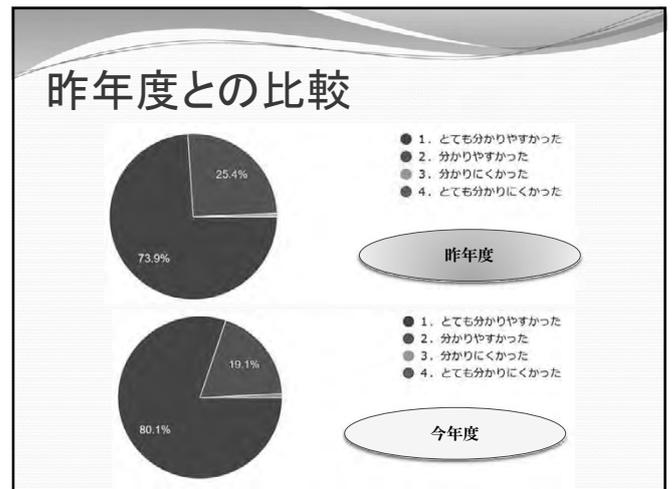
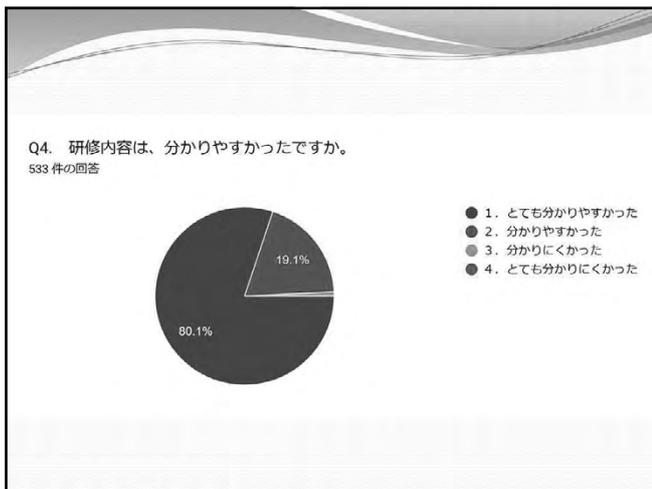
### 昨年度との比較



● 1. 小学校  
● 2. 中学校  
● 3. 特別支援学校  
● 4. 高等学校  
● 5. その他

昨年度

今年度



その他、詳細はこの後担当から

## 2.【研修講座の開設・実施】

質の高い多様な道徳科の授業、道徳科の理解、道徳科の評価、道徳教育推進のための計画づくりや体制づくりなど、大学、地域の教育センター等と連携し、道徳教育の研修講座を開設・実施する。

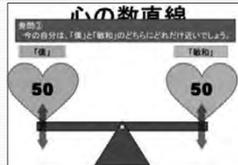
※ 上越教育大学学校教育実践研究センターにおける「教職員のための自主セミナー」で「上廣道徳教育アカデミー 道徳教育セミナー」を開設。

今年度、5回実施予定  
(参加者 延べ78人)

(昨年度は4回実施 延べ15人 参加)

※ 本年度は、県外の研究員3名によるオンラインでのセミナーも実施(以下、実施順)

- あま市立七宝小学校 鈴木賢一 教諭
- 名古屋市立小坂小学校 北川沙織 教諭
- 高槻市立桃園小学校 中山真樹 教諭

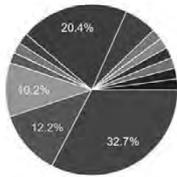


## 上越教育大学教職員のための自主セミナー(水曜セミナー) 「上廣道徳教育アカデミー 道徳教育セミナー」実施一覧

回	実施日	内容	実施の形式	担当者	参加者数
1	5月18日	道徳科の授業づくり-発問について-	ハイブリッド	小宮 健	18
2	6月8日	中学校の教材を用いての、道徳授業における有効なICT機器(タブレット)の活用の仕方と、その限界について	オンライン	鈴木賢一	15
3	6月22日	小学校の教材を用いての、道徳授業における役割演技の効果的な活用の実態と留意点について	オンライン	北川沙織	16
4	10月12日	ワークショップ『道徳の教材文の読み方の提案』-「およげないりすさん(私たちの道徳 小学校1・2年)を教材として。-	オンライン	中山真樹	12
5	11月9日	道徳科の授業づくり-教材の分析・発問について-	オンライン	小宮 健	17

## 提出のあったアンケートから

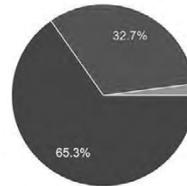
Q3. あなたが所属する校種などをお教えてください。  
49件の回答



- 1. 新潟県内小学校
- 2. 新潟県外小学校
- 3. 新潟県内中学校
- 4. 新潟県外中学校
- 5. 新潟県内特別支援学校
- 6. 新潟県外特別支援学校
- 7. 新潟県内高等学校
- 8. 新潟県外高等学校

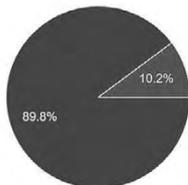
▲ 1/3 ▼

Q4. 研修内容は、分かりやすかったですか。  
49件の回答



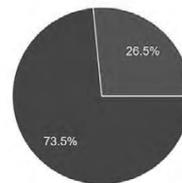
- 1. とても分かりやすかった
- 2. 分かりやすかった
- 3. 分かりにくかった
- 4. とても分かりにくかった

Q5. 本研修は、教師力の向上に役立つものでしたか。  
49件の回答



- 1. そう思う
- 2. だいたいそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない

Q6. 貴校の今後の実践に役立つ内容だったですか  
49件の回答



- 1. 大変役立つ内容だった
- 2. 役立つ部分もありそう
- 3. あまり役に立ちそうもない
- 4. 役立つ内容なかった

## 詳細はこの後担当から

### 3.【研修プログラムの構築と、道徳教育に関わる新しいスタイルの探究】

公益財団法人上廣倫理財団と連携し、全国展開できる研修プログラムの構築並びに道徳教育や道徳科授業の様々なスタイルを探究していく。

令和4年度  
上廣道徳教育アカデミー  
道徳教育研究大会

～特別支援教育における道徳  
シンポジウム～

令和4年8月19日  
Zoomによるリモート研修

参加者90名

テーマ 「特別支援教育における道徳の  
あり方 ～その理解と授業づくりの実践～」

校種



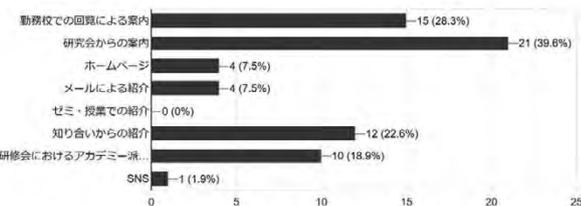
9:35	●講演① 「特別支援教育の授業づくりにおける個別の指導計画の位置づけ」 藤井 和子 (上越教育大学大学院 教授)
10:15	●講演② 「特別支援教育における道徳科の在り方と授業づくり」 吉本 恒幸 (聖徳大学 名誉教授)
10:15	●講演② 「特別支援教育における道徳科の在り方と授業づくり」 吉本 恒幸 (聖徳大学 名誉教授)
11:50	●講演② 「特別支援教育における道徳科の在り方と授業づくり」 吉本 恒幸 (聖徳大学 名誉教授)
12:45	●講演・演習① 「特別支援学級における道徳科授業づくり ～子どもに合わせた授業づくりのポイント～」 笠井 善亮 (千葉県流山市立東深井中学校 校長)
13:35	●講演・演習① 「特別支援学級における道徳科授業づくり ～子どもに合わせた授業づくりのポイント～」 笠井 善亮 (千葉県流山市立東深井中学校 校長)
13:35	●講演・演習② 「特別支援教育における道徳科の授業づくりの実践と支援の工夫」 日置 健児朗 (熊本県立小国支援学校 教諭)
14:10	●講演・演習② 「特別支援教育における道徳科の授業づくりの実践と支援の工夫」 日置 健児朗 (熊本県立小国支援学校 教諭)

14:20	●シンポジウム テーマ「特別支援教育における道徳授業の実践」 ○シンポジスト(発表順) ・上越市立大町小学校 教諭 岩崎 裕 ・三条市立大島小学校 校長 桑原 敦子, 教諭 川上 慶子, 教諭 片桐 治 ・山口市立小郡中学校 教諭 和田 剛志 ○コーディネーター ・吉本 恒幸 (聖徳大学 名誉教授) ・中島 秀晴 (上越教育大学 特任教授)
16:25	●シンポジウム テーマ「特別支援教育における道徳授業の実践」 ○シンポジスト(発表順) ・上越市立大町小学校 教諭 岩崎 裕 ・三条市立大島小学校 校長 桑原 敦子, 教諭 川上 慶子, 教諭 片桐 治 ・山口市立小郡中学校 教諭 和田 剛志 ○コーディネーター ・吉本 恒幸 (聖徳大学 名誉教授) ・中島 秀晴 (上越教育大学 特任教授)

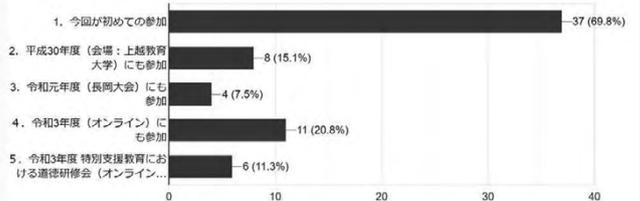


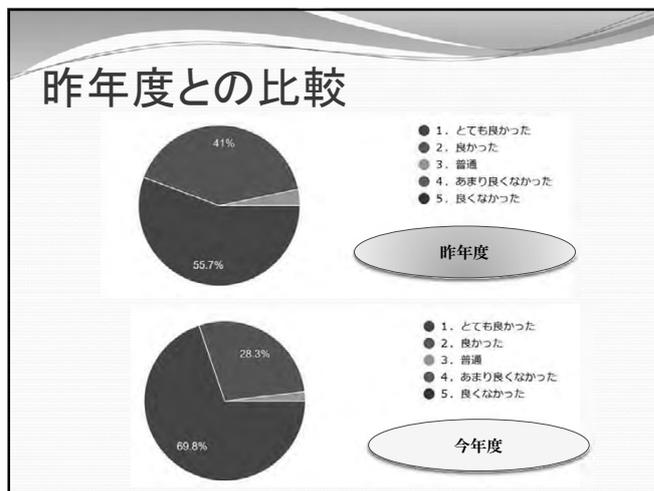
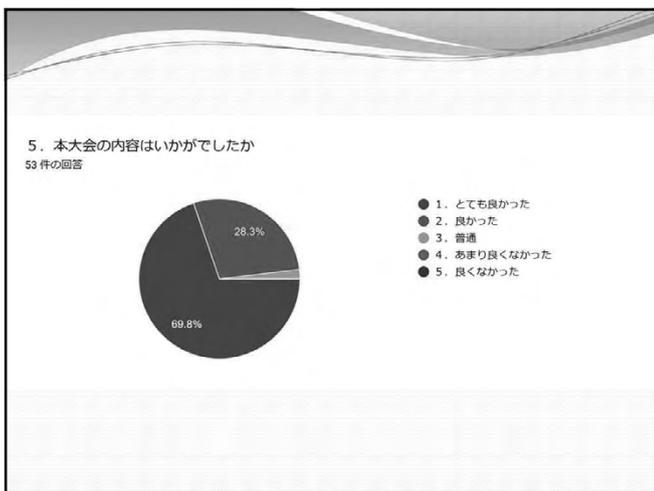
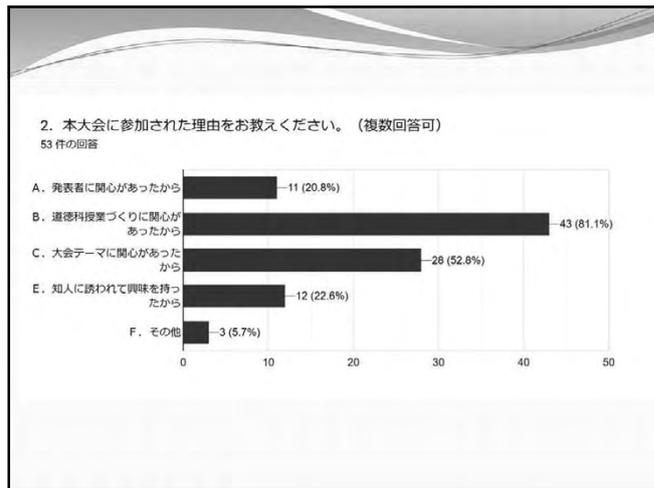
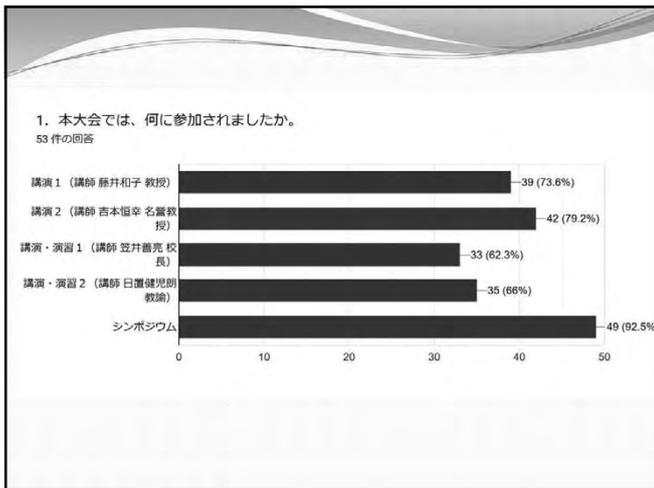
## 回答のあったアンケートから

本研究大会を何で知りましたか  
53件の回答



過去の大会に参加されましたか  
53件の回答





詳細はこの後担当から

4.【協定を結んだ拠点校における研修事業】(新規)

「研修拠点校」における研修会を複数回重点的に実施し、近隣の学校にも広く開放して、多くの先生方にも参加してもらえるようにする。

令和4年度の拠点校

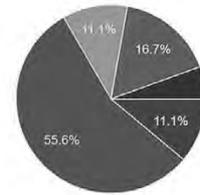
- 上越市立板倉中学校
- 上越市立明治小学校
- 長岡市立栖吉中学校
- 長岡市立栖吉小学校

## 拠点校への講師派遣について（予定も含める）

学校名	回数	日にち	派遣講師	研修の形態 (対面・オンライン・宗職授業等)
上越市立板倉中学校	第1回	5/16(月)	客員講師 広中 忠昭	対面・宗職授業・講話
	第2回	7/11(月)	早川 裕隆、客員講師 櫻井 宏尚	対面・公開授業・協議会・指導・講話
	第3回	9/15(木)	小宮 健、客員講師 櫻井 宏尚	対面・公開授業・協議会・指導
上越市立明治小学校	第1回	7/7(木)	小宮 健	対面・宗職授業・講話
	第2回	7/29(金)	早川 裕隆	対面・模擬授業・講話
長岡市立栢吉中学校	第1回	6/27(月)	客員講師 齋藤 真弓	対面・宗職授業・講話
	第2回	9/20(火)	客員講師 広中 忠昭	対面・宗職授業・講話
	第3回	11/10(木)	客員講師 広中 忠昭	対面・公開授業・協議会・指導
	第4回	1月中旬を予定	客員講師 齋藤 真弓	対面を予定・講話
長岡市立栢吉小学校	第1回	5/31(火)	小宮 健、客員講師 広中 忠昭	対面・公開授業・指導・講話
	第2回	9/12(月)	客員講師 齋藤 真弓	対面・宗職授業・講話
	第3回	11/24(木)	客員講師 齋藤 真弓	対面を予定・公開授業・協議会・指導

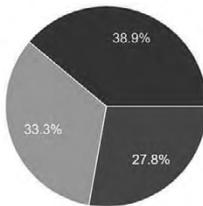
## 外部参加者の反応(18名)

会場校名を選択してください。  
18件の回答



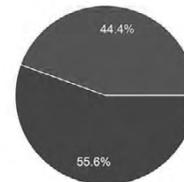
- 上越市立明治小学校
- 上越市立板倉中学校
- 長岡市立栢吉小学校
- 長岡市立栢吉中学校
- 南川小学校

ご所属を選択してください  
18件の回答



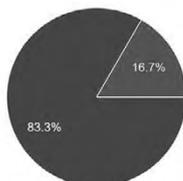
- 市内小学校
- 市外小学校
- 市内中学校
- 市外中学校
- 学生・院生

Q1. 研修内容はわかりやすかったですか  
18件の回答



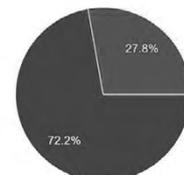
- 1. とても分かりやすかった
- 2. 分かりやすかった
- 3. 分かりにくかった
- 4. とても分かりにくかった

Q2. 本研修は、教師力の向上に役立つものでしたか。  
18件の回答



- 1. そう思う
- 2. だいたいそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない

Q3. 貴校の今後の実践に役立つ内容だったですか  
18件の回答



- 1. 大変役立つ内容だった
- 2. 役立つ部分もありそう
- 3. あまり役に立ちそうもない
- 4. 役立つ内容なかった

## 5.【特別支援教育における道徳授業モデルの作成と、ネットワークの構築】（新規）

県内外の特別支援学校・学級と連携し(以下、研究協力校)、特別支援教育における道徳授業モデルを作成するとともに、特別支援教育における道徳教育の推進に関するネットワーク(協議会)を構築する。



## 2. 事業報告

### ① 派遣事業（資料 1～3）

#### (1) 成果

##### <アカデミーの周知について>

開設 5 年目となり、昨年度末と本年度当初に挨拶と周知活動のため、所長と研修支援コーディネーターが出向いた機関は次のとおりである。

◇ <b>県教委</b>	新潟県教育委員会	新潟県立教育センター	上越教育事務所			
◇ <b>市町村教委</b>	新潟	上越	長岡	小千谷	妙高	三条
◇ <b>校長会</b>	なし					
◇ <b>研究団体</b>	なし					
◇ <b>拠点校</b>	長岡市立栖吉中学校	上越市立板倉中学校	長岡市立栖吉小学校	上越市立明治小学校		
◇ <b>特別支援関係</b>	三条市立大島小学校	県特別支援学校校長会				
※ 拡大した派遣の対象エリアである富山県、長野県については、次の機関にメールによる周知活動を行った。						
◇ <b>富山県</b>	県教育委員会	東部教育事務所	西部教育事務所	市町村教育委員会	市町村教育センター	
◇ <b>長野県</b>	県教育委員会	北信教育事務所	北信教育事務所管内市町村教育委員会			

5 年目に入り、アカデミーが各方面に周知されてきたことと、これまでの周知活動とが奏功し、コロナ禍の状況にも関わらず、年度初めの 4 月より派遣依頼があり、県内の小中学校、総合支援学校、高等特別支援学校、行政、研究団体より多数の研修への講師派遣依頼があった。研修支援コーディネーターによる継続的な情報提供と周知活動により、派遣依頼は続いている。

##### <派遣依頼の機関・コロナ対応について>

本年度の派遣依頼機関の件数は 50 件、延べ派遣回数 は 70 回である。コロナ禍の影響により、開催が危ぶまれるケースもまだまだ見られた一年であった。しかし、昨年度と一昨年度に見られた中止にせざるを得ないというケースはなかった。殆どの学校、団体は対面での研修を強く望んでおり、最初からオンラインと決めて実施したケースは稀であった。直前に実施校でコロナ感染者が出た場合でも、対面を断念してオンラインに変更する対応で乗り切れるようになってきている。

しかし、本年度も依頼に至らず断念した機関も多数あったと想像される 1 年であった。その理由としては、コロナの蔓延のほかにも、校内の研修として ICT 関連、小学校では外国語指導の研修に重点が置かれ、道徳科研修の入る隙間がなくなっている状況が続いている学校も多い。

本年度の県内の小・中・特別支援学校の派遣先は、県内の 10 の市と町（新潟、長岡、上越、柏崎、五泉、南魚沼、見附、三条、小千谷、阿賀町）に及んでいる。行政では、新潟県をはじめ、上越、柏崎、長岡、燕、魚沼、南魚沼、佐渡の各市教育委員会、また、上越市、妙高市、糸魚川市、五泉市の教育研究団体からの依頼にも応えてきた。

また、県外に拡大した派遣先である富山県入善町からも依頼があった。他に千葉県から 15 件の依頼があった。

さらに、本年度も 8 月に本学教職大学院と長野県総合教育センターとの連携講座の中に、本アカデミーによる「道徳の授業づくり」の講座を開設させていただき、オンラインで実施した。

これらの学校・行政・研究団体とのつながりを大切にするこゝで、それぞれの機関において道

徳教育・道徳科授業改善が継続し、研究開発における協力依頼等も円滑に進めることが可能になると思われる。

### ＜客員講師の派遣＞

これまで派遣事業は、特任教授に加えて所長、統括監督者が担当してきたが、昨年度よりこれらに加えて、研修内容の質の維持、向上に資するため、道徳教育・道徳科の授業づくりの指導に関して全国的に実績のある2名を客員講師に任命した。本年度これを3名とし、研修拠点校を中心にそれぞれ年間2回～7回の客員講師による派遣を実施した。

#### ＜本年度の客員講師＞

広中 忠昭	麗澤大学教職センター 客員教授
齋藤 眞弓	つくば国際大学東風小学校
櫻井 宏尚	(FMS 福島道徳教育セミナー代表)

### ＜実績と評価＞

小学校が教科化5年目、中学校が4年目となり、「道徳科の評価」に関する研修依頼はほぼなくなり、依頼内容は「授業のつくり方」に移ってきた。

研修内容の例をパンフレットに示してはいるものの、元々道徳の研修と言えば講話が中心で、実技と言っても発問づくりをしてみる程度であり、「座学」のイメージが強かった。そこで、子どもたちとの示範授業、先生方を子どもに見立てた模擬授業も可能であることを働きかけることで、これらのアクティブな学びを年々増やしてきた。

#### ① 示範授業について

派遣先の学校のクラスをお借りして実施する児童生徒との示範授業は、コロナ禍の状況の中にも関わらず17件実施した。子どもたちは初めて出会うアカデミー所員（以下 所員）との授業で緊張しているにも関わらず、張り切って取り組んだ。授業者である所員が、丁寧に発問し個々の発言を大事に扱うことで、子どもたちも自分の体験や価値観を総動員して深く考えようとする姿を目の当たりにし、「うちの学校の子どもたちでもこんな風に深く考えるんだなあ」と先生方を驚かせる場面も見られた。

#### ＜ 事後アンケートより ー示範授業を参観しての感想ー ＞

○児童への発言を促す言葉かけや聞き出し方はとても参考になった。温かい言葉選びから児童の気持ちを中心に展開していく授業は、参観している側からも児童の気持ちの変化を実感することができた。

○生徒から出てきた感想や疑問などを分類し、次の発問に繋げていくこと。生徒の考えや意見から、中心発問につなげられるように授業展開していきたいです。

#### ② 模擬授業について

依頼内容で特筆されるのは「教員対象の模擬授業」の実施で、40件に上った。先生方が子ども役となり、アカデミー講師が教師役となり（または受講者の先生方から教師役を募るやり方もある）、実際に教科書教材を使つての授業を行う。この研修の最大の意義は、先生方が「道徳授業の具体的なイメージが持てる」ことにある。教師がどんな発問をどのように投げかけ、子どもの発言をどう受け止め活かしているのかといった、指導案には表れない役割を目の当たりにできる。そして、子どもの立場から人の意見をじっくり聞き、自分の考えを素直に思いのまま語り、どんな意見も教師が認めて価値づけてくれる安心感や喜びと、考えを深める体験をすることにより、道徳授業の楽しさもまた実感する。このように、頭で理解するのではなく「体感」することで、

道徳授業を理解することによって道徳授業のイメージがより鮮明になっていくことが、最も大きな意義になっている。

また、「職員が同じ方向を見て授業について語り合える貴重な機会」となり、「小中で互いの授業を公開し合う予定」等の事後アンケートの記述も見られ、模擬授業をきっかけとして道徳授業改善への意欲を高めた例もあった。

#### ＜ 事後アンケートより 一模擬授業を体験しての感想一 ＞

- 模擬授業をしていただいて、実際に見て、体験することが一番の学びになるのだと実感しました。私も登場人物の気持ちを想像して、葛藤して、自分自身の本心を知ることができました。そして、クラスメイトの考えを聞いて、もっとモヤモヤしたり、すっと腑に落ちたりして、心がたくさん揺れ動いたのが分かって、とても楽しかったです。これが道徳の授業の楽しさだ！と思いました。
- 生徒と一緒に考える授業を作っていきたいと改めて感じました。また、他の先生方と道徳について話し合いができ、楽しかったです。職員が同じ方向を見て、授業について語り合える貴重な機会をいただいたことを、またこれからは活かしたいと思います。
- 夏の小中研修会の折に、小中合同グループで泣いた赤鬼の授業構想を立て、2学期に互いの授業を公開し合う予定です。

①②に見られる所員による子ども対象の示範授業、先生方対象の模擬授業を中核とした、言わば「アクティブ・ラーニング」としての研修メニューの提供が、アカデミーによる派遣事業の存在意義として確実に定着してきたと言える。教科化の実施からだいぶ時間が経過したとは言え、教科化以後初めて道徳の研修を実施した学校が多い。そのため、未だに多くの先生方は、道徳授業では「一定の型がある」「間違えてはいけない」「ねらいに到達しなければならない」といった縛りがあると感じている。「道徳の授業は価値項目を正しく伝える必要があると思って、堅く考えている部分があったが、『子供の考えをよく聴くことで、子供から教わる姿勢でいけばよい』ということ聞き、少し気が楽になって、今後楽しめそうな気になりました。」というアンケート記述の声にそれが表われている。

日頃の道徳授業に迷いや改善したい思いがあった先生方にとって、「もっとシンプルに考えて良いのだ」「ねらいをしっかり立て、子どもが考えなくなる発問を設定することが大事なのだ」「子どもの発言を丁寧に受け止め活かすこと」等、個々に気づきがあり、「目からうろこが落ちた」という言葉を聞くことが本年度も多かった。特に、本年度印象的だったのは、中学校の先生の「私達は免許がないのに道徳の授業をしている」という言葉である。一つの教科の授業を専門に受け持つ中学校の先生方の中には、免許を持っている教科に次ぐ「第二の教科」という捉えがあることに改めて気づかされた。とりわけ教科化後に教員となった若い先生方が道徳科の授業に熱心に取り組む根底には、他の教科と同様に、専門の教科と同様に大事でありながら、大学時代に専門的に学んで来なかったという意識があるように思える。

これらのメニューの提供を促進することで、先生方の道徳科における具体的な授業力を身に付けたいという意欲を高め、同時にその意欲に応えていきたい。「教えなければならない」授業から、「先生が教えるのではなく、子どもが考え発見する」授業へと、先生方の道徳の授業観は変わりつつある。「楽しい授業をしたくなった」と先生方や学校全体が前向きに元気になっていく姿こそ、本アカデミーの大きな使命であることを再認識し、努力を重ねていきたい。

#### ＜ 研修拠点校への派遣事業 ＞

第Ⅱ期の新規事業として、道徳に関する地域の中核校として発信する力を持つ学校をつくって

いくために、県内の各地域に研修拠点校を委嘱し、取り組みを始めて2年目となった。昨年度は、上越エリアの上越市立板倉中学校、上越市立稲田小学校、中越エリアの長岡市立栖吉中学校、下越エリアの新潟市立小針小学校の4校と覚書を結び実施した。本年度は板倉中、栖吉中の2校が継続、新たに長岡市立栖吉小学校、上越市立明治小学校が加わり実施した。

これらの学校には、派遣の回数に上限を設けず、年間を通じて重点的に研修を充実させるとともに、広報活動を通じて近隣の学校や教員に研修会への参加希望を募り、拠点校としての機能が発揮できるように進めてきている。研修の講師として客員講師の派遣も行ってきた。

詳細は別項で報告する。

#### <特別支援教育における道徳授業モデルの作成事業への派遣>

「特別支援学校・学級での道徳授業はどうしたらよいか？」という現場からあがっていた多くの声に応え、第Ⅱ期の新規事業として、「特別支援教育における道徳授業モデルの作成とネットワークの構築」を立ち上げた。この2年間で県内外の10機関に及ぶ特別支援学校・小中学校が本事業の研究協力校となり、それらの学校への派遣を行ってきた。

詳細は別項で報告する。

## (2) 課題

#### <近隣学校への派遣・拡大された派遣先への派遣>

県内の機関からの派遣依頼に応えつつ、近隣に拡大された範囲からの依頼にも応えられるよう備えたい。本年度、富山県からの依頼が1件のみであった。コロナの感染状況を踏まえながら、拡大された派遣先へのアカデミーの周知を図りたい。

一方で、地元上越市、妙高市、糸魚川市の小中学校からの派遣依頼が非常に少なくなっている。コロナ禍の影響で研修を自重する傾向にあり、ICTの研修、外国語研修等を優先せざるを得ない状況、それに加えて働き方改革の一層の推進で道徳研修の余剰がなくなっている現状がある。これらの市からは、研究団体による派遣依頼は継続しており、各学校の代表者が受けた研修内容を各学校で伝えるという形になっている。

本学との連携事業や教育現場等、関わりのある学校に積極的に働きかけ、道徳教育に少しでも貢献していきたいところである。

※ 働き方改革の波…研修開始前に、学校長や責任者から「時間厳守で」とお願いされることが増えてきた。当たり前のことではあるが、以前には聞かれなかったことであり、これが時代の波であろう。

#### <コロナ禍における派遣事業への対応>

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、今後も派遣事業に携わる所員が健康管理に留意すること、大学からの通知とアカデミー内で決められた行動制限を遵守していくことが大切である。このところ、小中学生へのコロナ感染が県内でも日常化している。そのため、派遣日の前日にコロナ感染者が出たために子ども対象の授業を中止し、研修もオンラインに急遽切り替えるケースがあった。対面とオンラインのどちらにも対応できるように準備しておく必要がある。

また、対面を避けたオンラインの研修が今後も継続していくことが予想される。次年度も、大学から付与される遠隔会議システム等を活用してのオンライン研修を充実させていくことにしている。

## 令和4年度派遣事業 研修一覧

回数	依頼市町村名	学校名等	担当	月日	曜	時間	内容等	講話	遠隔地の研修	模擬授業	授業づくり演習	公開授業	その他	
							zoomによるリモート研修、メールによる指導等							
25	20	三条【協力校】大島小①	4	小宮	04月27日	水	13:30～16:30 公開授業(5年・6年複式学級:学担 川上慶子T) 協議会:「5・6年複式学級における」道徳の単元配当、「複式学級並びに特別支援学級在籍児童コンパイン型道徳授業の在り方」、「今後の研修予定について」				1		1	
10	9	上越【拠点校】板倉中①	21	広中	05月16日	月	13:40～16:40 示範授業 講話「生徒一人一人が「深い学び」に至るために、発問や意見交流をどのように組み立てていけばよいか」	1					1	
18	14	長岡 越路中	31	齋藤	05月23日	月	15:30～16:40 zoomによるリモート研修:「道徳の授業をすににあたってのポイントなど」	1						
28	18	長岡 秋葉中	18	小宮	05月23日	月	13:50～16:20 示範授業(2年生) 職員研修で模擬授業 職員研修で講話			1			1	
8	7	五泉 愛宕小	16	小宮	05月25日	水	15:10～16:30 模擬授業 講話「ここがポイント! 道徳科の授業づくり」 事前に職員から「指導が難しかった」「指導が不安」という教材についての研修	1		1			1	
19	15	燕 燕市教育委員会	26	早川	05月25日	水	14:30～16:40 模擬授業(小学校教諭16名、中学校教諭7名、市教委3名) 講話「道徳科授業の実践 一授業づくりと展開の工夫を中心に」	1		1				
7	6	新潟県 県立教育センター	5	小宮	05月30日	月	10:30～12:00 教科リーダー育成講座(小・中・特):小学校4・中学校1、講義「学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり」 教科リーダー育成講座(小・中・特):小学校4・中学校1、模擬授業	1		1				
33	25	長岡【拠点校】新吉小①	36	小宮 広中	05月31日	火	14:05～16:40 新吉中学校の第1回小中合同研修会(長岡市立新吉中学校の教職員・長岡市立新吉小学校の教職員が参加)、公開授業14:05～14:50(道徳2、教科2) 新吉中学校の第1回小中合同研修会(長岡市立新吉中学校の教職員・長岡市立新吉小学校の教職員が参加)、指導:15:10～15:30 5年生公開授業「落し物」への指導、2年生公開授業「黄色いベンチ」への指導 新吉中学校の第1回小中合同研修会(長岡市立新吉中学校の教職員・長岡市立新吉小学校の教職員が参加)、講話「小中9年間の連続を踏まえた道徳教育の在り方」:15:40～16:40	1			1			
18	10	長岡 山古志中	9	齋藤	06月02日	木	13:40～16:40 ウォーミングアップ(130～200)、示範授業(5限:200～250);全校道徳、生徒11名:考え議論する道徳の典型的授業 講話「中1～中3における発達段階を踏まえた道徳の授業づくり方や指導方法など」	1					1	
20	16	佐渡 佐渡総合教育センター(畑野)	35	小宮	06月03日	金	13:55～16:30 模擬授業(小中学校教職員各校から1名、計35名) 講話「児童生徒の学びを深める指導と評価の在り方、授業の構想と教材のもつ価値の生かし方、気づきや創造を生み出す発問の工夫」	1		1				
26	20	三条【協力校】大島小②	14	早川	06月07日	火	13:45～16:45 公開授業参観(全校集会での校長講話:全校道徳) 公開授業参観(5年・6年複式学級:学担 川上慶子Tの道徳) 講話 模擬授業(役割演技の効果的な活用)	1			1			
4	4	上越 上越市教育センター①	6	小宮	06月09日	木	15:00～16:45 「道徳教育研修Ⅱ(中)」中学校対象、Zoomによるリモート研修、具体的な教材を取り上げ、子どもが自分との関わりで道徳的価値を捉え、多面的・多角的に考 「道徳教育研修Ⅱ(中)」中学校対象、Zoomによるリモート研修、教材解釈 「道徳教育研修Ⅱ(中)」中学校対象、Zoomによるリモート研修、「考え議論する」場面設定や発問等の授業づくり 「道徳教育研修Ⅱ(中)」中学校対象、Zoomによるリモート研修、評価の方法 「道徳教育研修Ⅱ(中)」中学校対象、Zoomによるリモート研修、模擬授業	1			1			
9	8	富山県 入善町 入善町立入善中学校	25	早川	06月13日	月	15:00～16:30 模擬授業 講話「役割演技による道徳の授業の効果」	1		1				
21	17	五泉 横田小①	9	小宮	06月15日	水	15:00～16:30 模擬授業 講話(道徳授業の学習過程や振り返りについて)	1		1				
15	12	五泉 五泉・東蒲小教研道徳部①	10	小宮	06月22日	水	15:30～16:30 模擬授業 講話「ここがポイント! 道徳科の授業づくり」	1		1				
14	11	上越 諏訪小	6	小宮	06月23日	木	13:50～16:30 示範授業(5・6年生複式学級、5年4名、6年8名):13:50～14:35 協議会(授業の振り返り、意見交換):15:00～16:30 協議会(指導):15:00～16:30 模擬授業 講話「1つの教材を複数学年で行う場合の配慮をどのようにすればよいか」	1			1		1	
1	1	魚沼 魚沼市教育委員会	40	小宮	06月27日	月	13:45～16:00 示範授業(魚沼市立湯之谷中学校2年生):13:45～14:35 講演会(対象は、魚沼市の各中学校等の教職員):14:50～16:00	1					1	
36	26	長岡【拠点校】新吉中①	17	齋藤	06月27日	月	11:30～16:40 ウォーミングアップ4限(11:40～12:30)、示範授業(5限:200～250) 講話:終末(まとめ、振り返り)場面での授業づくりのポイントの解説	1					1	
44	30	柏崎 北条中	17	林	06月27日	月	15:00～16:40 講話:道徳教育全般における課題、道徳の評価について、質疑応答	1	1					
27	20	三条【協力校】大島小③	8	小宮	06月28日	火	13:30～16:30 5年・6年複式学級での桑原敦子校長先生による公開授業「泣き虫」:13:45～14:30 5年・6年複式学級の学担 川上慶子Tによる模擬授業「ぼくの名前呼んで」(7/8のビデオ撮影をする公開授業):15:00～15:45 参会者による協議会:15:50～16:30 指導:15:50～16:30				1		1	
5	4	上越 上越市教育センター②	15	小宮	06月30日	木	15:00～16:45 「道徳教育研修Ⅰ(小)」小学校対象、Zoomによるリモート研修、具体的な教材を取り上げ、子どもが自分との関わりで道徳的価値を捉え、多面的・多角的に考 「道徳教育研修Ⅰ(小)」小学校対象、Zoomによるリモート研修、教材解釈 「道徳教育研修Ⅰ(小)」小学校対象、Zoomによるリモート研修、「考え議論する」場面設定や発問等の授業づくり 「道徳教育研修Ⅰ(小)」小学校対象、Zoomによるリモート研修、評価の方法 「道徳教育研修Ⅰ(小)」小学校対象、Zoomによるリモート研修、模擬授業	1			1			
40	27	千葉県 船橋市 船橋市小中校長会	83	小宮	07月01日	金	15:20～16:40 講話:「特別の教科 道徳の推進における校長の役割」 模擬授業	1			1			
2	2	長岡 長岡市教育センター	9	広中	07月07日	木	14:40～16:40 「小学校・中学校 道徳科の授業づくり 一 道徳科の特質を生かした授業の構想一」:「道徳科の特質を生かす」授業づくり 「小学校・中学校 道徳科の授業づくり 一 道徳科の特質を生かした授業の構想一」:演習 「小学校・中学校 道徳科の授業づくり 一 道徳科の特質を生かした授業の構想一」:模擬授業 「小学校・中学校 道徳科の授業づくり 一 道徳科の特質を生かした授業の構想一」:道徳科授業づくりに関する講話	1			1		1	

42	29	上越	【拠点校】明治小①	13	小宮		07月07日	木	14:30～16:45	頸城中学校区に案内(南川小2、大湊小1、頸城中1、院生1)、示範授業(3・4年生複式学級):14:30～15:15							1	
										頸城中学校区に案内(南川小2、大湊小1、頸城中1、院生1)、職員研修～異学年や様々な特性をもつ児童が在籍する学級での学び合いの手	1							
28	20	三条	【協力校】大島小④	5	小宮		07月08日	金	14:45～16:30	公開授業ビデオ撮影(5年・6年複式学級:学担 川上慶子T):14:45～15:30							1	
										公開授業に係る協議会:15:40～16:30								
										公開授業に係る指導:15:40～16:30	1							
11	9	上越	【拠点校】板倉中②	21	早川	櫻井	07月11日	月	13:40～16:40	<板倉中職員16名+県中教研上越地区推進委員3名+院生2名> 公開授業(3年生2クラス)							1	
										<板倉中職員16名+県中教研上越地区推進委員3名+院生2名> 協議会								1
										<板倉中職員16名+県中教研上越地区推進委員3名+院生2名> 授業の指導(2会場)	1							
										<板倉中職員16名+県中教研上越地区推進委員3名+院生2名> 全体指導・講話(1会場)	1							
49	34	三条	第2中	35	小宮		07月12日	火	14:20～16:40	示範授業(1年2組):14:20～15:10								1
										研修会:15:30～16:40講話:道徳科の授業の作り方について(主題のねらいを達成するための発問の構成の仕方、ねらいとする価値の理解と	1							
										模擬授業								1
30	22	柏崎	柏崎市立教育センター	28	小宮		07月13日	水	13:30～16:45	示範授業13:50～14:40(柏崎市立第一中学校の3年生)								1
										講演15:00～16:30(柏崎市・刈羽村の小学校・中学校の教職員):「道徳科授業の作り方」	1							
										模擬授業								1
8	3	新潟	県立西蒲高等特別支援学校	40	小宮		07月22日	金	13:30～15:30	職員研修(120分):模擬授業								1
										職員研修(120分):道徳の授業改善に向けた指導助言	1							
41	28	千葉県 習志野市	習志野市立鷺沼小学校	33	小宮		07月27日	水	14:00～15:30	道徳科の授業の作り方について	1							
										教員に対する道徳科の模擬授業								1
31	23	千葉県 習志野市	習志野市教育委員会	30	小宮		07月29日	金	9:00～12:00	道徳教育推進教師研修会(小16・中7+希望者):模擬授業								1
										道徳教育推進教師研修会(小16・中7+希望者):講話	1							
43	29	上越	【拠点校】明治小②	8	早川		07月29日	金	10:00～11:30	模擬授業								1
										教員対象 研修～異学年や様々な特性をもつ児童が在籍する学級での学び合いの手立てについて～	1							
51	36	千葉県 習志野市	習志野市立香澄小学校①	20	小宮		08月02日	火	13:30～15:30	1学期実践発表								1
										模擬授業								1
32	24	見附	南中	18	小宮		08月22日	月	13:30～15:30	職員研修:職員を対象とした模擬授業								1
										職員研修:授業づくりについての講話	1							
52	36	千葉県 習志野市	習志野市立香澄小学校②	20	小宮		08月25日	木	13:30～15:30	模擬授業								1
										講話	1							
6	5	長野県	長野県総合教育センター	20	早川	小宮	08月30日	火	半日日程	zoomによるリモート研修で実施→「道徳授業づくりの理論と実践」	1							
										zoomによるリモート研修で実施→道徳科の授業の意義やあり方に関する講義・演習								1
										zoomによるリモート研修で実施→模擬授業								1
22	17	五泉	橋田小②	10	小宮		09月05日	月	13:40～16:30	公開授業(2年)								1
										協議会								
										指導(道徳授業の学習過程や振り返りについて)	1							
16	12	阿賀	五泉・東蒲小教研道徳部②	10	小宮		09月07日	水	13:30～16:30	会場:阿賀町立津川小学校、公開授業の参観								1
										会場:阿賀町立津川小学校、協議会								
										会場:阿賀町立津川小学校、協議会における講師	1							
29	21	南魚沼	石打小	12	小宮		09月12日	月	13:45～16:15	示範授業								1
										講話	1							
34	25	長岡	【拠点校】新吉小②	21	齋藤		09月12日	月	14:05～16:40	3年2組(担任 妻谷)での示範授業:教材は「明るくなった友だち」友情・信頼								1
										講話「ここがポイント!道徳科の授業づくり」	1							
46	32	長岡	宮内中①	8	小宮		09月14日	水	13:45～16:40	5・6時間目:道徳の公開授業(3年1組～5組)								1
										放課後:協議会(道徳部+数名)								1
										放課後:指導(道徳部+数名)	1							
12	9	上越	【拠点校】板倉中③	23	櫻井	小宮	09月15日	木	13:40～16:25	公開授業(1年生2クラス):13:40～14:30								1
										協議会:全体会は行わない								
										指導・講話(2会場):全体会は行わない	1							
37	26	長岡	【拠点校】新吉中②	16	広中		09月20日	火	11:30～16:40	ウォーミングアップ4限(11:40～12:30)、示範授業(5限:2:00～2:50) *近隣の中学校へ案内を配布								1
										講義:授業づくり、資料を選び、中心発問以降の授業の流れ(発問)を考える *近隣の中学校へ案内を配布	1							
										模擬授業 *近隣の中学校へ案内を配布								1
17	13	上越	公孫会高田支部中・青年部研修	37	広中	齋藤	09月29日	木	18:00～20:00	道徳科授業の充実のための講話、小学校教諭向けと中学校教諭向けの2つの講座を実施。小学校:広中→30名、中学校:齋藤→6名	1							
										模擬授業等参加型の研修、小学校教諭向けと中学校教諭向けの2つの講座を実施。小学校:広中→30名、中学校:齋藤→6名								1
54	36	千葉県 流山市	流山市立北部中学校	35	早川		09月30日	金	13:30～16:30	5時間目:道徳の公開授業								1
										放課後:協議会								1
										放課後:公開授業についての指導	1							
										放課後:講演「中学校における役割演技の指導について」	1							
										模擬授業								1
24	19	三条	第4中	22	小宮		10月17日	月	15:20～16:20	zoomによるリモート研修:15:20～16:20 模擬授業								1
										zoomによるリモート研修:15:20～16:20 講話:道徳授業の進め方について	1							
47	32	長岡	宮内中②	40	小宮		10月26日	水	13:45～16:40	5限:公開授業(3年4組)職員は全員参観								1
										放課後:職員研修(協議会)								1
										放課後:職員研修(指導)	1							
										放課後:職員研修(講演)	1							
45	31	妙高	妙高市教育研究会道徳部	13	早川		11月09日	水	14:00～16:00	小・中・特支学校・子ども園の教職員13人、「考え、議論する道徳」を旨とした模擬授業、質疑応答								1
										小・中・特支学校・子ども園の教職員13人、授業づくりと評価についての研修、質疑応答	1	1						

38	26	長岡	【拠点校】稻吉中③	18	広中	11月10日	木	14:00～16:40	公開授業:近隣の中学校へ案内を配布 近隣の中学校へ案内を配布、協議会 近隣の中学校へ案内を配布、指導				1			1
55	39	南魚沼	六日町小	25	小宮	11月14日	月	14:00～16:30	14:00～示範授業:5年2組 教材「森の絵」 15:15～職員研修:模擬授業 15:15～職員研修:講義 テーマ「子どもの考えの生かし方」子どもの本音をどう引き出すか?子どもの考えを交流させ、どのように価値に迫るか?				1			1
50	35	糸魚川	糸魚川市教育研究員 道徳・人間教育、特別教育部	24	小宮	11月22日	火	14:30～16:40	部員は18名(小学校15名、中学校3名)・中能生小学校職員6名・その他各小中学校の部員以外の職員の希望者、会場は、糸魚川市立中能生小学校、模 部員は18名(小学校15名、中学校3名)・中能生小学校職員6名・その他各小中学校の部員以外の職員の希望者、会場は、糸魚川市立中能生小学校、授業を受けての質疑 部員は18名(小学校15名、中学校3名)・中能生小学校職員6名・その他各小中学校の部員以外の職員の希望者、会場は、糸魚川市立中能生				1			1
35	25	長岡	【拠点校】稻吉小③	24	齋藤	11月24日	木	14:05～16:40	校内での全体公開授業(3年2組で実施、授業者 菱谷T;教材は「絵葉書と切手」友情・信頼) *近隣の小学校への案内はなし 協議会 *近隣の小学校への案内はなし 指導 *近隣の小学校への案内はなし				1			1
56	40	小千谷	南中	9	小宮	11月30日	水	13:55～16:30	示範授業:13:55～14:45(1年A組 教材「短文投稿サイト」に友達への悪口を書く)、小中合同研修の可能性もあり 授業研修会:15:00～16:30 講話(授業の振り返り、道徳科の特質を踏まえた指導の工夫、道徳科の評価)、小中合同研修の可能性もあり				1	1		1
60	44	南魚沼	南魚沼市学習指導センター	25	広中	12月02日	金	13:55～16:30	塩沢中学校の研修会、公開授業 塩沢中学校の研修会、協議会 塩沢中学校の研修会、協議会での指導						1	1
64	48	千葉県 市川市	市川市立北方小学校	20	小宮	01月10日	火	13:45～16:45	模擬授業 講話				1			
39	26	長岡	【拠点校】稻吉中④	16	広中	01月16日	月	15:15～16:40	職員研修 15:15～16:40 講話:研修のまとめ(今年度の道徳授業、研修を振り返り、次年度へつなげる)				1			
53	37	千葉県 市川市	市川市立南行徳小学校	30	小宮	01月19日	木	10:00～16:45	2年生の道徳公開授業(4限) 2年生の道徳授業参観(4限)の指導 示範授業(5限) 職員研修 講話(評価を中心とした授業解説・その他):～16:45 職員研修(模擬授業):～16:45				1			1
62	46	千葉県 市川市	市川市立富貴島小学校	15	小宮	01月20日	金	13:45～16:45	道徳公開授業(5限) 職員研修 講話(道徳授業参観(5限)の指導・その他):～16:45 職員研修(模擬授業):～16:45				1			1
65	49	小千谷	小千谷市立総合支援学校①	12	小宮	01月24日	火	14:30～16:00	zoomによるリモート研修:小学部の指導案検討会 zoomによるリモート研修:小学部の指導案指導							1
66	49	小千谷	小千谷市立総合支援学校②	6	小宮	早川	01月26日	木	14:30～16:00	zoomによるリモート研修:小学部の指導案検討会 zoomによるリモート研修:小学部の指導案指導						1
61	45	上越	三和中	15	小宮	01月30日	月	14:00～16:20	示範授業:13:55～14:45 職員研修 15:15～16:15:講話 職員研修 15:15～16:15:模擬授業				1			1
63	47	千葉県 船橋市	船橋市教育研究会 道徳B部会	47	小宮	02月01日	水	14:30～16:30	模擬授業 講話				1			
58	42	千葉県 習志野市	習志野市立谷津南小学校	40	小宮	02月02日	木	12:50～16:00	公開授業 講評 講話:道徳科の指導方法についての解説及び現在の道徳教育の動向				1			1
57	41	千葉県 習志野市	習志野市立谷津小学校	54	小宮	02月03日	金	15:00～16:40	模擬授業 事後協議 講話				1			1
67	49	小千谷	小千谷市立総合支援学校④	7	小宮	02月10日	金	10:20～12:00	高等部の研究授業参観 高等部の研究授業の協議会 高等部の研究授業の指導						1	1
68	49	小千谷	小千谷市立総合支援学校⑤	6	小宮	02月13日	月	13:30～15:15	小学部の研究授業参観 小学部の研究授業の協議会 小学部の研究授業の指導						1	1
48	33	千葉県 八千代市	八千代市教育研究会道徳部会	30	小宮	02月15日	水	14:30～16:00	道徳科授業での体験的な学習としての「役割演技」の可能性と留意点 模擬授業(実際の教材を用いた「役割演技」体験)				1			1
59	43	千葉県 習志野市	習志野市立向山小学校	20	小宮	02月16日	木	13:45～16:30	示範授業(5限:6年1組) 職員研修:模擬授業 職員研修:講話、質疑応答				1			1
70	50	千葉県	千葉県道徳授業スキルアップ研修会	20	小宮	02月22日	水	18:30～20:00	講話:道徳科の授業づくり(役割演技を中心に) 質疑と協議 模擬授業(実際の教材を用いた「役割演技」体験)				1			1
69	49	小千谷	小千谷市立総合支援学校③	10	小宮	02月24日	金	10:00～11:50	中学部の研究授業参観 中学部の研究授業の協議会 中学部の研究授業の指導						1	1

## 上廣道徳教育アカデミー 令和 4 年度 派遣事業 派遣回数及び派遣先一覧 (最終版)

赤字・・・研修拠点校 青字・・・特別支援教育における道徳授業協力校

地域	回数	小学校	中学校	小中一貫校・高等学校・特別支援学校	教育委員会等	その他
上越市	10	2) 諏訪1・明治2	2) 板倉3・三和1		1) 上越市教育センター2	1) 公孫会高田支部中堅青年部1
柏崎市	2		1) 北条1		1) 柏崎市立教育センター1	
長岡市	13	1) 栖吉3	5) 栖吉4・山古志1・宮内2・秋葉1 越路1		1) 長岡市教育センター1	
新潟市	2			1) 県立西蒲高等特別支援学校1	1) 県立教育センター1	
五泉市	4	2) 愛宕1・橋田2				1) 五泉東蒲小教研道徳部1*
燕市	1				1) 燕市教育委員会1	
小千谷市	6		1) 南1	1) 小千谷市立総合支援学校5		
糸魚川市	1					1) 糸魚川市教育研究会道徳部1
妙高市	1					1) 妙高市教育研究会道徳部1
見附市	1		1) 南1			
魚沼市	1				1) 魚沼市教育委員会1	
南魚沼市	3	2) 石打1・六日町1			1) 南魚沼市学習指導センター1	
三条市	6	1) 大島4	2) 第2 1・第4 1			
佐渡市	1				1) 佐渡総合教育センター1	
阿賀町	1					1) 五泉東蒲小教研道徳部1*
新潟県	53	新潟県小学校 8	新潟県中学校 12	新潟県 2	新潟県 4	新潟県 4
千葉県	15	8) 市川市立南行徳1・習志野市立香澄2 習志野市立鷺沼1・習志野市立谷津1 習志野市立立谷津南1・習志野市立向山1 市川市立富貴島1・市川市立北方1	1) 流山市立北部1		1) 習志野市教育委員会1	4) 船橋市小中校長会1 八千代市教育研究会道徳部会1 船橋市教育研究会道徳B部会1 千葉県道徳授業スキルアップ研修会1
長野県	1				1) 長野県総合教育センター1	
富山県	1		1) 入善 1			
合計	70	16)	14)	2)	10)	8)

ア 回数は延べ派遣回数

イ 事前の打ち合わせもカウントする

ウ 受講機関件数は同一校で複数回開催は1カウント、同一開催で複数校参加(中学校区で開催等)は各校数で計上

※上記により派遣依頼機関件数と受講機関件数は一致しない

エ 教育センターは教育委員会でカウント

オ 上記以外 ・上越教育大学学校教育実践研究センターの水曜セミナーで5回開催 \*延べ参加者76名

まとめ (年度末までの予定を含む)  
 延べ派遣回数 70回 (県内…53 県外…17回)  
 延べ参加人数 1471名  
 派遣依頼機関件数 50件 (県内…34件 県外…16件)  
 受講機関件数 50件 (県内…34件 県外…16件)  
 Zoom によるリモート研修 8件 (県内…6件 県外…2件)

# 令和4年度長野県教育委員会と上越教育大学連携による教育研修講座リーフレット



長野県教育委員会

2022 長野県教育委員会と上越教育大学教職大学院連携による

## 教員研修講座

上越教育大学教職大学院、長野県教育委員会の連携による生徒指導力・学力の向上を目指す研修講座を開催します。  
 学校や教職員を取り巻く様々な教育課題が表出し、その早急な解決が求められています。  
 長野県にとつての教育課題をヒックアップし、その解決に向けて5日間に向けて5日間におわたり大学教員が研究の成果をもとに語り、  
 実力向上が感じられる講座となることとして、みなさんご参加をお待ちしております。

### 長野県総合教育センター

長野県塩尻市片丘南唐沢6342-4

6/16(木)・7/28(木)・8/30(火)

9/16(金)・9/22(木)

9:40~16:10 ※詳細は、総合教育センター、発行の  
 研修講座案内をご覧ください。

対象  
 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、高等学校、特別支援学校等に勤務する教職員

申込方法  
 県内の方は、長野県総合教育センターの研修講座への申込方法と同一です。県外の方で受講を希望される方は、下記問い合わせまでご連絡してください。



お問い合わせ

ご不明な点等ありましたら、E-mailでお問い合わせください。

E-mail: oshima@juen.ac.jp

(上越教育大学教職大学院学校教育実践研究コース 准教授 大島 崇行)



長野県教育委員会

2022

長野県教育委員会と上越教育大学教職大学院連携による

## 教員研修講座

資料3



講座番号・講座名	担当	テーマ	研修の概要
3-8-01-01 効果的な集団づくり ~これからの学校・学年経営~ 6月16日(木)	午前 鷹瀬 裕一 准教授 (上越教育大学) 午後 赤坂 真二 教授 (上越教育大学教職大学院 学校教育実践研究コース 学校経営・授業経営)	法令を踏まえた学年経営  令和の学年経営	学年のリーダーとはどんな連携調整及び指導、助言をすべきか、法令を踏まえ、具体的な実践場面に即して考えます。  子供の多様化が指摘され、飛んでいる訳ではないが学年がまとまらなれないと言います。これからの学年経営はどのようなあり方なのでしょうか。
3-8-01-02 ICTを活用した授業づくり ~教科学習における効果的なICT活用~ 7月28日(木)	午前 神原 範久 准教授 (上越教育大学教職大学院 学校教育実践研究コース 学校経営・授業経営) 午後 山田 貴之 准教授 (上越教育大学教職大学院 教育実践・教科授業実践 研究コース)	ICT活用の基本的な考え方と効果的な実践  教科学習におけるICTの効果的な活用	ICT活用の基本的な考え方や1人1台の端末の具体的な機能を学びます。また、Google Workspaceの授業での効果的な活用方法を体験します。  主に理科や総合的な学習の時間において、ICTの活用場面や方法を学びます。教科の目標達成に向けたICTの活用について共に考えましょう。
3-8-01-03 特別の教科 道徳 ~道徳科授業づくりの理論と実践~ 8月30日(火)	早川 裕隆 教授 (上越教育大学教職大学院 学校教育実践研究コース 上越教育大学 上越道徳教育 アカデミー(所長)) 小宮 健 特任教授 (上越教育大学 上越道徳教育アカデミー)	道徳科授業づくりの理論と実践	道徳科の授業の意義やあり方に関する講義と、小・中学校それぞれの教材を使った道徳科授業(演習)を通して、道徳授業づくり、とりわけ、その活用が求められる道徳科の授業に関する体系的な学習としての役割・活用の仕方、発問、主題とねらい、評価等について具体的に学び、効果的な授業展開ができる授業力の向上を目指します。
3-8-01-04 深い学びが生起する国語科授業 ~言葉による見方・考え方を磨かせるには~ 9月16日(金)	午前 片桐 史裕 教授 (上越教育大学教職大学院 学校教育実践研究コース 学校経営・授業経営) 午後 古閑 晶子 教授 (上越教育大学教職大学院 教育実践・教科授業実践 研究コース 教科・領域・探究的学習)	ICT活用による国語科での主体的・対話的で深い学び  言葉による見方・考え方を磨かせるには、深く深い学びのデザイン	学習者1人1台のICT機器導入により、旧来の授業ではできなかった、これからの授業デザインをみながら考えていきましょう。  言葉による見方・考え方を更新しながら考えを形成する深い学びのデザインに必要な問いや思考操作等について共に考えましょう。
3-8-01-05 小中学校における特別支援教育 ~多様な児童生徒の「実態把握と指導・支援」~ 9月22日(木)	藤井 和子 教授 関原 真紀 准教授 坂口 嘉菜 講師 (上越教育大学教職大学院 発達支援教育実践研究コース 特別支援教育)	多様な児童生徒の「実態把握と指導・支援」	多様な児童生徒の実態把握の意義と方法、個々のニーズに応じた指導・支援の在り方に関する講義と、実践事例や演習を通して、自立活動と関連させた各教科等の授業づくりについてお話しします。実態把握の基本、行動の実態把握、言語学面の実態把握について具体的に学びます。

## ② 「上廣道德教育アカデミー 道德教育セミナー」の開催について（資料４～５）

### (1) 目的

質の高い多様な道德科の授業、道德科の理解、道德科の評価、道德教育推進のための計画づくりや体制づくり等、大学、地域の教育センター等と連携し、道德教育の研修講座を開設・実施することを目的とし、上越教育大学学校教育実践研究センターにおける「教職員のための自主セミナー」で「上廣道德教育アカデミー 道德教育セミナー」を開設した。５回実施、参加者延べ７８名。令和４年度からの本学第４期中期目標期間における現職教員等を対象とした各種キャリアアップ講習等の実施（各年度の平均１７０回以上）に本アカデミーも参画し、勤務時間外に自主的に参加できる道德研修の場を、広く県内外の先生方に提供することを目的として実施した。

### (2) 実施の概要

本年度のセミナー開催にあたり、越後道德ときめき研究会の会員、アカデミー研究大会参加者等の先生方に実施したアンケートの中には、「長岡からだと水曜日の参加は難しい」「Zoomでの受講参加を希望します」「直接お伺いして受講したいが難しいのでハイブリッド型（現地＋オンライン）での開催がありがたい」等の声があった。そこで、県内で希望される広範囲の先生方に参加いただけるように、オンラインでの開催を基本とし、地元の先生方に向けて昨年度までと同様の対面形式も残すこととした。さらに、オンラインの利点を生かし、県外にも案内することとした。

講師は、本年度新たに委嘱した県外のアカデミー研究員３名が一度ずつ講座を担当し、オンラインで実施し、また、オンライン＋学校教育実践研究センターでの対面（いわゆるハイブリッド型）の講座も２回実施することとし、計５回実施した。概要は次のとおりである。

回	実施日	開催の形式	対象・テーマ・内容	講師	参加数
1	5月18日	上越教育大学学校教育実践研究センターとZoomのハイブリッド形式	【小学校高学年教材】 小学校高学年の教材「ブランコ乗りとピエロ」を用いて、中心発問について考える	特任教授 小宮 健	18
2	6月8日	Zoomによるオンライン開催	【中学校教材】 中学校の教材を用いての、道德授業における有効な ICT 機器（タブレット）の活用の仕方と、その限界について	研究員 鈴木賢一	15
3	6月22日	Zoomによるオンライン開催	【小学校教材】 小学校の教材を用いての道德授業における役割演技の効果的な活用の実際と留意点について	研究員 北川沙織	16
4	10月12日	Zoomによるオンライン開催	【小学校教材】 ワークショップ『道德の教材文の読み方の提案』-『およげないりすさん（私たちの道德 小学校1・2年）』を教材として』-	研究員 中山真樹	12
5	11月9日	Zoomによるオンライン開催 (対面は参加者が少なく中止)	【小学校高学年教材】 小学校高学年の教材『ブランコ乗りとピエロ』を用いた授業づくり	特任教授 小宮 健	17

### (3) 評価

#### <参加者について>

毎回オンラインにしたことにより、対面が叶わなかった長岡市や糸魚川市からの参加があり、県内参加者の幅が広がった。参加者は県内が半数を超えていたものの、オンラインにより県外からの参加者も4割近くあった。小中学校の教員のみならず、毎回、高等学校や大学の教員も参加する多彩な顔触れで実施できた。

#### <講師について>

本年度より委嘱した3名のアカデミー研究員が、1回ずつ本セミナーの講師を担当した。研究員3名は愛知県、大阪府在住であるがオンラインにより講師が可能になり、それぞれが力を入れている教材の見方や指導方法をテーマにし、多様なセミナーを開催することができた。

#### <研修内容について>

順を追って参加者の声をもとに成果を述べる。

##### ◇第2回「ICTの活用と限界」◇

「タブレットを使いましたよ」という実践報告しか聞いたことがなく、その先の効果を分析考察し、吟味している点に説得力があった。同時に、参加者の声に真摯に耳を傾け、タブレット使用の有無に関わらず道徳授業の本質として『めあて』を示すことについて参加者全員で協議できた。」という声に代表されるように、タブレット使用の限界のみならず、道徳授業の本質についても参加者が共感的に理解を深める研修となった。

##### ◇第3回「役割演技の効果的な活用」◇

道徳授業における役割演技の実際を映像で紹介した。「実際の授業の様子を見ることで、意見の整理の仕方が分かった」「役割演技を行う際の具体的な手順や留意点分かりやすかった」「授業者が子どもの話を楽しみながら聴く姿、子どもたちが自由に発言する雰囲気がとてもよかった」等、役割演技の実際に触れられたことによる実感的に理解を深めた参加者が多い研修となった。

##### ◇第4回「道徳の教材文の読み方」◇

「有名な教材(およげないりすさん)でももう一度丁寧に読むことで、分析的に読み直し、子どもの立場になって読むことができ、それらの読みを先生方で交換すると想像をはるかに超えて広がることに気づけた」「1教材1内容項目という限定は多くの先生方のやり易さにつながっているが、熱心に取り組むほどねらいが一つというのはやりにくさ、子どもの主体性を活かせないという矛盾が大きくなる。この問題を改めて確認できた。」等、一つの教材の様々な解釈により課題が見えてきた研修となった。

##### ◇第1・5回「模擬授業－教材の解釈と発問－」◇

教材文(ブランコ乗りとピエロ)を読んだ感想を自由に語り、発問も最小限にし、後半はオンラインではあったが役割演技を行った。「思ったことを自由に語れること」「教材文を大切に扱うこと」のよさと「役割演技を見て、演者の立場や価値観、考え方が反映されるものだと再認識した。心と本音で語り合い、教師も含めて参加している者同士が磨き合える授業実践をしたいものと思った。」と役割演技による気づきがあった研修となった。

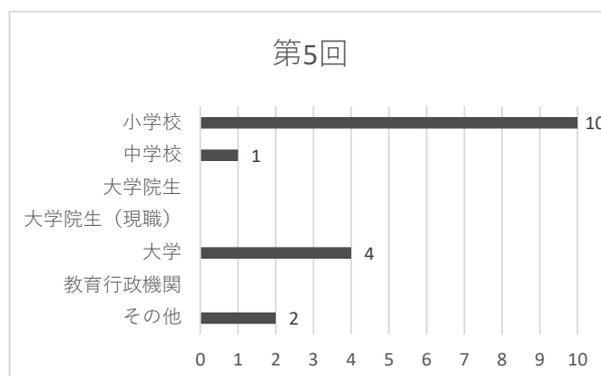
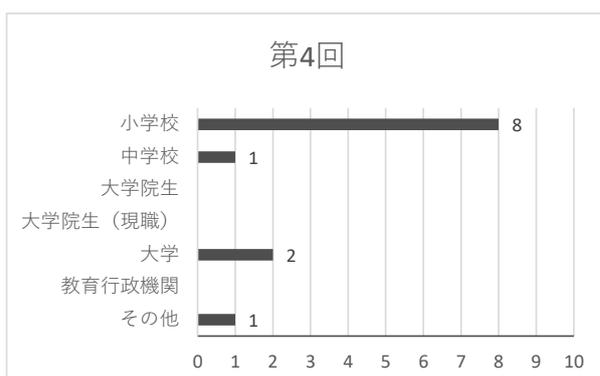
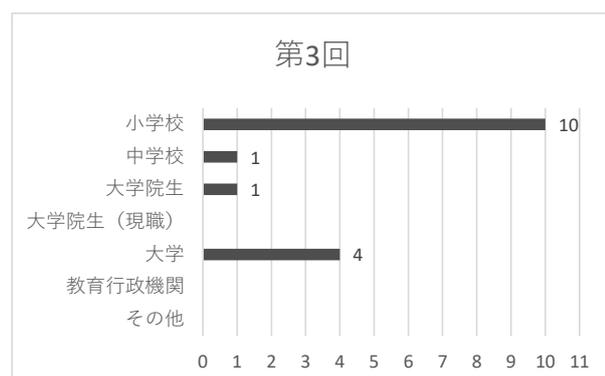
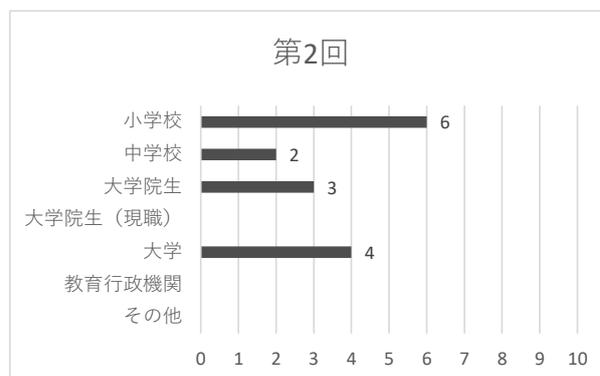
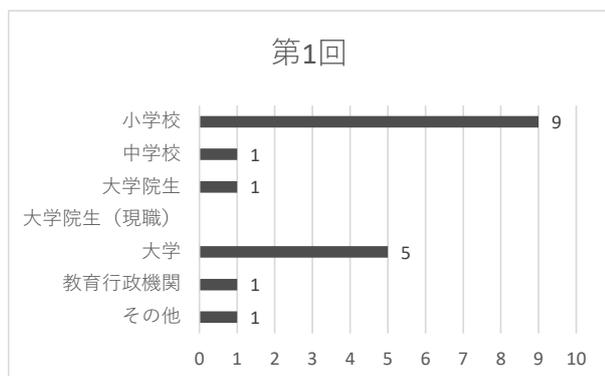
以上のように、講師の個性が発揮されるセミナーが実施でき、随所にブレイクアウトルームによる話し合いや、自由にチャットに書き込める雰囲気があり、講師がいながらも参加者の主体性が発揮できるセミナーになっていた。

#### (4) 課題

- ・第1回と第5回は、昨年度まで行ってきた対面の良さを継続させるために、上越教育大学学校教育実践研究センターを対面の会場にしてオンラインも実施するハイブリッド開催を行う予定だったが、第5回は、対面での参加希望が僅かであったため、オンラインのみとした。対面の取捨が難しい。
- ・第1回のハイブリッド開催は講師が不慣れなこともあったが、対面とオンライン先の両方の先生方に向けた模擬授業はやはり難しく、開催する講師ひとりではなく協力者が必要である。技術面での慣れと研修内容の検討が必要である。

## 令和4年度 教職員のための自主セミナー(水曜セミナー)「上廣道德教育アカデミー 道德教育セミナー」実施一覧

回	実施日	会場	対象・テーマ・内容	講師	参加数
1	5月18日	上越教育大学学校教育実践研究センターとZoomのハイブリッド形式	【小学校高学年教材】 小学校高学年の教材「ブランコ乗りとピエロ」を用いて、中心発問について考える	特任教授	18
				小宮健	
2	6月8日	Zoomによるオンライン開催	【中学校教材】 中学校の教材を用いての、道徳授業における有効な ICT 機器(タブレット)の活用の仕方と、その限界について	研究員	15
				鈴木賢一	
3	6月22日	Zoomによるオンライン開催	【小学校教材】 小学校の教材を用いての、道徳授業における役割演技の効果的な活用の実際と留意点について	研究員	16
				北川沙織	
4	10月12日	Zoomによるオンライン開催	【小学校教材】 ワークショップ『道徳の教材文の読み方の提案』-『およげないりすさん(私たちの道徳 小学校1・2年)』を教材として』-	研究員	12
				中山真樹	
5	11月9日	Zoomによるオンライン開催	【小学校高学年教材】 小学校高学年の教材『ブランコ乗りとピエロ』を用いた授業づくり	特任教授	17
				小宮健	
				合計	78



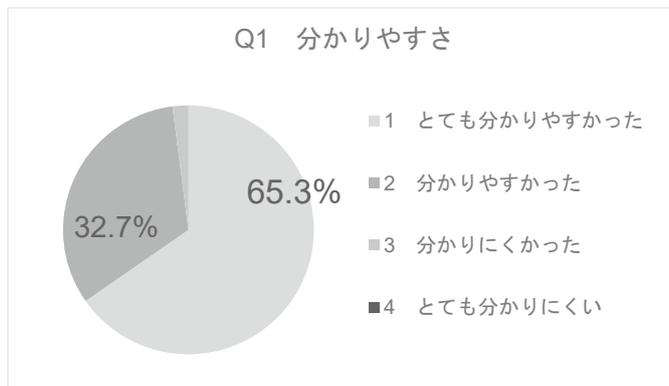
令和4年度 教職員のための自主セミナー（水曜セミナー）  
「上廣道徳教育アカデミー 道徳教育セミナー」アンケート結果（自由記述除く）

回答数 49（延べ参加者数76名）  
アンケート回収率 64.5%

Q1 研修内容は分かりやすかったですか(分かりやすさ)

回答番号	回答	%
1 とても分かりやすかった	32	65.3%
2 分かりやすかった	16	32.7%
3 分かりにくかった	1	2.0%
4 とても分かりにくい	0	0.0%

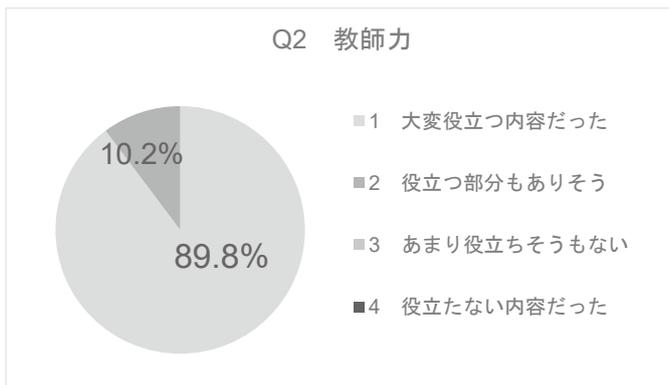
有効回答数（※無効回答0） 49 100.0%



Q2 本研修は、教師力の向上に役立つものでしたか。

回答番号	回答	%
1 大変役立つ内容だった	44	89.8%
2 役立つ部分もありそう	5	10.2%
3 あまり役立ちそうもない	0	0.0%
4 役立たない内容だった	0	0.0%

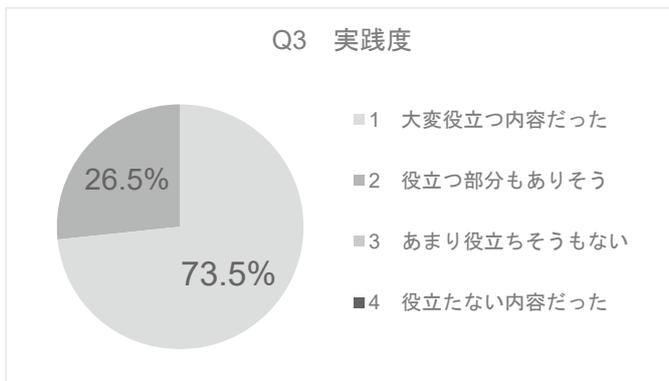
有効回答数（※無効回答0） 49 100.0%



Q3 貴校の今後の実践に役立つ内容でしたか。(実践度)

回答番号	回答	%
1 大変に役立つ内容だった	36	73.5%
2 役立つ部分もありそう	13	26.5%
3 あまり役立ちそうもない	0	0.0%
4 役立たない内容だった	0	0.0%

有効回答数（※無効回答0） 49 100.0%



### ③ 上廣道德教育アカデミー研究大会～特別支援教育における道德シンポジウム～について（資料6～7）

#### (1) 目的・運営

令和4年8月19日に、上越教育大学 道德教育アカデミー研究大会～特別支援教育における道德シンポジウム～（Zoomによるリモート研修）を開催した。

教科化された「特別の教科 道德」（道德科）は、特別支援教育の分野においてもその適切な実施が求められている。しかし、特別支援教育の分野での道德科授業はまだ実践や研究の蓄積が十分ではなく、道德科の授業に対する意識や理解、授業づくりや指導の方法等も、検討の余地があるといえる。

そのため、特に知的障害を伴う子ども達の道德科の充実と推進を図る基盤となる、特別支援教育の教育課程上の道德科の位置づけや役割について適切な理解を深め、授業づくりの方法や工夫、留意点など、子ども達の学びが確かなものになるよう、授業を適切に展開できる教員の資質・能力を養うことを目的に、広く全国の教育関係者と意見交流を行い、特別支援教育における道德の充実に貢献しようと考え、本大会を設定した。

Zoomによる1日のリモート研修の開催であったが、全国の教育関係者から90名の参加者があった。運営はアカデミースタッフ5名で行った。

#### (2) 内容

<テーマ> 「特別支援教育における道德のあり方 ～その理解と授業づくりの実際～」

<講演①> 9:35-10:15（参加率 83.3%）

「特別支援教育の授業づくりにおける個別の指導計画の位置づけ」

藤井 和子（上越教育大学大学院 教授）

<講演②> 10:15-11:50（参加率 83.3%）

「特別支援教育における道德科の在り方と授業づくり」

吉本 恒幸（聖徳大学 名誉教授）

<講演・演習①> 12:45-13:35（参加率 75.6%）

「特別支援学級における道德科授業づくり～子どもに合わせた授業づくりのポイント～」

笠井 善亮（千葉県流山市立東深井中学校 校長）

<講演・演習②> 13:35-14:10（参加率 74.4%）

「特別支援教育における道德科の授業づくりの実際と支援の工夫」

日置 健児朗（熊本県立小国支援学校 教諭）

<シンポジウム> 14:20-16:25（参加率 88.9%）

テーマ 「特別支援教育における道德授業の実際」

シンポジスト

上越市立大町小学校 教諭 岩崎 裕

三条市立大島小学校 校長 桑原 敦子, 教諭 川上 慶子, 教諭 片桐 治

山口市立小郡中学校 教諭 和田 剛志

コーディネーター

吉本 恒幸（聖徳大学 名誉教授）

中島 秀晴（上越教育大学 特任教授）

司会 早川 裕隆（上廣道德教育アカデミー 所長）

### (3) 成果

参加者は新潟県内と県外は半々であり、オンラインの利点が活きて全国各地から参加があった。参加者の半数近くが特別支援学校に在籍または特別支援学級の担当者であったが、小中学校の通常学級担任や大学教員等参加者の学校種は多岐に渡り、多方面から関心の高さがうかがえた。

講演、シンポジウムともに授業の実際等の具体例を交えての話が多かった。そのため、「各発表者から、特別支援学校及び特別支援学級で道徳科をどうにか取り入れようと奮闘されている姿が伝わってきて、大変参考になった」という声に代表されるように、熱意と分かりやすさが評価された。同時に、「特別支援教育における道徳科の在り方とともに、『特別の教科 道徳』の特質を深く理解できた」「そもそもの道徳科の特質についてもう一度きちんと理解し考えていかなければならないと、ハッとしたり」等、対象が誰であろうと内面的資質の育ちを大切にする点は共通であることを改めて確認できたという声もあり、大変意義深い一日となった。

### (4) 課題

「対象が特別支援学級担当者である印象を受けた。支援学校の実態を踏まえた内容をもう少し入れてほしい」「先生方は重度の知的障害または低学年の児童生徒への実践で悩み苦勞をされている気がする」といったニーズには十分応えられなかった。支援学校での実践、重度の子どもたち対象の実践等は、県内に留まらず全国的にもまだ実践が非常に少ない現状であるためである。本大会の意義を感じずにはいられないところである。

「私の勤務校に案内が来なかったのか、来ても私が見逃してしまったのか。素晴らしい大会でしたので、大会開催をもっとアピールしてもよいのではないかと思います。道徳について勉強したがつている教師はたくさんいます。ただ、勉強しても明確な説明や回答を聞くことができる研修は非常に少ないです」という大会開催の周知への課題と、アカデミーの使命を再確認する勇気を与えられる声もいただいた。

オンラインでの開催は、対面開催と比べて準備と運営がはるかにしやすい。しかも遠方からの参加が可能であり、参加者は移動時間と交通費が省ける。今回の要望にもあったが、参加者からの質問に答える場や演習等を設定しにくいことが課題である。参加者同士が顔を突き合わせて議論する場が持たなくなって久しい。

今後の研究大会の開催方法については、多面的な検討が必要である。

令和4年度  
 上越教育大学 <sup>うえひろ</sup> 上廣道德教育アカデミー研究大会  
 ～特別支援教育における道德シンポジウム～のご案内

教科化された「特別の教科 道德」(道德科)は、特別支援教育の分野においてもその適切な実施が求められています。しかし、特別支援教育の分野での道德科授業はまだ実践や研究の蓄積が十分ではなく、道德科の授業に対する意識や理解、授業づくりや指導の方法等も、検討の余地があるといえるのではないのでしょうか。

そのため、特に知的障害を伴う子ども達の道德科の充実と推進を図る基盤となる、特別支援教育の教育課程上の道德科の位置づけや役割について適切な理解を深め、授業づくりの方法や工夫、留意点など、子ども達の学びが確かなものになるよう、授業を適切に展開できる教員の資質・能力を養うことを目的に、広く全国の教育関係者と意見交流を行い、特別支援教育における道德の充実に貢献しようと考え、本大会を設定いたしました。

是非お誘い合わせの上ご参加ください。

**テーマ：**「特別支援教育における道德のあり方 ～その理解と授業づくりの実際～」

**期 日：**令和4年8月19日(金) 9:30～16:40 (Zoom 接続 9:15～)

**方 法：**Zoom によるリモート研修

**参加者：**180名(先着順) ※ 参加費無料

**主 催：**国立大学法人 上越教育大学 上廣道德教育アカデミー

**共 催：**公益財団法人上廣倫理財団

**後 援：**文部科学省, 新潟県教育委員会, 山口県教育委員会, 熊本県教育委員会,  
 長岡市教育委員会, 上越市教育委員会, 三条市教育委員会,  
 小千谷市教育委員会, 妙高市教育委員会

〈大会実行委員長〉早川 裕隆

上越教育大学上廣道德教育アカデミー 所長 上越教育大学大学院教授  
 TEL/FAX;025-521-3515 E-mail;hayakawa@juen.ac.jp

〈事務局・連絡先〉小宮 健

事務局長 上越教育大学上廣道德教育アカデミー 特任教授  
 住所 〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地  
 TEL/ FAX 共通;025-521-3305 E-mail;academy@juen.ac.jp  
 ホームページ [https:// www.juen.ac.jp/400academy/](https://www.juen.ac.jp/400academy/)

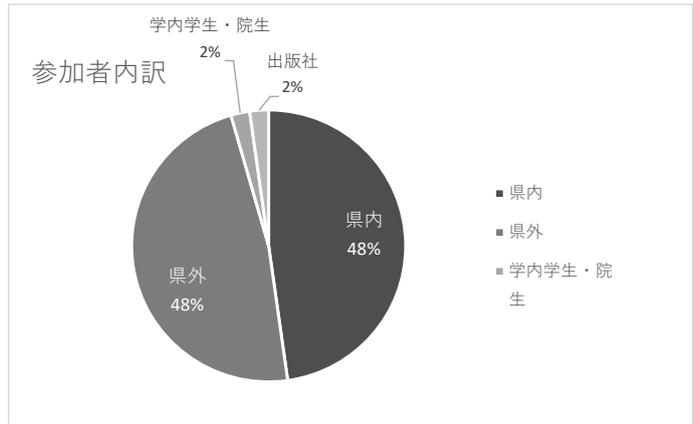
## Zoom によるリモート研修日程(敬称略)

9:15	<input type="checkbox"/>	●Zoom 接続
9:30	<input type="checkbox"/>	開会式・趣旨説明
9:35	<input type="checkbox"/>	●講演① 「特別支援教育の授業づくりにおける個別の指導計画の位置づけ」 藤井 和子（上越教育大学大学院 教授）
10:15		
10:15	<input type="checkbox"/>	●講演② 「特別支援教育における道徳科の在り方と授業づくり」 吉本 恒幸（聖徳大学 名誉教授）
11:50		
11:50	<input type="checkbox"/>	休 憩
12:45		
12:45	<input type="checkbox"/>	●講演・演習① 「特別支援学級における道徳科授業づくり ～子どもに合わせた授業づくりのポイント～」 笠井 善亮（千葉県流山市立東深井中学校 校長）
13:35		
13:35	<input type="checkbox"/>	●講演・演習② 「特別支援教育における道徳科の授業づくりの実際と支援の工夫」 日置 健児朗（熊本県立小国支援学校 教諭）
14:10		
14:10	<input type="checkbox"/>	休 憩
14:20		
14:20	<input type="checkbox"/>	●シンポジウム テーマ「特別支援教育における道徳授業の実際」 ○シンポジスト(発表順) ・上越市立大町小学校 教諭 岩崎 裕 ・三条市立大島小学校 校長 桑原 敦子, 教諭 川上 慶子, 教諭 片桐 治 ・山口市立小郡中学校 教諭 和田 剛志 ○コーディネーター ・吉本 恒幸（聖徳大学 名誉教授） ・中島 秀晴（上越教育大学 特任教授）
16:25		
16:25	<input type="checkbox"/>	閉会式・アンケート入力
16:40		●終了

令和4年度 上越教育大学上廣道德教育アカデミー研究大会～特別支援教育における道徳シンポジウム～ 参加者集計

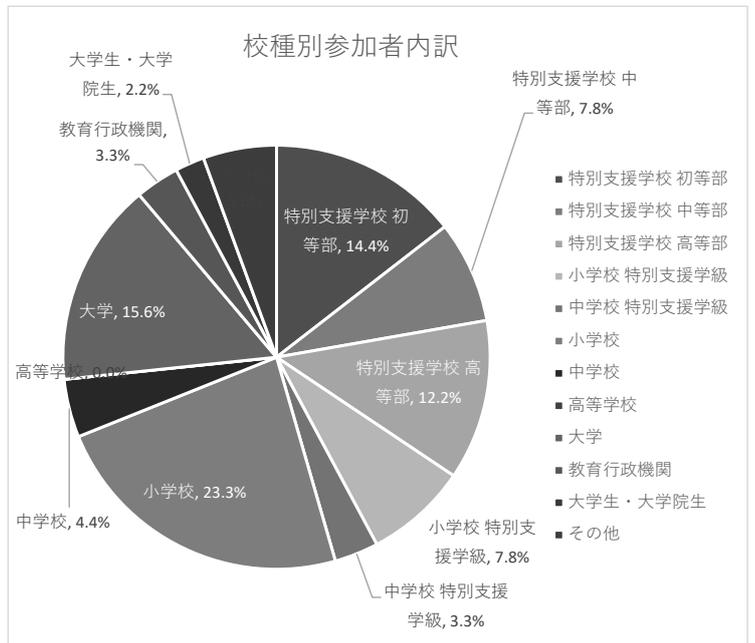
参加者内訳

所属区分	参加数	%
県内	43	47.8%
県外	43	47.8%
学内学生・院生	2	2.2%
出版社	2	2.2%
全参加数	90	100.0%



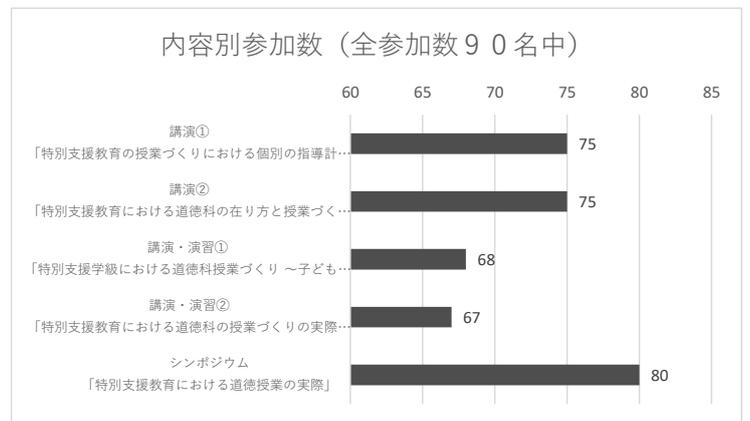
校種別参加者内訳

校種	参加数	%
特別支援学校 初等部	13	14.4%
特別支援学校 中等部	7	7.8%
特別支援学校 高等部	11	12.2%
小学校 特別支援学級	7	7.8%
中学校 特別支援学級	3	3.3%
小学校	21	23.3%
中学校	4	4.4%
高等学校	0	0.0%
大学	14	15.6%
教育行政機関	3	3.3%
大学生・大学院生	2	2.2%
その他	5	5.6%
合計	90	100.0%



内容別参加数(全参加数90名中)

内容	参加数	%
講演① 「特別支援教育の授業づくりにおける個別の指導計画の位置づけ」	75	83.3%
講演② 「特別支援教育における道徳科の在り方と授業づくり」	75	83.3%
講演・演習① 「特別支援学級における道徳科授業づくり～子どもに合わせた授業づくりのポイント～」	68	75.6%
講演・演習② 「特別支援教育における道徳科の授業づくりの実際と支援の工夫」	67	74.4%
シンポジウム 「特別支援教育における道徳授業の実際」	80	88.9%



## 令和4年度 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー道徳教育研究大会 アンケート結果（自由記述除く）

回答数 53（参加者数90名）

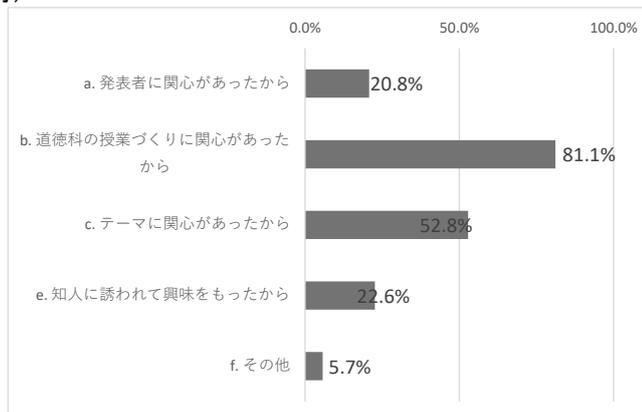
アンケート回収率 58.9%

Q1 本大会では何に参加されましたか。 ※別途参加者集計あり

Q2 本大会に参加された理由をお教えてください。（複数回答可）

回答番号	回答	%
a. 発表者に関心があったから	11	20.8%
b. 道徳科の授業づくりに関心があったから	43	81.1%
c. テーマに関心があったから	28	52.8%
e. 知人に誘われて興味をもったから	12	22.6%
f. その他	3	5.7%

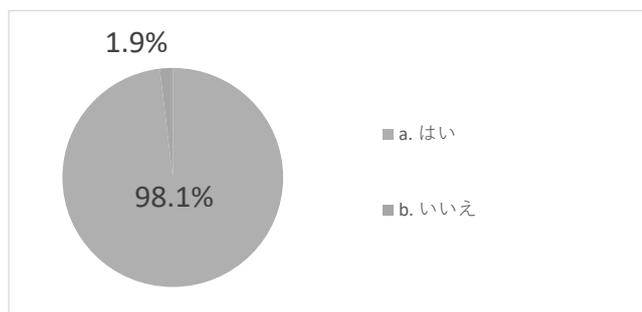
有効回答数（※無効回答0） 53



Q3 開催日については、適当でしたか。

回答番号	回答	%
a. はい	52	98.1%
b. いいえ	1	1.9%

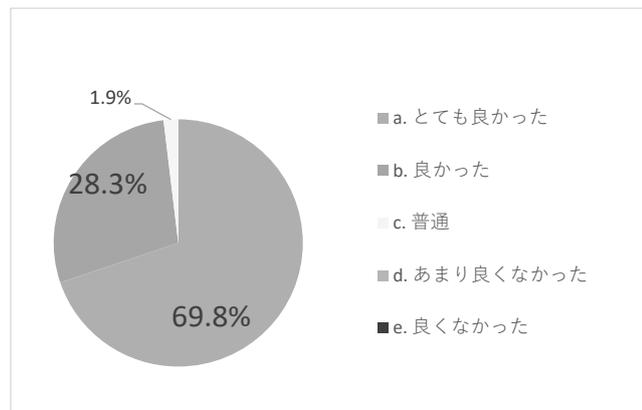
有効回答数（※無効回答0） 53 100.0%



Q3 本大会の内容はいかがでしたか。（一つ選択）

回答番号	回答	%
a. とても良かった	37	69.8%
b. 良かった	15	28.3%
c. 普通	1	1.9%
d. あまり良くなかった	0	0.0%
e. 良くなかった	0	0.0%

有効回答数（※無効回答0） 53 100.0%



#### ④ 協定を結んだ研修拠点校における研修事業（資料8～9）

##### ＜研修拠点校事業の概要＞

第Ⅱ期の新規事業として、道徳に関する地域の中核校として発信する力を持つ学校をつくっていくために、県内の各地域に研修拠点校を委嘱し、取り組みを始めた。初年度である令和3年度は、上越エリアの上越市立板倉中学校、上越市立稲田小学校、中越エリアの長岡市立栖吉中学校、下越エリアの新潟市立小針小学校の4校と研修拠点校(以下拠点校)としての覚書を結んだ。これらの学校には、派遣の回数に上限を設けず、年間を通じて重点的に研修を充実させるとともに、広報活動を通じて近隣の学校や教員に研修会への参加希望を募り、拠点校としての機能が発揮できるように進めてきた。研修の講師として客員講師の派遣も行ってきた。

##### ＜令和3年度の結果＞

令和3年度、上越市立板倉中学校では4回、上越市立稲田小学校2回、長岡市立栖吉中学校4回、新潟市立小針小学校2回の研修を実施した。概要は下記のとおりである。

##### ＜令和3年度 研修拠点校における道徳研修実施状況＞

	1回目	2回目	3回目	4回目
上越市立板倉中学校	5月17日(月) 校内公開授業、アカデミーによる模擬授業、講話	7月12日(月) 校内公開授業、協議会	10月18日(月) 校内公開授業、協議会	12月20日(月) 客員講師による示範授業、講話
上越市立稲田小学校	5月27日(木) アカデミーによる示範授業、講話	8月23日(月) 客員講師による模擬授業、講話(オンライン)		
長岡市立栖吉中学校	6月29日(火) 客員講師による模擬授業、講話(オンライン)	9月17日(金) 校内公開授業の指導案協議会、講話(栖吉小学校と合同)	11月11日(木) 校内公開授業、協議会、講話(栖吉小学校と合同)	1月11日(火) 客員講師による模擬授業、講話
新潟市立小針小学校	7月26日(月) アカデミーによる模擬授業、講話	1月28日(金) 市内公開授業、協議会、講話(オンライン)		

4校とも研修を重ねたことにより、道徳科授業についての理解(道徳科の本質、授業で大切にすべき点等)の深まり、道徳科授業をよりよいものにしていこうとする授業づくりへの意識の変化、道徳科授業づくりに関しての同僚からの相談に応じる意欲や自信の高まりが見られた。これらの道徳授業に対する意識の変容は、講師による模擬授業の体験、校内教員による授業の観察、授業後のシェアリングによる授業の分析考察、講師による授業の解説等、多様な学びの場を経たことによるものと想像される。研修を積み重ねることの重要性を示唆していると言える。

特に中学校には、お互いに授業について語り合える「新しい教科」が出来たことを喜び、プラスに感じている先生が多いことが明らかになりつつある。中学校では教科担任制のため、日常的に授業改善の問題について話し合う機会が少なかったが、この度の道徳の教科化によって、初めて「同じ教科を指導する教師集団」となった。これは小学校との決定的な違いである。授業についての情報交換や改善について議論するという教科が誕生した中学校の先生方の熱量が、拠点校事業によって感じられた。

ただし、コロナ禍にあって、公開授業に近隣校の先生方を招くことが難しく、拠点としての機能が十分に果たせない1年であった。オンラインでの研修も併用して多くの先生方への発信にも力を注ぐという課題が残された。

＜本年度の経過報告＞

本年度は、上越市立板倉中学校、長岡市立栖吉中学校の2校が継続して拠点校となり、新たに上越市立明治小学校、長岡市立栖吉小学校が加わり、前年度と同様に4校で拠点校事業を行った。現在までの実施状況は下記のとおりである。

＜令和4年度 研修拠点校における道徳研修実施状況＞

	1回目	2回目	3回目	4回目
上越市立板倉中学校 (継続：2年目)	5月15日(月) <u>客員講師による示範授業</u> と 講話	7月11日(月) <u>校内公開授業</u> 、協議会、客員 講師による講話	9月15日(木) <u>校内公開授業</u> 、協議会	
上越市立明治小学校 (1年目)	7月7日(木) アカデミーによる示範授業、 講話	7月29日(金) アカデミーによる模擬授業、 講話		
長岡市立栖吉中学校 (継続：2年目)	6月27日(月) <u>客員講師による示範授業</u> と 講話	9月20日(火) <u>客員講師による示範授業</u> と 講話	11月10日(木) <u>校内公開授業</u> 、協議会、客員 講師による講話	1月16日(月) 客員講師による講話、 協議会
長岡市立栖吉小学校 (1年目)	5月31日(火) <u>校内公開授業</u> 、協議会、客員 講師による講話	9月12日(月) <u>客員講師による示範授業</u> と 講話	11月24日(木) <u>校内公開授業</u> 、協議会、客員 講師による講話	

本年度は、研修の中心が客員講師による示範授業(計4回)、拠点校教員による授業公開(計5回)になり、動きのある研修となった。本年度もコロナの影響が強く、残念ながら近隣校からの参加者は延べ18名に留まったが、近隣校への呼びかけも積極的になりつつある。

まだ事業が進行中であるが、その中で、1回目：自身の公開授業→2回目：客員講師の示範授業の参観→3回目：同僚の授業参観 というステップで研修を進めている栖吉小学校のS教諭の道徳授業に対する意識は次のようなものであった。

- 1回目：道徳授業については恥ずかしながら全く勉強してきておらず、今回指導案を書きながら分からないことだらけだと気づかされた。授業を通して子どもたちがどのように変化し、道徳的価値を獲得していけばよいのか具体的な姿がイメージできて、ほんの少しだけだが分かったように思う。(自己評価 Av 2.6)
- 2回目：道徳授業は難しいと感じた。指導書通りにやるのが精一杯だがまずは指導書のねらいの意味を理解し、しっかりやっていくところから始めたい。(自己評価 Av 4.0)

毎回、研修終了後に、記述とともに、下記のような「道徳授業の構成要素(10項目)の理解度」を5段階で自己評価していただいている。S教諭の自己評価の数値は2回目に大幅に上昇した。自分

- A.道徳授業の意識と魅力、可能性がわかる B.授業のねらいをたてることの意味がわかる C.教材分析や教材の活かし方がわかる D.発問構成がわかる  
E.ねらいと関連した中心発問の工夫のしかたがわかる F.効果的な指導方法のしかたがわかる G.児童生徒との応答(発言の活かし方)がわかる H.授業形態の工夫がわかる  
I.自分自身の道徳授業づくりに関する希望や可能性を感じる J.自分自身の道徳授業づくりの課題がわかる

で初めて指導案を作成しての道徳授業に臨んだ結果、「分からないことだらけ」である自分に気づくことができた。しかし2回目に客員講師の授業をおそらく自分の授業と比べながら参観したことで「道徳授業は難しい」と感じつつも、課題も見えてきたのではないだろうか。自己評価数値の上昇はそういう理由であろう。前に進もうとしているS教諭の今後の研修結果が待たれるところである。

やはり回を重ねる研修に大きな意味がありそうである。拠点校の指導は昨年度以上に客員講師に任せる割合が増えている。自身で授業もでき、授業の分析・解釈が的確で説得力のある講話もできる力を備えた講師を派遣できていることが、拠点校教員のモチベーションになっているのではないだろうか。これらの学校が次年度も拠点校を継続し、道徳教育推進の拠点校モデルが実現できることが望まれる。



## 拠点校事業 追調査

拠点校事業に参加して頂いた現時点での印象についてご回答ください。

記入日 令和 年 月 日

**1** 道徳科授業についての理解に変化はありましたか？（それぞれあてはまる番号に○をつけて下さい。）

	とても理解 できている	まあ理解 できている	あまり理解 できていない	ほとんど 理解できていない
昨年度末	4	3	2	1
現在	4	3	2	1

(変化があった方に) そのように変化したのはなぜですか？

**2** 道徳科授業づくりに関する意識に変化はありましたか？（あてはまる番号に○をつけて下さい。）

	全く いやではない	それほど いやではない	少し いや	とても いや
昨年度末	4	3	2	1
現在	4	3	2	1

(変化があった方に) そのように変化したのはなぜですか？

**3** 道徳科授業づくりに関しての同僚などからの相談に応じる意欲や自信に変化はありましたか？

	全く いやではない	それほど いやではない	少し いや	とても いや
昨年度末	4	3	2	1
現在	4	3	2	1

(変化があった方に) そのように変化したのはなぜですか？

※ご協力頂き、ありがとうございました。

## 拠点校 印象比較調査の結果について

### 1. 分析結果

A1: 栖吉小    A2: 栖吉中    A3: 板倉中    A4: 明治小  
B1: 道徳授業についての理解の変化(「とても理解できている」4～「ほとんど理解できていない」1)  
B2: 道徳科授業に関する意識の変化(「まったくいやでない」4～「とてもいや」1)  
B3: 同僚の相談に応じる意欲や自信(「全く嫌でない」4～「とてもいや」1)  
C1: 昨年度  
C2: 現在

各学校の各設問に対する時期別印象度の得点について基本統計量を表1に示す。

有意性を示した一次の交互作用について単純主効果検定( $\alpha=0.15$ )を行った。その際、参加者内交互作用の参加者間効果の検定には水準別誤差項を用いた。

A(学校) x C(時期)の交互作用について平均のプロフィールを図1に示す。主効果検定の結果(表2参照), A x Cの単純主効果Aは, Cのいずれの水準においても有意でなかった( $F(3,52)=1.75$ )。

一方, A x Cの単純主効果Cは, 全ての学校において有意であった( $F(1,52)=50.74, p<.01$ )。したがって, 4校の学校差は無く、全ての学校で、事前の平均得点に比べて、事後の平均得点が有意に上昇していることが見出された。

次に, B(問い) x C(時期)の交互作用について平均のプロフィールを図2に示す。単純主効果検定の結果(表4参照), B x Cの単純主効果Bは, 事後において有意であった( $F(2,104)=6.96, p<.01$ )。

一方, B x Cの単純主効果C(表4)は, 全ての問いにおいて有意であり(問い1:  $F(1,52)=49.93$ , , 問い2:  $F(1,52)=21.25$ , 問い3:  $F(1,52)=8.55$  いずれも  $p<.01$ )。LSD法を用いた多重比較の結果(表5)、事後において問い1は問い2や問い3より有意に高かった( $Mse=0.2653, p<.05$ )。

従って、どの問いの内容に対しても有意な効果が認められたが、特に道徳授業についての理解に対する効果が顕著であったことがうかがえる。

【表 1】基本統計量

学校	問い	時期	人数	平均	標準偏差
1	1	事前	19	2.7368	0.4403
1	1	事後	19	3.0526	0.3939
1	2	事前	19	2.7895	0.8322
1	2	事後	19	3.1053	0.7178
1	3	事前	19	2.7368	0.7842
1	3	事後	19	2.8421	0.6699
2	1	事前	12	3.0000	0.4082
2	1	事後	12	3.6250	0.4621
2	2	事前	12	2.7500	0.7217
2	2	事後	12	3.0000	0.8165
2	3	事前	12	2.8333	0.9860
2	3	事後	12	3.0833	1.0375
3	1	事前	19	2.4737	0.5955
3	1	事後	19	3.1053	0.5520
3	2	事前	19	2.1053	0.9116
3	2	事後	19	2.8421	0.7443
3	3	事前	19	2.6316	0.8085
3	3	事後	19	2.8947	0.6403
4	1	事前	6	2.8333	0.3727
4	1	事後	6	3.3333	0.4714
4	2	事前	6	2.6667	0.4714
4	2	事後	6	2.8333	0.3727
4	3	事前	6	2.6667	0.4714
4	3	事後	6	2.8333	0.3727

N が不揃いです。

Unweighted-Mean ANOVA を行います。

Nh= 11.26 (調和平均) と仮定します。

【表 2】 分散分析の結果

A(4) = 学校

B(3) = 問い

C(2) = 時期

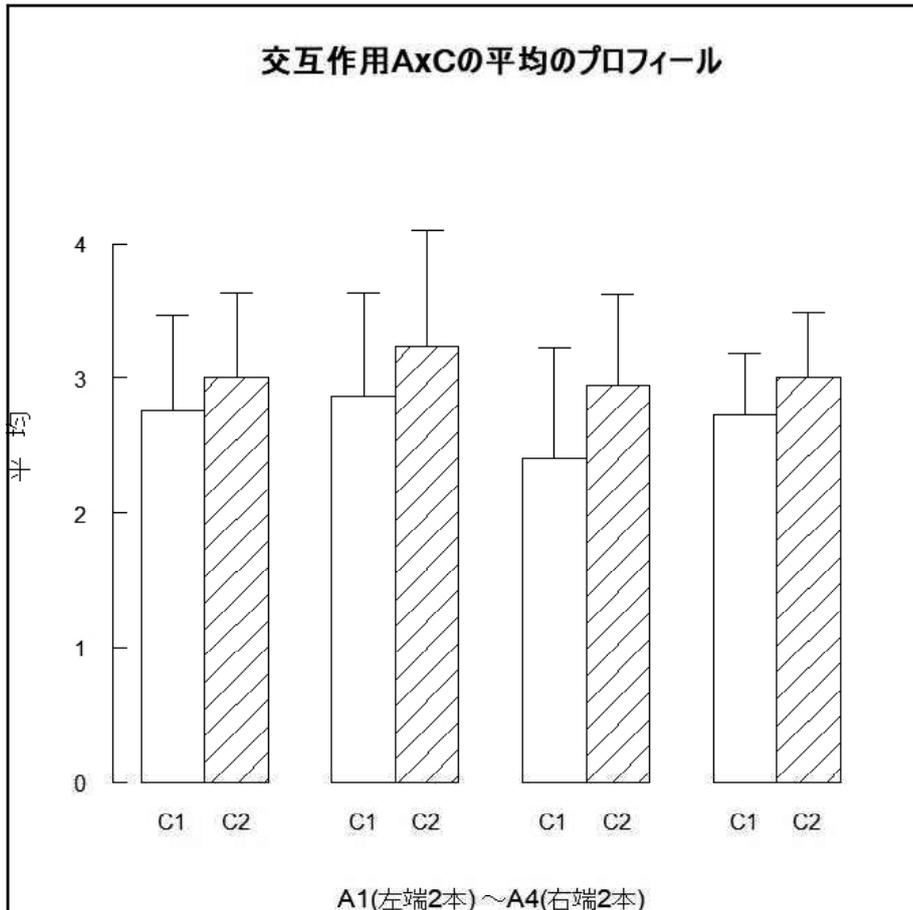
S.V	SS	df	MS	F
A	4.7160	3	1.5720	0.93 ns
subj	87.4490	52	1.6817	
B	3.3519	2	1.6760	3.33 *
AxB	2.4203	6	0.4034	0.80 ns
sxB	52.2796	104	0.5027	
C	8.7826	1	8.7826	50.74 **
AxC	0.9099	3	0.3033	1.75 ns
sxC	9.0002	52	0.1731	
BxC	1.1676	2	0.5838	6.07 **
AxBxC	0.6400	6	0.1067	1.11 ns
sxBxC	10.0091	104	0.0962	
Total	180.7263	335		+p<.10 *p<.05 **p<.01

【表 3】 項目×時期の交互作用について平均のプロフィール

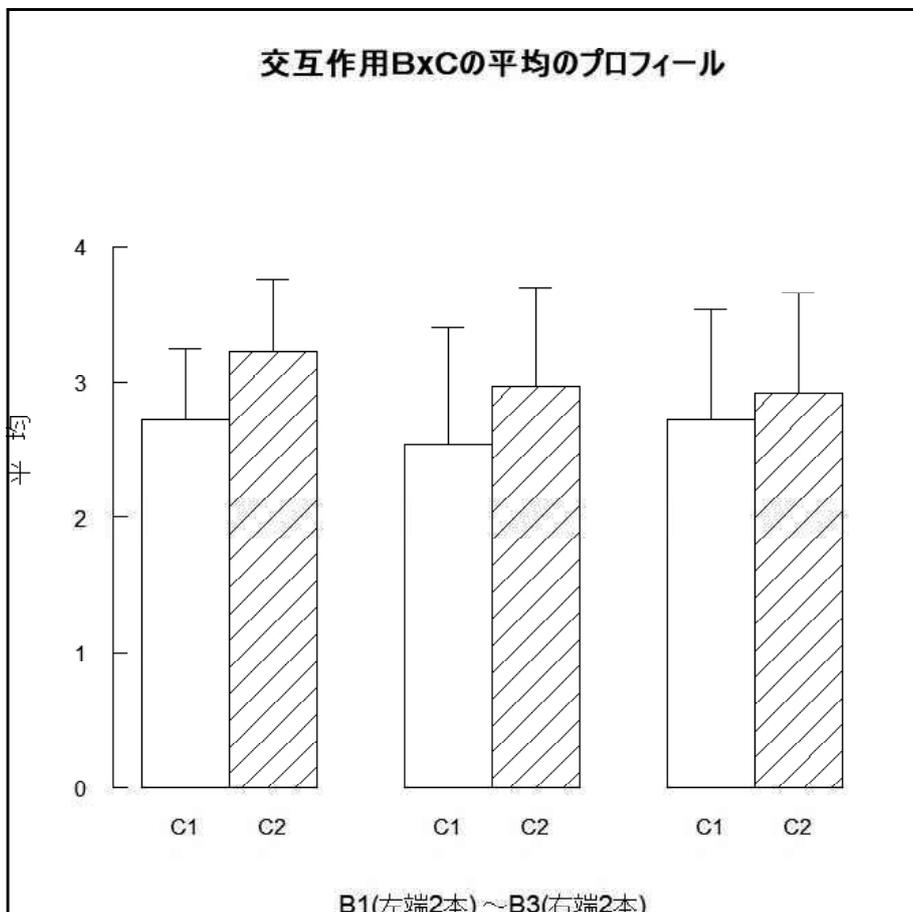
B(3) = 問い

C(2) = 時期

B	C	N	Mean
1	1	45.04	2.7610
1	2	45.04	3.2791
2	1	45.04	2.5779
2	2	45.04	2.9452
3	1	45.04	2.7171
3	2	45.04	2.9134



【図 1】



【図 2】

【表 4】 問い×時期の単純主効果検定の結果

S.V	SS	df	MS	F
B at C1:	0.8234	2	0.4117	1.23 ns
(sxB at C1:	34.6930	104	0.3336* )	
B at C2:	3.6962	2	1.8481	6.96 **
(sxB at C2:	27.5958	104	0.2653* )	
C at B1:	6.0444	1	6.0444	49.93 **
(sxC at B1:	6.2944	52	0.1210 )	
C at B2:	3.0384	1	3.0384	21.25 **
(sxC at B2:	7.4364	52	0.1430 )	
C at B3:	0.8675	1	0.8675	8.55 **
(sxC at B3:	5.2785	52	0.1015 )	

【表 5】 LSD 法を用いた事後における項目の多重比較の結果

== Multiple Comparisons by LSD ==

B at C2 Level

(MSe= 0.2653, \* p<.05)

(LSD= 0.2153)

B1 > B2 \*

B1 > B3 \*

B2 = B3 n.s.

【参考】 Holm 法を用いた事後における項目の多重比較の結果

== Multiple Comparisons by Holm ==

B at C2 Level

(MSe= 0.2653, \* p<.05)

B1 > B2 \* (alpha'= 0.0250)

B1 > B3 \* (alpha'= 0.0167)

B2 = B3 n.s. (alpha'= 0.0500)

## 2. 自由記述から

### 1) 道徳科授業についての理解

分析結果から、道徳科授業についての理解が有意に深まったことが示唆され、他の項目と比べて顕著であった。理解が深まった理由として次のような記述が見られた。

一つ目として、道徳科授業の構成要素（ねらいの立て方・発問のし方・発言の聴き方等）の方法や意義について理解を深めたと感じている記述が下記のように多く見られた。

- 教材分析、発問を考えるとときの根拠が明確になったから。
- 発問の仕方についてよく考えたから。
- 子どもの考えの引き出し方を学べたから。
- 用語の意味が分かるようになったから。
- 発問と対話で自分事として物事を捉えるという視点が理解できたから。
- 授業の視点が増えていったから。
- ねらいの立て方や発問構成、意見交流の工夫など、様々な知識を得ることができたから。
- 発問構成の仕方やねらいを明確に立てるなど、目標を達成するための具体的な手段を学ぶことができたから。
- 子ども一人一人の話の聞き取り方、役割演技の意味づけ、ワークシートの返却時の価値付け等、多くを学べたから。

二つ目として、道徳科の授業の意義、あり方、楽しさ等が分かってきたと感じている記述が下記のように見られた。特に、「教えるのではなく、子どもたち自身が自分なりの答えを見つけていく学習」「子どもたちの意見を大切にしていこう」という授業観を持つ先生が増えてきたことが本年度の大きな特徴である。

- 授業のあり方について理解が深まったから。
- 昨年度は初任で道徳の経験も少なく分かっていなかった所も多かったが、研修を受けて授業の大切さを再確認できた。
- 「教える」のではなく、子どもたちが自分たちで答えを見つけていく、という道徳の形を学んだから。
- 正解があるわけではなく、生徒が自分事として課題を捉えたり、よりよい考えを探すことが必要であると分かったから。正解がないからこそ、いろんな意見を大切に、深掘りしたいと思った。
- 道徳の楽しみ方に変化を感じた。自分が「こうしたい」ではなく、生徒との対話、生徒からの意見をより楽しもうと思うようになった。
- ともに考えていくことで考えを広げたり深めたりするのも道徳であり、発問構成がポイントであると分かり、少しやりやすくなった。

### 2) 道徳科授業づくりについての意識

道徳科授業をよりよいものにしていこうとする、授業づくりへの意識の変容も有意な効果が認められた。講師による示範授業を繰り返し参観し協議したこと、研修会の中で模擬授業を体験したこと等により、自身の授業を改善していく見通しが持てた先生方が、その理由を次頁のように記述した。

- 授業を見たり協議したりしたことで、自分にもできそうな技を見つけ、取り入れることができたから。
- 昨年度より教材をさらに理解しようと意欲を持つことができたから。
- 発問の仕方や資料の分析について学び、やってみたい、やれそうだと思うことがあったから。
- 必然性のある課題の設定、考えてみたくなる発問で導入をつくってほしいと思う。
- 時間がない中で、何をポイントにして授業づくりをしていけばよいのかが分かったから。
- 授業実践を見る中で、苦手意識やハードルが下がったから。
- 少しずつ作り方が分かるようになったから。発問の設定の仕方を相談しながら考えることができた。

さらに自身の授業実践の中で子どもの変容を実感し、指導方法への自信と意欲を高めた先生方が俄然増え、変化の理由として下記の記述が見られた。

- 問い返しについて以前よりも自信がつき、児童の学習の深まりも感じられるようになってきたから。
- 子どもたちの変容が見られるため、授業づくりにも意欲を感じるようになった。
- 道徳が面白くなってきているから。でも、教材研究の時間がもっとほしい。
- 授業前後の生徒の変化が期待できると実感できたから。
- 道徳について生徒と考えられる貴重な時間なので、授業づくりもよく考えていき、生徒たちの心の声を引き出していきたい。
- 生徒の考え方や意見を素直に聞き入れ、それに素直に対応して発問すれば良い。少し気が楽になった。
- 役割演技を少しずつ取り入れ、子どもたちの理解が深まるように授業づくりに取り組むことができた。
- なにより教材研究が大切であると感じた。教材を読んで、なぜ？どうして？を基に授業をつくれれば生徒に近い目線での授業展開や予想していなかった生徒の答えにも対応できると感じた。また、発問では3つの理解(人間・他者・価値)の問いを忘れずにしたいと思った。
- いろいろな展開の仕方、落としどころや盛り上がりなどが学べて、おもしろいと感じている。
- 道徳の授業づくりの楽しさ、魅力を感じたため。

### 3) 道徳科授業づくりに関しての同僚などからの相談に応じる意欲や自信

この内容についても分析結果から有意な効果が認められた。相談に応じる意欲や自信の理由の記述は次のとおりである。

- 少しだけ道徳が分かってきたから。
- 教えていただいた事や資料をもとに、道徳授業づくりに積極的に参加していきたい(学びたい)と思った。
- 研修を受け、やってみようと思ったので。
- 少しは相談に乗れるかも知れないが。
- 今年度、同僚の授業を見るが増え、研修で学んだことを伝えることができています。
- 初任なのでまだまだ勉強していきたい。生徒の気付きや思いを大切にしたい授業に失敗はない、というお言葉に勇気づけられた。
- 失敗が許されない→失敗はない または失敗を出発点とすればよい という発想の転換ができたから。
- 3年間の研修のおかげで少しは自信がついたのだと思う。
- 複数の教員で指導案づくりをすることで、教材に対する理解など多くのことを学べるため。
- 苦手意識が軽減したためだろうか。

これらの記述からは、同僚からの相談に応える自信というよりも、お互いに授業について語り合える「新しい教科」が出来たことを喜び、プラスに感じている先生が多いことが捉えられる。とりわけ中学校は教科担任制のため、日常的に授業改善の問題について学年内や学校全体で協議する機会が少なかった。しかし、道徳の教科化によって、初めて「同じ教科を指導する教師集団」となった。授業についての情報交換や改善について議論するという教科が誕生した中学校の先生方の熱量を本年度も感じた。

#### 4) 自由記述全体から

「1) 道徳科授業の理解」について、理解が深まった理由の記述の中で特筆されるのは、「教えるのではない」「答えは子どもが見つけていくのだ」ということに気づいた先生が何名もいたという点である。

既存の教科学習の中に必ずある「到達目標」がない。その代わりとなる、道徳科の特質である「(道徳的な価値理解を基にした) 内面的資質としての道徳性を養う」という目標の達成には、子どもの主体性が不可欠であることを先生方は時間をかけながら分かり始めてきた。

そして、「2) 道徳科の授業づくりへの意識」では、子どもが変容する姿を自身の授業の中で捉え、道徳授業の面白さ・楽しさを実感する先生が続々と出てきたことが記述からうかがえ、「継続」が力となり、そして正に「主体的・対話的な学び」を拠点校の先生方が体現してくださっている。

次年度、長岡市立栖吉中学校は拠点校3年目、同じく栖吉小学校は2年目を引き受けていただけることになった。引き続き学校の要請に応じながら、先生方の道徳科授業への意識についても継続して追いかけていきたい。

## ⑤特別支援教育における道徳授業モデルの作成・構築事業（資料6及び資料11）

令和3年度より、特別支援教育における道徳授業のモデルを作成し、特別支援における道徳授業の推進に貢献することを目的とし、県内外に「研究協力校」を依頼して進めてきた事業である。次の手順で進めてきた。

- ① 特別支援学校、知的特別支援学級における道徳授業のモデルを作成し、研究協力校での実践を通してその効果を検証しながら、授業モデルの蓄積を行う。
- ② それらの授業公開、授業参観等の企画・運営を行う。
- ③ 研究協力校を中心に、情報交換を目的としたネットワークを構築し、オンライン等の利用も図りながら情報交換や研究発表を行う。（本年度8月に開催した研究大会もその一環である）

なお、本事業の2年間の成果として、ホームページ「特別支援教育における道徳科授業づくり」を開設し、資料6のシンポジウムの内容、及び実践事例を公開し、広く提供している。

URL : <https://www.uehiro-tokugaku.com/>



<特別支援教育における道徳科授業づくりウェブサイトトップページ>

# 特別支援教育における 道徳科授業づくり

## 道徳科の授業づくりにお悩みの先生方へ

教科化された「特別の教科 道徳」（道徳科）は、特別支援教育の分野においてもその適切な実施がもたられています。しかし、特別支援教育の分野での道徳科授業はまだ実践や研究の蓄積が十分ではなく、道徳科の授業をどのように進めたら良いのか、お困りの学校や先生方も少なくないのではないでしょうか。

上原道徳教育アカデミーでは、令和3年度、4年度の2年間、特に知的障害を伴う子ども達の道徳科の充実と推進を図る基盤となる、特別支援教育の教育課程上の道徳科の位置付けや役割について適切な理解を求め、特別支援教育での道徳科授業づくりの方法や工夫、留意点などを研修、実践の蓄積を行ってきました。その一部を皆様にご提供いたします。



### ご協力いただいた皆さん

#### R3年度メンバー

協力者／協力校名（当時）

#### R4年度メンバー

協力者／協力校名（当時）

## 特別支援教育における道徳授業モデルの作成・構築事業

## 1. 研修会

(1) 令和4年6月10日(金) 15:20～16:50 (Zoomによるオンライン研修)

## 【内容】

- ①講 師 上廣道徳教育アカデミー所長  
／上越教育大学大学院教授 早川 裕隆
- ②演 題 特別研修 道徳科の理解を深める  
～モデルとしての「道徳授業」をつくる上でのベースとして～

## 2. 令和4年度「特別支援教育における道徳授業モデルの作成・構築事業」協力校リスト

			学校名
特別支援学校	個人(1年間)	1	熊本県立小国支援学校
特別支援学校	学校	2	小千谷市立総合支援学校
特別支援学級	個人(1年間)	3	山口市立小郡中学校
特別支援学級	学校(学級)	4	妙高市立新井小学校
特別支援学級	学校(学級)	5	三条市立大島小学校
特別支援学級	学校	6	千葉県 流山市立東深井中学校
特別支援学級	個人	7	千葉県 流山市立おおたかの森中学校



# 令和5年度事業計画

## 目次

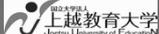
令和5年度上廣道德教育アカデミー事業計画（概要）	85
・令和5年度事業計画（案）	88



上越教育大学上廣道德教育アカデミー  
令和5年度 事業計画(概要)



上越教育大学  
上廣道德教育アカデミー  
所長 早川 裕隆



上越教育大学  
上廣道德教育アカデミー

第Ⅰ期

平成30年(2018年)4月1日 ~  
令和3年(2021年)3月31日

第Ⅱ期

令和3年(2021年)4月1日 ~  
令和5年(2023年)3月31日



我々上廣道德教育アカデミーは、

これまでの歩みを止めずに、  
引き続き進化し続けたい！



第Ⅲ期の事業計画

○令和5年4月1日 ~ 令和11年3月31日の6年間

## 第Ⅲ期の事業計画案

### 1. 継続事業

- 研修会への無償による講師派遣事業
  - 拠点校における研修事業への講師派遣
  - 研修講座の開設・実施
- 免許状更新講習に代わる研修講座  
→これまでの研究大会の発展として検討も  
※教育委員会や教育センターとの連携・協働の可能性

## 第Ⅲ期の事業計画案

### 2. 新規事業

- 教育委員会との人事交流事業  
→上廣道徳教育アカデミー特任准教授
  - ・新潟県教育委員会…1名／3年間
  - ・新潟市教育委員会…1名／3年間

免許状更新講習に代わる道徳教育に関する研修講座の企画・運営と、講師としての資質・能力の育成

## そのコンセプトとして

免許状更新講習が発展的解消となっており、今まで「選択必修」であった道徳教育に関する研修の開催が主に教育委員会や教育センターの主催で行われることが期待されることである。  
しかし、他の講座の開催、とりわけ、ICTの利用に関する講座に押されて、道徳教育に関する研修会が十分に行われなくなることが危惧される。

道徳科や道徳教育の充実・推進のための研修に関する適切な講座運営ができる人材の育成は喫緊の課題

**その養成のシステムの構築を推進することが必須！**



# 上越教育大学 上廣道德教育アカデミー 令和5年度 事業計画（案）

## 【第Ⅲ期事業のコンセプト】

平成30年4月1日、公益財団法人上廣倫理財団からの寄附により創設された本学初めての寄附研究部門「上越教育大学上廣道德教育アカデミー」は、これまで第Ⅰ期（平成30年4月1日～令和3年3月31日の3年間）において、その柱である「研修会への無償による講師派遣事業」では、途中新型コロナの影響を受けたものの、3年間で延べ267回、参加人数は延べ6,964名の利用が、また、複数回の研修講座の開設、実施の他、研究大会を2回、延べ283名の参加をいただいた。さらに、第Ⅱ期（令和3年4月1日～令和5年3月31日の2年間）においては、昨年度1年間だけで、派遣回数延べ72回、1,445名の参加をいただいた他、昨年度のオンラインによる研究大会では115名の参加を、今年度の「特別支援教育における道德シンポジウム」には、90名の参加をいただいた。この他に、新規事業授業として、本アカデミーが委嘱した学校に講師を派遣する複数回の研修会を、広く他校に開放しながら、地域の中核校としての役割の能力を育成する「拠点校への派遣事業」と、「特別支援教育における道德授業のモデル作成事業」に取り組むとともに、これまで実施していた複数回の研修講座には、今年度から新たに新設した中堅実力教員による「研究員」を講師としてオンライン講座を開催し、毎回好評を得ているところである。

さて、免許状更新講習が発展的解消となつて、今まで「選択必修」であった道德教育に関する研修の開催が主に教育委員会や教育センターの主催で行われることが期待されることである。しかし、その講座を担当できる能力をもった人材の育成は、これまで十分に行われてこなかった現状が見られ、他の講座の開催、とりわけ、ICTの利用に関する講座に押されて、道德教育に関する研修会が十分に行われなくなることが危惧される。そのため、適切な講座運営ができる人材の育成は喫緊の課題であり、その養成のシステムの構築を推進しなければ、その充実は見込めない。その意味では、この先、道德が教科化されて以降最大の危機的状況となるといっても、過言ではあるまい。

そこで、教育委員会と連携し、本アカデミーが道德教育に関する研修講座を適正に開催し、運営できる人材を育成し、そのプログラムを構築することは、今後、全国における道德教育に関する人材育成のモデルになる意義深い内容であると考え、これまでの取り組みの柱に加えた中心的内容に位置づけた事業計画（案）を作成した次第である。

## 1. 令和5年度 活動目標

- ①新潟県上越地区や新潟県内の義務教育諸学校並びに高等学校、及び教育委員会、教育センター、道德教育の充実に関する研究団体等、及び、隣接した県の義務教育諸学校並びに高等学校、及び教育委員会、教育センター、道德教育の充実に関する研究団体における道德教育やその要としての「特別の教科 道德」(道德科)の推進・充実に関する研修の場において、研修カリキュラムを展開する。(第Ⅰ期からの継続事業)
- ②本アカデミーと協定を結んだ拠点校における研修事業を重点的に展開し、広く近隣諸学校への情報や研修の発進拠点とする。(第Ⅱ期からの継続事業) … 2～4校を指定(研究協力委託)
- ③上越教育大学と協働しながら、教員や教員を目指す大学院生、学生を対象とした研修会を開催する。(第Ⅰ期からの継続事業) … (⑥の県外研究員の活用)
- ④教育委員会との人事交流事業…特任准教授による道德教育推進指導者養成事業(仮称) …新規事業
- ⑤教育委員会との連携による、免許状更新講習に換わる道德教育に関する研修講座の企画・運営と、講師としての派遣による特任准教授の能力の育成…新規事業
- ⑥県外研究員制度…令和4年度からの継続(県内研究員制度は一旦休止とする)

## 2. 令和5年度 活動内容

### 【研修・人材育成機能として(出張派遣事業中心)】

- (1) 各種研修会の運営

①教育委員会、教委センター、各学校、各種研究団体主催の研修会に本アカデミーの職員を講師として無償にて派遣する。

・新潟県内（拠点校を含めず）：派遣回数の上限を、延べ 80 ～ 90 回程度とする。うち、特任特任教授を 40 ～ 45 回程度 准教授 20 回程度×2 人とする。

（ただし、特任准教授の特任教授、所長などとの帯同はこの回数に含まない）

・県外派遣：延べ3回程度…富山県2，長野県1

※特任准教授については、およそ2ヶ月～3ヶ月は研修とし、兼務教員や特任教授が講師の研修会に帯同したり、大学院での道德教育に関する授業や学会の研究大会に参加することを優先する（学会の大会参加については、努力義務とする）。

従って、新たに採用される特任教授の講師派遣は、原則として早くても4月下旬頃から開始し、特任准教授の単独での派遣は、原則として6月頃から開始を目指す。

※免許更新講習の発展を意識し、県、市レベルの研修会を重視する。…教育センター等との、企画段階からの協働並びに、教育委員会による悉皆等参加の促進の工夫を図る。

※客員講師の利用は、拠点校への派遣も含めて、総計6～8回程度とする。

(2) 拠点校への派遣事業

・小中学校で計2校～4校程度を拠点校として研究協力の委託をことを原則とする。

・各拠点校に、4回程度（うち1回は、客員講師の派遣を検討）講師を派遣した研修会を行う。…できるだけ研修内容については、企画段階から協働する。

・拠点校での研修会の際には、周辺の学校を中心に、教員の参加を募る。

※教育委員会の授業力ブラッシュアップ研修事業（道德教育推進事業）との協力・連携も視野に入れる。

(3) 研修会の企画・運営

①上越教育大学学校教育実践センター主催の「水曜講座」にオンライン講座を開設し、道德教育の理解や道德科の授業力向上等に関する研修会を開催する（年間4回～5回程度…「研究員」の活用を図る）。将来的には、特任准教授による企画・運営を目指す。

②授業に関する相談を随時受け付ける。

③これまでの研究大会（シンポジウム）に代わり、教育委員会との共催あるいは後援による、免許状更新講習に換わる研修講座（全日）を開催し、道德教育に関する参加者の「研修ポートフォリオ」に位置づけられる研修会とするよう、教育委員会と協議しながら進めていく。

→始めは本学を会場とすることを原則とし、将来的には、県内の研修センターでの開催も視野に入れる。

(4) 所長を通しての、道德に関する大学（大学院）の科目の授業補助

・ゲストティーチャーとしての参加を原則とする。

・早川研究室等のゼミ、学校支援プロジェクトへのゲスト参加、協力など。

【研究機能として】

(1) 研修カリキュラムに関する研究（第I期の継続）

(2) 特任准教授を、道德教育の企画・運営ができる人材として育成する（新規事業）

(3) 構成員の個人研究

・学会や研究会等への積極的な参加を推進し、情報収集や情報交換の充実を図る。…原則的に各自に配分される研究費を活用する。（ただし、旅費・宿泊費で年10万を超える学会の参加の場合については、運営費からの一部または全額の負担を、その都度検討する。）

・各構成員の個人研究を推進するとともに、その成果を、上述の研修・人材育成機能に生かしていく。（アカデミー事業に関する発表の際の旅費・宿泊費は、運営費より支出する。）

(4) その他

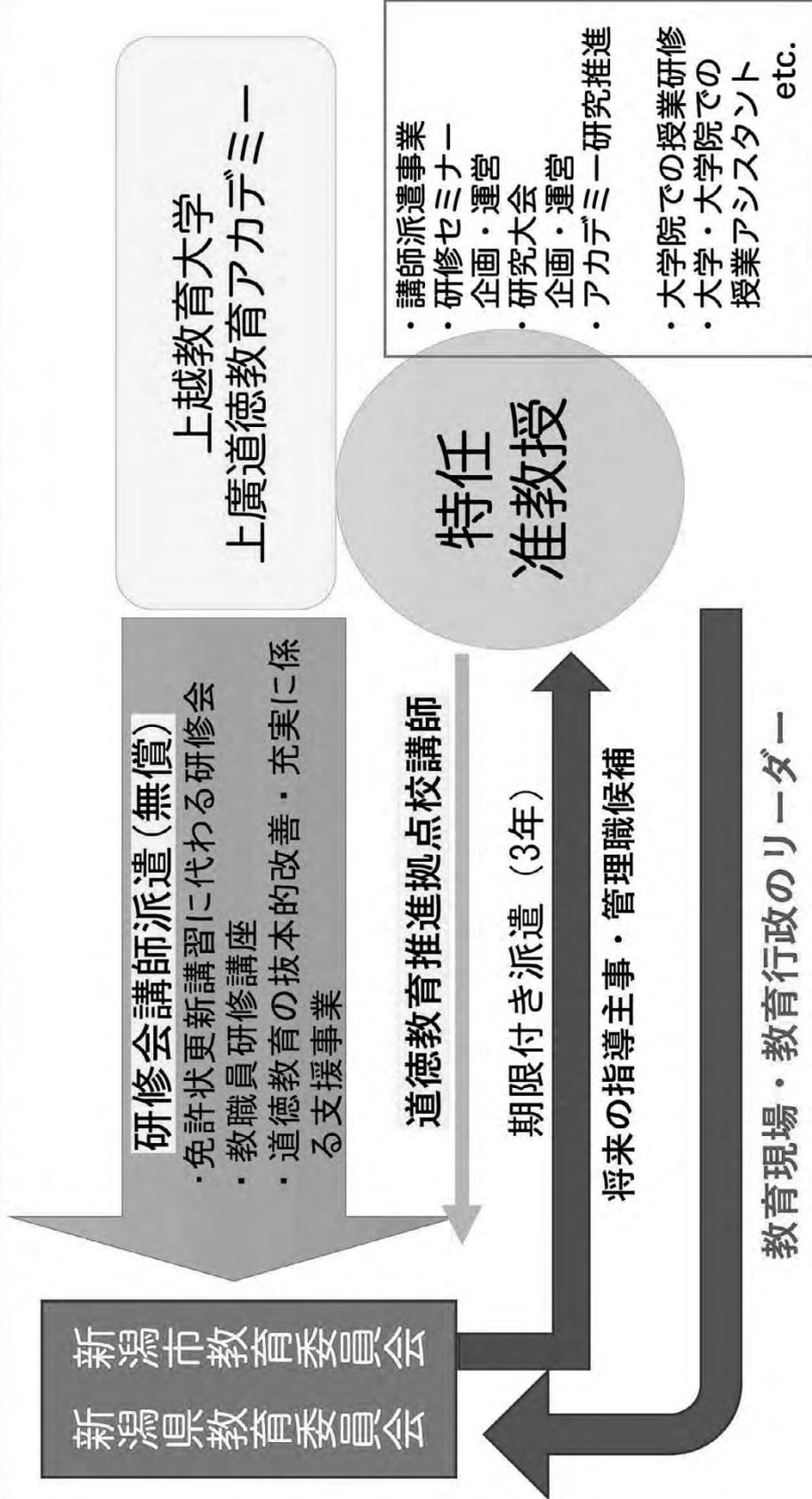
・報告書の作成

(5) 諮問委員会による外部評価とそれに基づく改善

上越教育大学上廣道德教育アカデミー

## 第Ⅲ期 教育委員会との連携・協定事業(案)

教育委員会と連携し、免許状更新講習に代わる研修の企画・運営や道德教育推進リーダー教師(仮称)等の育成を担える人材の養成と、そのための制度を構築する。



# 資料編

## 目次

### 資料 1

第Ⅱ期上越教育大学上廣道德教育アカデミー実施委員会名簿	93
-----------------------------	----

### 資料 2

第Ⅱ期上越教育大学上廣道德教育アカデミー実施委員会開催状況	94
-------------------------------	----

### 資料 3- 1

令和 3 年度派遣事業アンケート結果	95
--------------------	----

### 資料 3- 2

令和 4 年度派遣事業アンケート結果	99
--------------------	----

### 資料 4- 1

令和 3 年度研究大会講師資料	104
-----------------	-----

### 資料 4- 2

令和 4 年度研究大会講師資料について	137
---------------------	-----

### 資料 5

論文 上越教育大学 教育実践研究 第33集 (2023)	138
------------------------------	-----

上越市立大町小学校 教諭 岩崎 裕

「知的障害特別支援学級における道德科の授業の在り方

—特別支援学級における道德科の工夫と、自立活動を関連させたユニットの提案—」



## 資料1 第Ⅱ期 上越教育大学上廣道德教育アカデミー実施委員会名簿

### 上越教育大学上廣道德教育アカデミー運営委員会名簿

氏名	上廣道德教育アカデミー職名	委員役職名	備考
林 泰成	統括監督者	委員	
早川 裕隆	所長	委員長	
小宮 健	特任教授	副委員長	
田村 博久	特任教授	委員	R3年度
岩城 淑樹	研修支援コーディネーター	委員	

### 上越教育大学上廣道德教育アカデミー運営諮問委員会名簿

氏名	所属又は職名	委員役職名	備考
林 泰成	上越教育大学学長／上廣道德教育アカデミー統括監督者	委員	
水落 芳明	上越教育大学副学長	委員	R3年度～
田沼 茂紀	國學院大學教授	学外委員	
小林 福太郎	東京女子体育大学教授	学外委員	
藤本 高雄	新潟県教育庁上越教育事務所長	学外委員	R4年度～
阿部 勉	新潟県教育庁上越教育事務所長	学外委員	R3年度
横堀 真弓	新潟県立教育センター所長	学外委員	R4年度～
矢川 京	新潟県立教育センター所長	学外委員	R3年度
丸山 明生	新潟市教育委員会学校支援課長	学外委員	R4年度～
山田 哲哉	新潟市教育委員会学校支援課長	学外委員	R3年度
牧井 創	上越市教育委員会学校教育課長	学外委員	R4年度～
野田 晃	上越市教育委員会学校教育課長	学外委員	R3年度

## 資料2 第Ⅱ期 上越教育大学上廣道德教育アカデミー実施委員会 開催状況

### 令和3年度

- ・ 4/12 (月) 第1回 上廣道德教育アカデミー運営委員会
- ・ 5/20 (木) 第2回 上廣道德教育アカデミー運営委員会
- ・ 7/15 (木) 第3回 上廣道德教育アカデミー運営委員会
- ・ 9/13 (月) 第4回 上廣道德教育アカデミー運営委員会
- ・ 12/ 3 (金) 第5回 上廣道德教育アカデミー運営委員会
- ・ 12/21 (火) 令和3年度 上越教育大学上廣道德教育アカデミー運営諮問委員会
- ・ 3/14 (月) 第6回 上廣道德教育アカデミー運営委員会

### 令和4年度

- ・ 4/19 (火) 第1回 上廣道德教育アカデミー運営委員会
- ・ 12/ 5 (月) 第2回 上廣道德教育アカデミー運営委員会
- ・ 12/23 (金) 令和4年度 上越教育大学上廣道德教育アカデミー運営諮問委員会
- ・ 3/ 9 (木) 第3回 上廣道德教育アカデミー運営委員会
- ・ 3/23 (木) 第4回 上廣道德教育アカデミー運営委員会

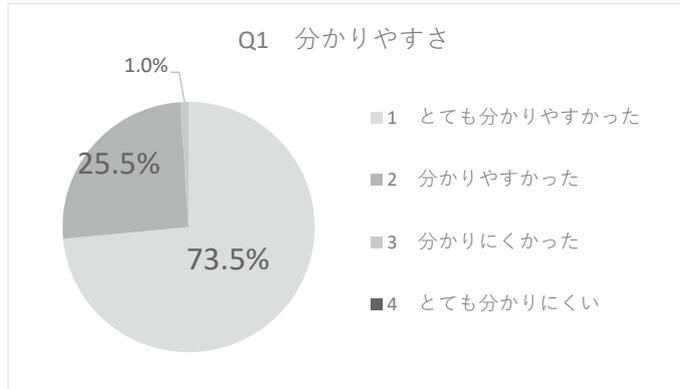
資料3-1 令和3年度 派遣事業アンケート結果

回答数 581

Q1 研修内容は分かりやすかったですか(分かりやすさ)

回答番号	回答	%
1 とても分かりやすかった	427	73.5%
2 分かりやすかった	148	25.5%
3 分かりにくかった	6	1.0%
4 とても分かりにくい	0	0.0%

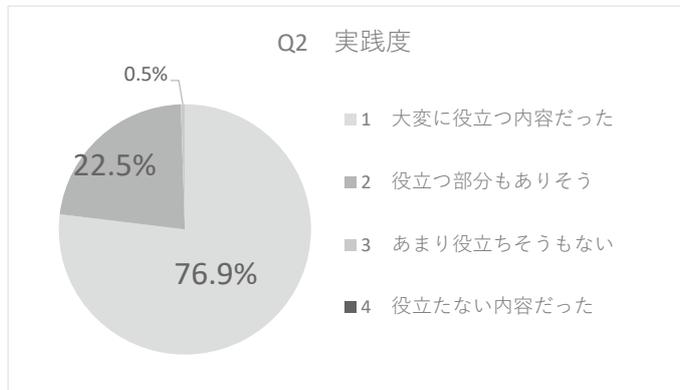
有効回答数 (※無効回答0) 581 100.0%



Q2 貴校の今後の実践に役立つ内容でしたか(実践度)

回答番号	回答	%
1 大変に役立つ内容だった	447	76.9%
2 役立つ部分もありそう	131	22.5%
3 あまり役立ちそうもない	3	0.5%
4 役立つ内容ではない	0	0.0%

有効回答数 (※無効回答0) 581 100.0%



Q3 本日の研修内容で、良かったものは何ですか。(すべての記述より抜粋・その他は研修団体等)

Q3 自由記述	校種別
肩の力を抜いて話を聞き、道徳の楽しさを確認できたこと	中学校
子供達が考える場面が多い授業。自分の今まで生きて考えてきたことを総動員させて考えていたことが、印象的でした。	小学校
小学校教員のグループで、発問を決めるときなど、児童の思考を刺激するためのアプローチや、先生方個人個人の本音ツッコミがシェアできて楽しかった。これこそ教材研究ですね。「赤鬼と青鬼、友達になるならどっち?」「優しいウソはついてよいか?」各グループの発表では語り尽くせない楽しい時間でした。	小学校
同じ教材、主題でも小学校と中学校でねらいとすることが少し異なることを改めて勉強することができました。小中連携校として、今度の指導に生かしていきたいと思えます。	中学校
ロールプレイの具体的な方法と子どもの心が揺さぶられる道徳、特別支援の子どもたちも力がつく道徳	小学校
小学校での実践を参観させて頂き、中学生への指導とは違う中で児童への発言を促す言葉がけや聞き出し方はとても参考になりました。温かい言葉選びから児童の気持ちを中心に展開していく様子は参観してる側からも児童の気持ちの変化を実感することができました。	中学校
5年生児童との授業、参加型の演習、講師の思いと児童の頑張り、心があつくなり、涙した職員が多かったです。	小学校
午後の演習です。今まで避けてきた役割演技を取り入れてみたいと強く感じました。	中学校

Q3 自由記述	校種別
本日の授業に関連したご指導です。発問について研推でも悩みましたが、主語を統一することで子どもの思考もすっきりすることや、振り返りの書かせ方（授業で一番感じたことを書かせる）等、大変参考になりました。ありがとうございました。	小学校
子どもどうしをつなぎながら、考えることや発言させることを大事にしなければいけないことを、改めて感じた	中学校
道徳の授業は価値項目を正しく伝える必要があると思って、堅く考えている部分があったが、今日の講演を聞いて、子供の考えをよく聴くことで、子供から教わる姿勢でいけばよいということ聞き、少し気が楽になって、今後楽しめそうな気になりました。	小学校
「貝がら」を用いた授業の計画と模擬授業の実践。自分で考えた後に講師の先生からの提案がきちんと得られるところ。	中学校
「ぐみの木と小鳥」の考察。低学年は生き方のロールモデルを表すことが多い(憧れを抱かせる)というようなことお聞きできたこと。	小学校
道徳の授業を作成する上で、いかに児童の日常生活に落とし込むかが課題でした。本研修を受け、「思考をゆさぶる、批判的吟味を試みる」という言葉を聞き、担任している児童の姿をイメージしながら、授業が終わっても考え続けられる 課題を考えていきたいと思います。	小学校
3年生の授業で、子どもたちの言葉をひとつももらさずにひろっていたのが、すごいなと思いました。全部授業の内容につなげていたのもすごいなと思いました。模擬授業を受けて、すぐく発表したいと思いました。先生が否定せずに聞いてくれて、要約してくれるからだと思いました。私は養護教諭で授業をすることはあまりないですが、そんな教員になりたいと思いました。	小学校
今回の研修で、ロールプレイを入れることの意義を再確認しました。また、道徳のまとめとして自分の生活に置き換えて考えさせることが必要だと考えていましたが、教材文にどっぷりとつかっているのだから、その教材文の内容でまとめてもよいことが分かりました。これからの道徳の授業に活かしていきたいです。本日はありがとうございました。	小学校
日頃の道徳授業に迷いや改善したい思いがありました。迫りたい価値に無理矢理もっていくのではなく、「その子にとってのまとめができるように」「そういう生き方もあるんだなあ」と感じられるように授業づくりをしていこうと勇気をいただきました。模擬授業をしていただき、発言はできませんでしたが、自分自身でじっくり考え、他の方の考えから新たな視点をいただいたことで授業のイメージがわいてきました。	小学校
はしのうえのおおかみの読み物の、主題名を考えたり、中心発問を考えたりする実践が、面白かったです。自分が道徳の授業を計画する際に、ここまで考えたことがなかったので、これをする、ねらいがはっきりすると感じました。	特別支援学校
おもしろくて、やさしい雰囲気、意見が出しやすかった。「赤鬼はそのあと、どうしたか」を発問されたのが、考えやすかった。赤鬼がお礼を言う、謝る、一緒に遊ぶ、青鬼の良さを村人にわかってもらおうとか・・・。いろんな考えが出しやすかった。	小学校
ねらい、中心発問、主題名をセットで考えることを例を用いながら聞けたのは大変勉強になりました。	小学校
教科書を教えるから教科書で考えるという道徳にしていくことが大事だと学ぶことができました。	小学校
教師の問いかけや追質問等によって、同じ教材でも何倍も考えを深めることができるのだとわかりました。この教材で何を考えさせたいのかを教師が事前に読み込んでおくことで、限られた時間の中で学級全員がそれぞれ考えを深めることができるのだと改めて学ぶことができました。先生が生徒の意見を一つ一つ丁寧に聞き、褒めて広げてくださっていたことで、子ども達が安心して発言できていました。実際の授業の様子を見させていただいたことで、授業の雰囲気や教員側の問いかけ等を実感として学ぶことができ、とても勉強になりました。	中学校
学ぶ集団のお話で循環モデルが興味深く思いました。学級づくりと道徳の学びがリンクしているというお話がその通りだと思いました。さらに詳しく知りたいです。	中学校
命についての模擬授業で生徒の立場で考えられたこと、揺さぶりの発問で道徳の良さを感じられたこと。	中学校
役割演技について、じっくりと話し合いをさせてから行う理由がよく分かりました。実際に子どもたちが悩みながら反応しているのを見て、事前の話し合いの大切さを感じました。	小学校
理解が深まるということを体験的に学ぶことができました。道徳科での評価を具体的にどうすればよいか理解できた。補助教材を使用するときの配慮事項がわかった。	小学校
zoomを用いても、役割演技ができることが分かってよかったです。	小学校

Q3 自由記述	校種別
過去の道徳研修では、実際の教材についてここまで深掘りしたことがなく、全体を通してとてもイメージしやすかった	中学校
起承転結で話を捉えてから発問をつくることや中心発問への持っていきかたなどとても勉強になりました。また、先生の切り返しの質問が深く考えるきっかけになる質問ばかりで、私も授業でそういった切り返しができるように教材を吟味していきたいと思いました。	中学校

**Q4 本日の研修内容を、今後の道徳教育または道徳科授業の充実にどのように役立てたいですか。**（すべての記述より抜粋・その他は研修団体等）

Q4 自由記述	校種別
分かっていたつもりのもので改めて分かる 考え続ける道徳となるよう日々の授業を充実させていきたい。ありがとうございました。	小学校
授業をする際は、教材研究の段階で一番考えさせたいことは何かという視点で発問を決めたいと思います。また、他の職員にも研修会のことを伝えていきたいです。	小学校
小学校と中学校の協力が大切だなと感じたのでまずは自分がたちが道徳心を持って子どもの前に立ち、お手本になれるように日頃から頑張りたいと思いました。	その他
どういうことを発問にしていくのかで、考えさせたいことへも近づくので教材研究は大切であると共に、日頃からの道徳的指導がすごく大切になるんだと感じました。また、挿絵の使い方もただ順番に使うだけでなく、効果的に考えさせるためにどの挿絵を使えばいいのかも教材研究でしっかり準備しなければならないことを学びました。子どもに範を示すことを忘れずに日々の指導を行っていききたいと思います。	小学校
何と言っても発問の吟味。いくつか候補を並べて比較するのは新鮮だった。問い返し。深掘り。「モヤモヤしてるのは思考しているから」「簡単に変わるわけじゃない」は気が楽になった。	小学校
今までは指導書頼みだったが、本当の意味で自分で道徳の授業を作ることができるような気がする	中学校
授業の作り方はもちろんですが、役割演技をする児童を選ぶところが一番これまでの自分の授業と変わると思います。	小学校
児童の気持ちをゆさぶる発問を工夫したい。登場人物と自分を重ね合わせながら、自分のあり方に近付いていく授業の展開を考えたい。	小学校
自分はワンパターンでの道徳の授業だったと感じたので、新しいパターンで授業をしてみたいと思いました。子どもたちのいろんな考えを引き出したいと思います。	小学校
受容を大切にしたい授業（授業者としての前提や姿勢）について、自身の姿を振り返りながら進めたいと思いました。また、いただいた評価項目を今までのワークシートに取り入れて、子供の姿のみとりに生かしていきたいと思いました。	小学校
現在特別支援学級を担任していますが、今回の内容をわかりやすく解釈して役立てたいと思います。	小学校
大人相手の模擬授業でも、相手を認め、どんな答えにも承認し、受け止めて下さる姿勢に、感激し、自らを猛省しました。中心発問に、一番目に指名され、何を言っているかわからないかのように、モゴモゴしていても、認めて下さり、本当に感謝しかしありません。道徳を行うときは特に受け入れる温かい心を持ちたいと思いました。	小学校
先生の語り口がとても素敵だったので真似してみたい	小学校
役割音読などをクラスの実態に合ったような内容でやっていきたい	小学校
「役割演技」を用いた道徳授業をやってみる。学年等でその授業を検討し、失敗をおそれずに改善しながら取り組んでいく雰囲気を学校に広めること。	中学校
教材を起承転結で分け、小さな発問を立て、中心発問にもっていくこと	中学校
授業で終わらない、児童のこれからの生活の中で考え続けていける授業を作りたいと思います。	小学校

Q4 自由記述	校種別等
初読のときに、途中で止めて挿絵や言葉の説明をはさむのが効果的だと思いました。初読後に改めて設定の確認をしなくて済むと思いました。児童に発問した後に、先生がしっかりと間をとっているのが印象的でした。その間に児童は発問を理解し、自分の考えを表出できると感じました。また、今回の授業は、児童が本当に考えたいことを考える授業だったと思いました。それでいて、教師が考えさせたいことはできるように導いていて参考になりました。	小学校
現在、特別支援学級で道徳の授業を行っていないが、担任する子どもたちの生活や特性に合わせた内容で伝えていきたい。	小学校
子ども自身が納得するこたえを見つけられるような授業をすること、一人ひとりの考えをよく聴くことを大切にしていきたいと思いました。	小学校
特別支援学校の授業の自由度の高さを生かして生徒の実態に合わせた体験的な授業を、私自身が創造的に考えていきたいと感じました。	特別支援学校
重複学級担当なので、生徒が音声言語で答えることは難しいのですが、教師の演技を見せたり、生徒に実際に体験をさせたりしながら、取り組んでいきたいと思います。	特別支援学校
道徳授業がとにかく楽しかった。話し合いで、人間の行為を解釈し、意味づけし、価値付けすることで、生きる上で大切なことを考えさせられた。もっとよく子どもの考えを聞き、受け止める授業をしていきたい。	小学校
ねらいや中心発問、主題名をセットで考えることを意識して教材研究し、発問の仕方や板書を考えていきたいです。	小学校
担当が特別支援学級なので、今日教えていただいたことを参考にしながら授業をしていきたいです。楽しむというキーワードは、気持ちが楽になりました。	中学校
道徳授業における学びを固くせず、本気で考えられる楽しい時間になるよう実践して校内の職員に発信していきたいです。	小学校
もう少し調べて、校内の学習部会や研究会におおせるようならやってみたいです。ただ、まだ自分だけの学びで人に教えたり紹介できるまでにはなっていません。	中学校
時には揺さぶりの発問をして、道徳は理論も大事だが感情でも考えるので正解はないということを生徒に感じさせたいです。	中学校
こども園なので、授業ではないですが、子ども達とのやりとりの中で、受容することを大切にしていきたいと思います。	その他
無理矢理学習課題を立てて授業を進める時が多いのですが、児童とのコミュニケーションや登場人物の心情を丁寧に読み進めていくと、うまくまとめられませんでした。学習課題を立てないで、重要な問いかけを3つ程度を意識して授業を進めることを意識してみようと思います。	小学校
役割演技を、今まで、してはいけない状態でしたと反省しました。しっかりと話し合いをしてから、全体の前で演者を決めてやってみようと思います。	小学校
導入は子どもの感想から、授業を組み立てていくこと。子どもの考えを引き出す対話を繰り返しながら、議論を進めていくこと。役割演技の演じる子どもを選定すること。など、一つ一つできることから取り組んでいきたいと思いました。	小学校
道徳のノートに丸をつけない方がよいということの理由にとっても納得しました。今まで丸をつけてしまうこともあったので、良いところに線をひき、子どもにとって合格不合格という感覚がつかないようにしたいです。そうすることで、子どもがより自由に考えたことを書けるようになるのではないかと思います。	小学校
ねらいを具体的に設定することで、中心発問が見えて来ると言う点が、新しい発見でした。今後の教材研究で、その点に意識して、生徒の考えを深める手助けとなる発問ができるようになりたいと感じました。	中学校
発問の作り方（「誰が」という主語を必ず立てること）、役割演技における演者選びの方法	中学校

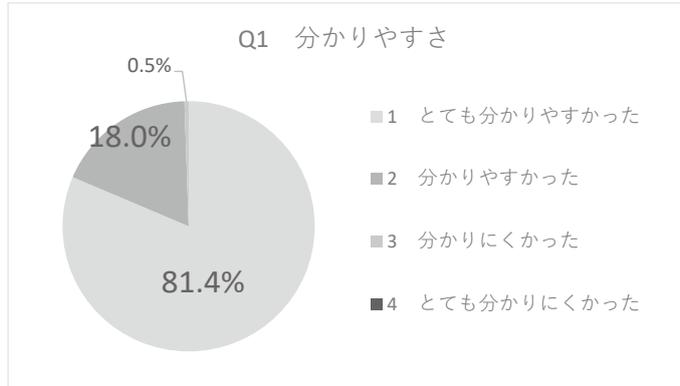
資料3-2 令和4年度 派遣事業アンケート結果

回答数 743

Q1 研修内容は分かりやすかったですか(分かりやすさ)

回答番号	回答	%
1 とても分かりやすかった	605	81.4%
2 分かりやすかった	134	18.0%
3 分かりにくかった	4	0.5%
4 とても分かりにくかった	0	0.0%

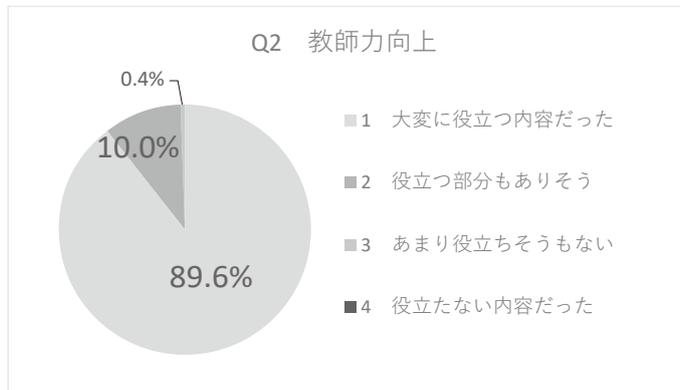
有効回答数 (※無効回答0) 743 100.0%



Q2 本研修は、教師力の向上に役立つものでしたか。

回答番号	回答	%
1 大変に役立つ内容だった	666	89.6%
2 役立つ部分もありそう	74	10.0%
3 あまり役立ちそうもない	3	0.4%
4 役立たない内容だった	0	0.0%

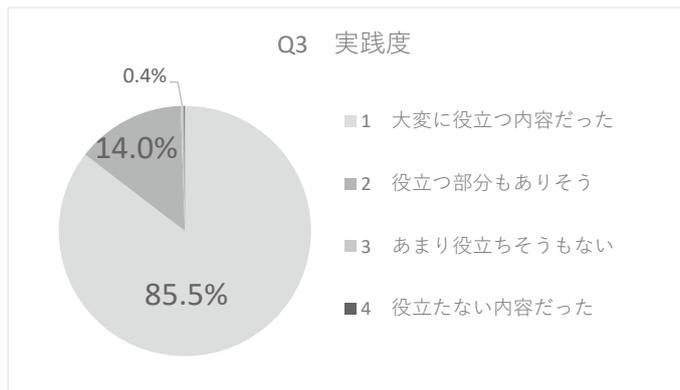
有効回答数 (※無効回答0) 743 100.0%



Q3 貴校の今後の実践に役立つ内容でしたか(実践度)

回答番号	回答	%
1 大変に役立つ内容だった	635	85.5%
2 役立つ部分もありそう	104	14.0%
3 あまり役立ちそうもない	3	0.4%
4 役立たない内容だった	1	0.1%

有効回答数 (※無効回答0) 743 100.0%



Q3 本日の研修内容で、良かったものは何ですか。((すべての記述より抜粋・その他は研修団体等):アカデミー教員分)

Q3 自由記述	校種別等
子どもたちが本気で考える道德のヒントをもらえたから。子どもの発言を簡単に分かったと言わず、誤解がないか会話を通して確認していくこと。	中学校
中心発問の考え方。指導書の内容にあれ?これでいいのかな?と思ったことがあり、その感覚が間違っていなかったと確認できました。	小学校
授業実践。役割演技。子どもの感覚で考えられたこと、その後のフィードバックの仕方が分かりやすかったです。	小学校

Q3 自由記述	校種別等
「手品師」の選択肢は本当に「夢」と「約束」だったのか。言葉の裏に隠れている本質とは何か。売れなくても手品を続けてきた「手品を愛する」手品師の思いとは何だったのか。今までと違う視点で考えることができた。	小学校
模擬授業をしていただいて、実際に見て、体験することが一番の学びになるのだと実感しました。私も登場人物の気持ちを想像して、葛藤して、自分自身の本心を知ることができました。そして、クラスメイトの考えを聞いて、もっとモヤモヤしたり、ずっと腑に落ちたりして、心がたくさん揺れ動いたのが分かって、とても楽しかったです。これが道徳の授業の楽しさだ！と思いました。	小学校
役割演技は、今まで中学生には難しい学習方法かなと考えていたが、本日の模擬授業の流れで行えば、中学生でも有効な学習だと感じました。	中学校
授業中の教師の在り方を学ばせていただきました。特に発問の仕方は大変参考になりました。また、役割演技をどのように子どもたちにやってもらったらいいのか悩んでいたのが、とてもありがたかったです。	小学校
教材を基にして、模擬授業をしていただいたことで大変理解が深まりました。自分事にさせるのは、「自分ならどうするか」と直接聞くことだけではなく、教材の世界観に浸ることで充分自分事にできることを味わいました。	小学校
教材研究の具体的なやり方を知ることができて良かったです。役割演技のやり方も実際に見ることができて、イメージが湧きました。	中学校
道徳が教科化され数年経ちましたが、悩みは尽きないものです。その現場の悩みへの回答を盛り込んだ内容をお話ししていただいたのが有り難かったです。	中学校
他教科の変化とも連動し、価値観の押しつけではない方向に進んでいる、というお話を伺い、評価しなければならぬ苦しさも、少し和らぎました。	小学校
認知・情動・行動の視点から道徳の授業を考える。ロールプレイングの意義を考えることができた。	小学校
実際に師範、模範授業を行っていただいたことで、授業の流れ、生徒との関わりなど体験できたことが職員には良かったと思います。	中学校
模擬授業を通して、生徒の立場からどんな発問なら答えたいかを実感できた。また、教師側が生徒の発言を受け止めてどう生徒に返してあげるのが大事で、それにより安心して生徒が発言できる環境を作ることが大事であることがわかった。	特別支援学校
どんな意見にも楽しそうに児童生徒との対話がなされていたところです。どうしても教師の理想像の方向へ持っていきような発言になりがちですが、どんな意見にも肯定的でかつ、オウム返しでなく、教師の解釈をつうじて児童生徒の言いたいことを引き出す発問は、是非今後身につけたいと思いました。	小学校
一人一人の意見を丁寧に受け止めていくことで、子ども達に「考える楽しさ」を大切にできること。そして、教師との問答によって児童の意見を価値付けることで、考えを深めていくことができるんだと言うことを、今回の講義を通じて教えて頂きました。	小学校
私は小学生の頃からずっと道徳の授業が嫌いでしたが、今日ようやく理由がわかりました。私は国語の読み取りががとても苦手だったのですが、道徳も国語の読解と捉えていたため、苦手意識があったのだと理解しました。間違えはないと聞いていても担任の先生が困った顔をしているのを見て「変なことを言ってしまった」と発言したことに後悔したものです。自分が授業者として今、気持ちがとても楽になりました。	小学校
冒頭で、「何を言っても花丸」と伝えることで、道徳には答えなんてないということや、考えや思いは十人十色だからいいんだという安心を与えていた。他人の存在や思いを承認・理解する態度が育まれる、良い声掛けであると思った。	小学校
発問について、固定概念を持ちがちであったのですが、先生の話聞き、ねらいを明確にし、中心発問を設定することが大切だと学べてよかったです。	小学校
実際に授業をしていただいたことで、他の方の考えに刺激を受けたり、問い返しによって思考がどのように深まるか等、気づくことがたくさんあった。	中学校
指導の中で、「道徳科の授業で一番大切にしたいことは、子ども個々が納得解を得ることだ」というお話がありました。無理に学級全体での合意解を出すのではなく、学習指導要領をしっかりと踏まえながら、子どもの声を拾っていく授業が大切なのだと分かりました。	小学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心発問（課題）の文言が、「あきらの・・・なぜか？」でよかったということ。</li> <li>・ 起承転結で発問を考えてみるとよいこと。</li> <li>・ 自分ごと・・・とすると、「自分を振り返る（自分だったら）反省点」を求めがちだった（これまでのわたし自身）が、納得解（自分の考え）が出せればよいということ。</li> </ul>	小学校
児童の発言やつぶやきを紡ぎながら授業を進める姿が勉強になりました。	小学校
師範授業はもちろん、ご講話だけでなく、模擬授業で一つの教材について皆さんと考えることができたのが良かったです。	小学校
教材を「解釈すること」が大切であると改めて感じました。教科書会社によって主題が変わるというもの見方や解釈の問題なのだと感じました。	中学校

Q3 自由記述	校種別等
道徳の授業を組み立てていくことの楽しさがじゅわあっと伝わってきました。	中学校
道徳の授業の意義と面白さを再認識出来たこと。考える喜びを実感できたこと。	中学校
道徳の授業において、生徒同士や教師と生徒の間での対話がとても大切だということがわかりました。生徒の言葉をいかに汲み取り、繰り返し発問などで深めていくのか、とても学ぶことが多くて、次の道徳授業につなげていきたいです。	中学校
道徳科の目標を噛み砕いて、わかりやすく説明してくれて、大変勉強になりました。	中学校
全て分かりやすくて良かったのですが、特に嬉しかったのは、自分があらかじめ提出していた質問に、根拠をあげて、とても丁寧に誠意をもって、答えを準備してくださったことです。感激しました。ありがとうございました。これからの授業に早速生かしていこうと思います。	中学校
対立意見を分けて出させたり、板書するのではなく、考え想いをどんどん出させて共有していく手法の良さを、模擬授業でも実感することができました。	小学校
実際に模擬授業をやっただけで、具体的な評価のやり方や感想の扱い方等を学ぶことができました。「道徳で学んだことは、すぐに表れるのではなく子どもたちの中に蓄積していくもの」だということに納得しました。蓄積していくものと考えると、子どもたちの中に残る授業をやりたいと思いました。また、子どもの学びは順不同であるということが学べて良かったと思いました。	中学校
道徳で、子どもたちがよく考えて、その子なりの気づきがある授業にできるようにしたいとは思いつつ、なかなか今日はいまいちだったなあ…と思うことも多いのが現状です。今回、めあては本来は感想から出た疑問などから作るもの、というのは他の教科と通じるものだと感じました。また、子供の価値観がよく出る発問はこちらか、こちらが中心発問の方が良いのではとも思う。という先生の言葉から、子供の価値観がよく現れるところはどこかという視点で中心発問を考えることが大切なのではないかと思いました。	小学校
道徳の授業では、教員は適切な対話の相手になること、子どもたちの気持ちや考えを聴くことが大事だと先生の授業からも体感しました。	小学校
手品師の研修は何度か参加したことがあるが、今日の研修は参加してとても清々しい気持ちになれたこと。手品師が男の子の前で手品をするを選んだことについて、自分で選んだ道だから、大舞台での代わりはいるけど男の子の前でやる代わりはない、男の子の前でできなければ、大舞台で大勢の観客を喜ばせることはできない、という新しい見方ができて、道徳っていいな、と思えたところ。子どもの意見、考えが発問になる！！というところ。	小学校
道徳の授業について、これまでずっと不明確でした。できた！と思うことが今までなかったのですが、今日研修を受けて少し明るいところが見えた気がします。道徳、好きなので早くやりたくなりました。ありがとうございました。	小学校
模擬授業を受けたことで児童の気持ちがよく分かりました。教壇に立っていると沈黙が怖いのですが、子供達は必死に考えているんだなと知ることができました。	小学校
示範授業中、先生の児童の意見に対しての切り返しや、児童の意見を受け止めてあげるような声かけは、頑張っただけで発言をした児童が言ってよかったと思えるようなものでしたので、自らも実践してみようと思います。また、役割演技は実際に声や表情なども再現できるものですので、留意点はあれどすごく面白いなと学びになりました。	小学校
実際に役割演技の授業を体験して、演者ではなくても、聞き手役として他の先生方の考えや感想を聞いているだけでも、共感できることが多く、大変勉強になりました。	中学校
役割演技の演者として研修に参加させていただきました。演者同士が関わり合うことで、自分の中でも考えがタイムリーに深まっていくことを、実感出来ました。また模擬授業の中での先生には、演者の思いを言語化し、フロアへと広げていただき、安心して役割演技が出来ました。教師の役割を肌で感じる事が出来ました。	小学校
役割演技がすごく心に訴えかけてくるものだとわかったこと。さらに深くまで考えることに役立つとわかった。	小学校

Q3 本日の研修内容で、良かったものは何ですか。(すべての記述より抜粋・その他は研修団体等):客員講師分)

Q3 自由記述	校種別等
子どもたちがおかれている(将来おかれるであろう)環境、時代背景などをもとに指導要領を確認する機会となつて良かったです。	中学校

Q3 自由記述	校種別等
最後の平等と公平の話です。私は特別支援教育コーディネーターとして同じ話を生徒にしていますので、とても参考になりました。そして、気づいてしまいました。学校ではどんな発達段階の生徒にも、平等に同じ教科書だなあと。知的障害の生徒は一般教科書をもらえますが、軽度の生徒には困り感があることです。そういうことを校内でしっかり共有したいです。	中学校
実践例。青赤黄のカードを用いると、パッと見ただけで生徒たちの考えを読み取ることが出来て、色な生徒に声をかけることができるから。	中学校
特別の教科道徳の今すぐ使える小技集が参考になった。議論させたいなら、普段の教科指導から鍛えるべきとの指導が納得だった。	中学校
意思表示のカードを使ったこと。（自分のクラスに意思表示をするのが苦手な生徒がいるため）	中学校
実際に題材に触れながら生徒側になって行ったことで、授業の受け手側に立って考えることができた。	中学校
講師の先生が実践された授業を実演していただいたところが良かったです。また、導入とまとめの部分で同じ問いかけをするなど、工夫が必要なことも再認識させていただいたところが良かったです。	中学校
導入で聞いた内容(スライド)を、意味を持って最後にもう一度聞く手法	中学校
泣いた赤鬼の教材をもとに、模擬授業形式で、自身が児童の立場になり、意見を考え、他の先生方と交流できたことです。広中先生も個々の意見を温かく受け入れてくださり、多様な意見を持つことや、人によって感じ方思い描きかたは異なっているものだ改めて実感できました。	小学校
ご指導いただいたなかで、iPadのメリット、デメリットを抑えることができました。大変勉強になりました。	中学校

Q4 本日の研修内容を、今後の道徳教育または道徳科授業の充実にどのように役立てたいですか。  
 ((すべての記述より抜粋・その他は研修団体等):アカデミー教員分)

Q4 自由記述	校種別等
わかりやすい授業ももちろん大切ですが、問題を投げかけることで生徒が自ら考え答えを導き出す過程を尊重したいと思いました。	その他
中学生で役割演技を上手に活用できた経験がなく、自信がありませんでした。しかし、模擬授業のように子供がなりきった状態でどんどん質問してあげることで、役に徹した状態での意見が聞けるのかもしれないと思いました。ありがとうございました。	中学校
現在、特別支援担任で、道徳授業をしていないのだが、支援学級の子どもたちにも、道徳授業をしたくなりました。今回の研修を通常学級の先生方にも知ってもらいたいとメモを取り、回覧中です。	小学校
1つの授業に中でたくさんのを聞こうとするのではなく、1つの中心発問に絞って子どもの考えが揺さぶられたり、モヤモヤしたりする過程を大切にしたいと思いました。	小学校
かっこいい結論を求めなくて良いという言葉が印象に残った。どうしても授業のゴールを考えて発問してしまうので、子どもの素直な考えや思いを大事にして、子どもの言葉で授業が終われるようにしたいと思った。	小学校
日々の「範を示す」これに尽きると思いました。模擬授業のように、子どものどんな気持ちも受け止めて、繋げて、広げていく言葉がけを頑張りたいです。教師が構えず、柔軟にしなやかに、子どもと一緒に楽しみながら授業をしていきたいです。収集は付けなくていいんだ、終わらなかつたら、二時間目に突入すればいいんだ、と力を抜いて授業したいです。私は少数派の意見を言いがちな、正論に論破されることもあるのですが、模擬授業では全て受け止めてくださったので、安心して発言することができました。	小学校
はい。特に役割演技を取り入れてみたい。2年生の場合、言葉での理解に限界があると感じていたため、可視化、可聴化することによってより深く考えられると思った。	小学校
教材から離れていくような道徳を今まで多くやっていたので、教材に寄り添うことで多面的で多角的な考え方が引き出せるのだと感じた。本校でも教材に寄り添う時間と自分の経験から語り合う時間をどちらも大切にしていきたい。	中学校
まず、自分の道徳授業を反省しました。もっと自由に話して良いのだという雰囲気を作らなくてはと思いました。頂いた資料を読み返し、授業改善を図りたいと考えています。職員にも回覧したいと思います。	小学校
中心発問や補助発問について何度も追求して尋ねることで、生徒役の深い考えを引き出していたので、実践したいと思った。	中学校

Q4 自由記述	校種別等
自分の道徳科授業の計画、他職員の授業計画の相談や授業参観時の意見交換時等に、今日の研修で体験的に学んだことを基に考えていきたい。	小学校
これまでも行ってきたが、ねらいに応じて、テーマ発問設問型の授業展開を工夫し、価値観への気づきや理解の深まりに向かう授業を行っていきたい。	小学校
今まではロールテイキングを役割演技として考えていたので、あまり実践してこなかったのですが、ロールプレイングで実践してみようと思いました。	小学校
結論が出なくても、自己を見つめ直したり、物事を多面的多角的に考えたりする過程が大切だと感じました。考えるべき課題に直面したときに、教師の意見を言う前に、子どもに考えさせる時間をもたせるように、日頃から心がけたいと思いました。	特別支援学校
今までは、児童にしっかり考えさせなければならないと思い過ぎていたところがあったので、楽しめていませんでした。研修を受けたことで、道徳はもっと自由に本気で楽しい時間だと気づきました。抑えるべき点を確実に押さえ、魅力的な授業にしたいです。	小学校
生徒と一緒に考える授業を作っていきたいと改めて感じました。また、他の先生方と道徳について話し合いができ、楽しかったです。職員が同じ方向を見て、授業について語り合える貴重な機会をいただいたことを、またこれからは活かしたいと思います。	中学校
私はいつも、「どんな気持ちだったと思う？」などの小さな発問ばかりを重ねた授業になってしまいます。当校の「問題」「課題」にこだわらず、子どもに一番考えさせたいことを「中心発問」として構えた授業をしていきたいです。	小学校
道徳の授業実践で、発言の聴き方と子どもの自己成長欲求を喚起することを考えた取組をしていきたい。	中学校
特別支援学校で授業としてするのは難しいかもしれませんが、授業の中で用いる視点として役立てていきたいと思います。	特別支援学校
成果がすぐにわかりやすく表れるものではないことを念頭において、子どもたちの中に積み重なっていくことを意識して授業を作ろうと思いました。教材の概要をまとめたものを配ることは思いつきませんでした。読むことが苦手な子どもたちは内容を捉えることに必死になっている様子が見られるので、これもやってみようと思います。最後にきれいにまとめようとしてしまいがちですが、その授業で子どもが得たものを大切にしたいのでまとめ方にも注意してやってみます。	中学校
研修を通じて、子どもの発言をもっと丁寧に扱わないといけないと思いました。書く活動は盛んでも、発表になった際に挙手する児童が減ってしまう要因として、児童の考えを紙の中でなく、発表の中でより深めていくことで、子ども自身が考えを語りはじめるのだと考えました。今後、児童の考えの「解釈の練習」を繰り返して行い、児童の意見を大切にしていきたいと思いました。	小学校
役割演技を効果的に取り入れ、情緒学級での指導に役立てていきたいです。	小学校
まずは、ねらいを立ることを思考錯誤していこうと思います。それが一番難しいと思います。また、児童な対話の相手になれる力と感性を付けたいです。本日は、教師と児童が向かい合いどンドン熱中していく感覚を味わえて、刺激になりました。今後の励みにしていきます。	小学校
頻度は少なかったが、これまでに行ってた役割演技は動作化であったと気づいた。上手いかなかった部分はどの児童に演じさせるかであったとわかった。より児童の発言を聞いていま児童が何を考えているのか見極められるようにしていきたい。	小学校

Q4 本日の研修内容を、今後の道徳教育または道徳科授業の充実にどのように役立てたいですか。  
 ((すべての記述より抜粋・その他は研修団体等):客員講師分)

Q4 自由記述	校種別等
生徒たちが「正解」だと思っていることを揺さぶり、自分ごととして深く考えることができるような授業を試みたいと感じました	中学校
まずは、指導要領をしっかりと読み、何を大事にすべきかを考えて授業を作っていきたい。	中学校
思考ツールを積極的に活用し、担任の見取りはもちろん、生徒同士もお互いの思考が見えるようにしていきたいと思いました。	中学校
育てたい力(判断、心情、実践意欲・態度)を明確にして指導に臨む。この単元で育てたい力を他の担任と共有して、指導案を検討する。	中学校
生徒の心情理解から価値理解へ繋がれるように授業に生かしていきたい。	中学校
学習者となって気づいたのは、自分の思いを言葉で表すことの難しさです。また、自分の考えや意見には、生活経験が大きく影響しているなど感じました。学級では、十分な時間を確保して、多様な考えを共有し、自己の生き方や考え方がより豊かになるよう価値付けていきたいと思いました。	小学校
後半でお話にあった、子どもの発言からどう価値理解につなげるか、道徳授業は答え探しでなく、正直な心を大切にしていくことを改めて確認できました。	小学校
もっと自分が道徳について学ぶ必要があるとおもいました。もっともっと学びます。	中学校

# 道徳授業における 学びとは何か

上越教育大学 林 泰成

## 1. 教えることと学ぶこと

(1) 知識伝達から資質能力の活用へ

従来型の学力：教科書の知識を覚えて、ペーパーテストでそれを再現する能力

新しい学力：自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの資質や能力を重視する考え方に基づく学力

知識は覚えておかなくても調べればわかる。  
重要なことは、それをどう自家薬籠中のものとし、活用できるようにするか。

### (2) ラーニングピラミッド（教授方法と定着率）

この図の元となったデータの出典ははっきりしていません。Edgar DaleのAudio-Visual Methods in Teachingに由来するのではないかとされています。

この図は、下記のURLから拝借しましたが、そこでは、根拠が明確ではないものとして批判されています。

「最近よく見かける「ラーニング・ピラミッド」について | 中学校の社会科の授業づくり (social-studies33.com)」  
<http://social-studies33.com/2016/08/16/ラーニング・ピラミッドとは?/>より

### (3) カリキュラム論の視点から

計画されたカリキュラム：学習指導要領や教科書の内容などをとに何を教えるかが計画される。

実践されたカリキュラム：実際の授業では、子どもの理解の状態などを考慮しつつ「計画されたカリキュラム」

子どもが学習したカリキュラム：子どもは教師が教えたとおりに学習するとはかぎりません。それぞれの子どもの興味関心によって学んだ内容は異なります。

### (4) 「教える＝ティーチング」とはかぎらない ～文化によって異なる「教える」という概念～

駅までどのようにいけばよいのか教えてください。

Please tell me how to get to the station.  
Please tell me the way to the station.  
Please show me the way to the station.

The accident has taught me that driving at eighty miles an hour is stupid.

その事故で時速 80 マイルで車を飛ばすのは愚かなことだということがわかった。

## 2. 学ぶことと理解すること

(1) 学ぶ

- ①知識を身につける。  
教えられて知識を身につけることもあれば、経験によって身につけることもある。
- ②技芸を身につける。  
頭でわかっていても、スキルを身につけたとは言えない。
- ③わかる。理解する。  
わかり方に、浅さ・深さのレベルが存在する。

### (2) 理解するとはどういうことか？

■和歌を理解する

私のイメージ

敷島の和心を人問わば  
朝日に匂う山桜花

ヤマザクラ  
多くの場合葉芽と花が同時に開くので、これがソメイヨシノと区別する大きな特徴となる。

### 匂う

- ・1 よいにおいを鼻に感じる。かおりがただよう。「百合の花が匂う」「石鱈がほのかに匂う」
- ・2 鮮やかに色づく。特に、赤く色づく。また、色が美しく輝く。照り映える。「紅に匂う梅の花」「朝日に匂う山桜」

デジタル大辞泉より

過去の体験・経験

修正された理解

朝日  
に匂う  
山桜花

敷島の  
大和心  
を人間  
わば

作者の意図や時代背景等を教える

では、修正された理解が正しくて、私の理解は間違いなのでしょうか？

■思考はどこにあるのか？

次のような計算を筆算で行うことを考えてみましょう。

$$\begin{array}{r} 153 \\ \times 64 \\ \hline 2112 \end{array}$$

え〜っと、3と4を掛けて12。5と4を掛けて20だから・・・



このとき、思考はどこにあるのでしょうか？  
筆算のために使っているこのペン先にあるとは言えないでしょうか？  
この問題は、ウィトゲンシュタインという哲学者が論じている問題です。

(3) 読解力とは何か？

読解力＝教材の文章の内容を正確に読み取る能力か？

平成15年（2003年）7月にOECD（経済協力開発機構）が実施したPISA調査（生徒の学習到達度調査）の結果が、公表された。それによれば、わが国の子どもたちの学力は、「数学的リテラシー」、「科学的リテラシー」、「問題解決能力」の得点については、いずれも一位の国とは統計上の差がなかったが、その一方で、「読解力」の得点については、OECD平均程度まで低下している状況にあるなど、大きな課題が示された。

文科省HP  
http://www.mext.go.jp/a\_menu/shotou/gakuryoku/siryu/05122201/014/005.htmより

PISA型「読解力」とは

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力

文科省HP  
http://www.mext.go.jp/a\_menu/shotou/gakuryoku/siryu/05122201/014/005.htmより

「読解力」とは、文章や資料から「情報を取り出す」ことに加えて、「解釈」「熟考・評価」「論述」することを含むものであり、以下のような特徴を有していると言える。

- ①テキストに書かれた「情報の取り出し」だけではなく、「理解・評価」（解釈・熟考）も含んでいること。
- ②テキストを単に「読む」だけではなく、テキストを利用したり、テキストに基づいて自分の意見を論じたりするなどの「活用」も含んでいること。
- ③テキストの「内容」だけではなく、構造・形式や表現法も、評価すべき対象となること。
- ④テキストには、文学的文章や説明的文章などの「連続型テキスト」だけでなく、図、グラフ、表などの「非連続型テキスト」を含んでいること。

文科省HP  
http://www.mext.go.jp/a\_menu/shotou/gakuryoku/siryu/05122201/014/005.htmより

3. 道徳授業における学び

(1) 道徳授業に特徴的なことは何か

道徳的価値を理解させることになっている。  
現在では、教科書が存在する。  
記述式の評価を行う。（観点別評価ではない。しかし、視点はあ

る）

・・・

人間の行為を解釈し、意味づけし、価値づけする。  
（道徳授業に限定して）暫定的に定義を与えておきます。  
解釈：物事や人の言動などについて自分なりに考え解釈すること  
意味づけ：物事に何らかの意味や意義を与えること  
価値づけ：道徳的価値として捉え直すこと

何をしているのでしょうか？



何をしているのでしょうか？





次のような説明文が近くにありました。

- ① 右手で柄杓に水を汲み左手にかけて清めます。
- ② 次に柄杓を左手に持ち替えて右手に水をかけて清めます。
- ③ 柄杓を右手で持ち、左手に水を受け、口を清めます。柄杓に直接口をつけません。
- ④ 水を左手にかけて清めます。柄杓を立てて、柄に水を流し元の位置に伏せておきます。

(2) 小学校教材「手品師」を例に

子どもが何を学べば、授業が成立したことになるのでしょうか？

資料で描かれている事実：大劇場でのチャンスを棒に振って、子どもとの約束を優先する。

子どもの思考：

- ①なぜそんなことをするんだろう？ 大人の判断としてあり得ない。男の子を不憫に思っていたのかな、約束を守ることが大事なことであったかと思っていたのかな。
- ②手品師の行為は素晴らしいなあ。
- ③これが「誠実」ってものなんだなあ。(こんなふうには生きられたいいなあ)

自己犠牲を強いる教材という批判もあるが・・・

解釈の余地、意味づけの余地、価値づけの余地がない教材では、子どもの学びは成立しないのではないかと。  
つまり、子どもの能力開発にならないのではないかと。

他人のために命を捨てることを強いるような自己犠牲メッセージが描き込まれているようなものはさすがにどうかと思うが、しかし、他の解釈が成り立ちうるからこそ、考え議論する道徳が可能になるのではないかと。

(3) 中学校教材「足袋の季節」を例に

資料概要  
作者が少年の頃、貧しさと寒さに追いつめられ、大福売りのおばあさんから、多く返された釣り銭を、足袋の代金にしてしまう。おばあさんの「ふんばりなさいよ」の一言が、足袋を手に入れることしか頭になかった筆者の心を大きく揺さぶる。その後、自責の念に駆られた筆者は初めて月給をもらっておばあさんに償いをしようと訪ねるが、そのおばあさんは既に亡くなっていた。

内容項目  
[よりよく生きる喜び] 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。

この作品は、人間の弱さや醜さが描かれていて、私の好きな教材の一つである。しかし、授業で扱うのが難しい作品だとも思う。道徳的価値「よりよく生きる喜び」につながりにくいのではないかと思うからである。

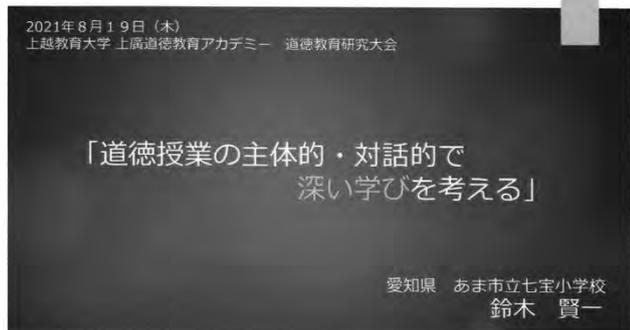
だれもが自分の弱さに負けたというような体験はあるのではないかと思うが、しかし、少なくとも私の場合は、それを思い出すたびに、大声をあげて逃げ出したいくなるような気恥ずかしさがある。だから「よりよく生きよう」と考えるよりも前に、隠しておきたいという気持ちになってしまう。それをどのようにしたら、「よりよく生きる喜び」につなぐことができるのだろうか。

自らの負の体験に、意味づけや価値づけはできるのだろうか。

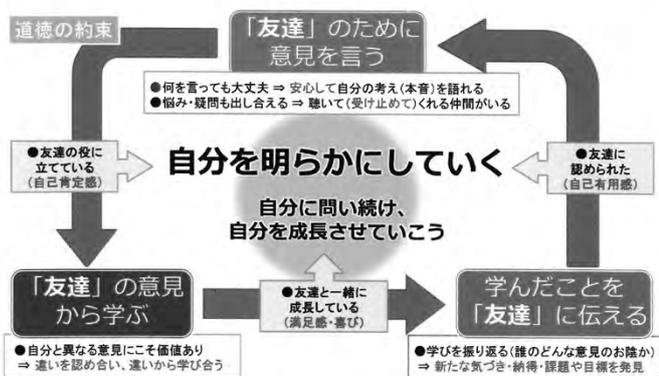
(3) 改めて問う「道徳教育における学びとは何か」

学習指導要領に記されていることを否定するつもりはないが、「人間の行為を解釈し、意味づけし、価値づけし、自らの生き方の方向性を定める能力を育てることだ」とは言えないか。

しかも、それが、子どもの中で、自己教育として成立したときにはじめて、授業としても成立したといえるのではないかと。



- (1) 道徳授業における「深い学び」とは何か？ <学ぶ目的>
- ・自分を明らかにしていく  
(何を大切にどう生きていくか・どうしたらよりよく生きられるか・自分らしい生き方とは 等)  
⇒ 自分に問い続け、自分を成長させていこう
  - keypoint : (弱さも含めた)自分に向き合える・自分を好きになれる
- (2) どのようにして「深い学び」を生み出すか？ <学び方>
- ・異なる多様な他者と積極的に関わり合う  
(正解の見えない問題を共に悩む・納得できないことにも耐え、考え抜く)  
⇒ 新たな見方・考え方、疑問・課題が生まれることを楽しもう
  - keypoint : もっと考えたい、話し合いたいという意欲をもてる・互いの(社会の)幸せを願い出せる
- (3) ICTを活用して「深い学び」を実現するためには？ <実践例>
- ・6年生「星野君の二塁打」(ロイロノート・スクールを活用して)

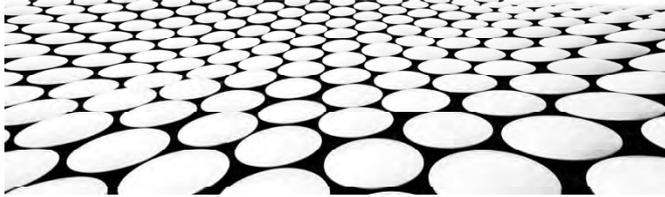


- (1) ねらい
- 自分の思いのままに行動するのではなく、チームのために自分が果たすべき役割を自覚し、責任を果たそうとすることが、よりよいチームづくりには欠かせないとの理解を基に、時や状況、場合を考え判断して実行する力を育む。(C よりよい学校生活、集団生活の充実)
- (2) 学習指導過程
- <導入> ・状況の把握  
(監督がなぜ送りバントの指示を出したのか)  
(ヒッティング(打つこと)とバントの違い)
- <展開> ①うつむいたままの星野君は、監督の言ったことに納得していると思うか。(星野君の納得度を数字で表してみよう)
- ②星野君、監督、チームメイト、それぞれの思いを考えてみよう。  
(星野君は、どんな思いで「異存ありません」と言ったのか。)  
(監督は、どんな思いで星野君に出場禁止を伝えたのか。)  
(チームメイトは、どんな思いで一連の出来事を受け止めたか。)
- <終末> ・「異存ありません」と言った星野君は、監督の言ったことに納得していると思うか。(星野君の納得度を数字で表してみよう)



上越教育大学 上廣道德教育アカデミー道德教育研究大会 シンポジウム  
「道德授業の主体的、対話的、深い学びを考える」

弘前大学教育学部附属中学校 佐々木 篤史

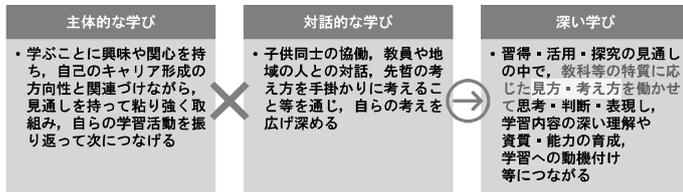


上越教育大学 上廣道德教育アカデミー道德教育研究大会 シンポジウム  
「道德授業の主体的、対話的、深い学びを考える」



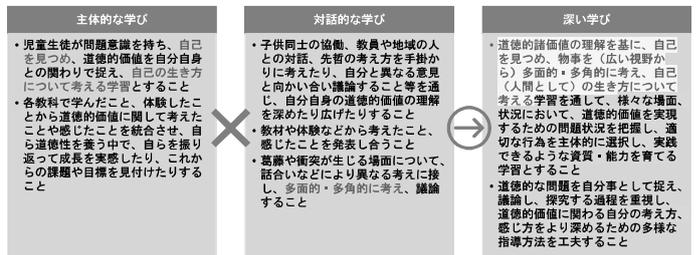
2021/8/19

「主体的・対話的で深い学び」



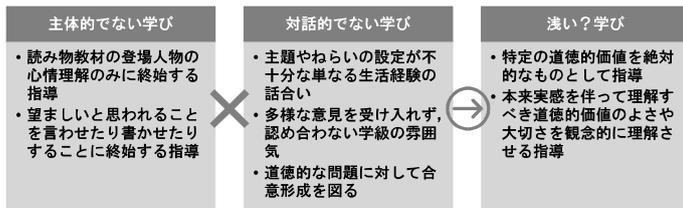
2021/8/19

道德科における  
「主体的・対話的で深い学び」



2021/8/19

道德科における  
「主体的・対話的で深い学び」にならない場合



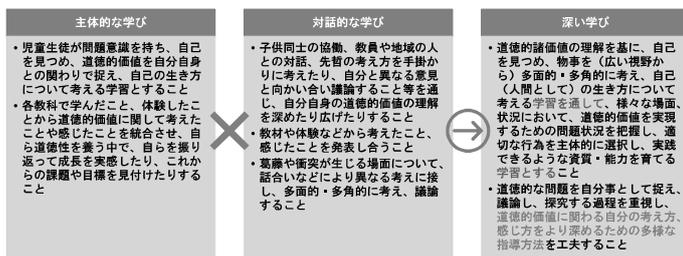
2021/8/19

道德科における  
「主体的・対話的で深い学び」につながる指導は？

- 道德的諸価値や価値観（内容）についての指導は押し付けになってしまう可能性がある【インドクトリネーション・インカルゲーション】
- ルールやマナー（内容）を指導する場面ではない

2021/8/19

道德科における  
「主体的・対話的で深い学び」につながる指導は？



2021/8/19

道德科における  
「主体的・対話的で深い学び」につながる指導は？

- 道德的諸価値や価値観（内容）についての指導は押し付けになってしまう可能性がある【インドクトリネーション・インカルゲーション】
  - ルールやマナー（内容）を指導する場面ではない
- では質の高い多様な指導方法は何を指導している？

2021/8/19

道徳科における  
「主体的・対話的で深い学び」になる指導は？

- 質の高い多様な指導方法は何を指導している？
- どのように【どのように考えるか】を指導していくことが重要ではないか
  - 道徳的諸価値の理解を基にして考える（学習方法）
  - 自分との関わりで考える（学習方法）
  - （広い視野から）多面的・多角的に考える（学習方法）
  - 自分（人間として）の生き方について考える（学習方法）
- 道徳科の見方・考え方を指導していると言える

生徒化

2021/8/19

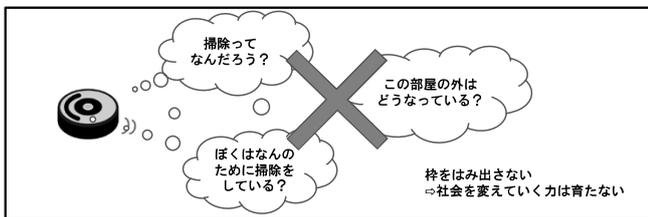
主体をとらえなおしてみる ビースタの学習化批判（ロボット掃除機）



学習化

2021/8/19

主体をとらえなおしてみる ビースタの学習化批判（ロボット掃除機）



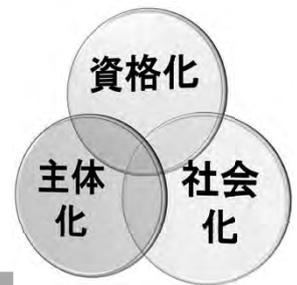
2021/8/19

ビースタの教育の3領域

資格化：内容（知識，スキル，性向）を身に付けさせること

社会科：特定の社会の伝統と、特定の行為の仕方やあり方に導くこと

主体化：他者の指示などに従う客体のままでいるのではなく、自分自身が主体であることに  
関するもの

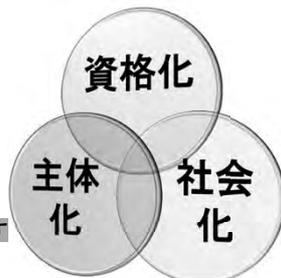


2021/8/19

道徳科におきかえると  
ビースタの教育の3領域

- 資格化：価値理解・心情理解
- 見方・考え方
- 社会科：諸様相（特に態度）
- 道徳的実践

- 主体化：価値、価値観を見直す
- 生き方（人生観）を見直す
  - 社会（世界観）を見直す



「特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にあるものと言わなければならない」「多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢こそ道徳教育で養うべき基本的資質である」

2021/8/19

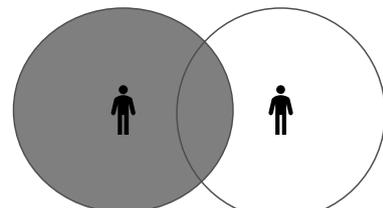
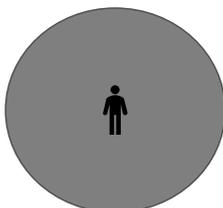
ビースタの主体化論

言われるままに従う  
自分が間違えている

自分の考えが正しいと考える  
他が間違えている



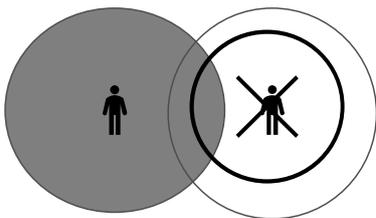
対話の状態 = 主体として存在  
できる状態



2021/8/19

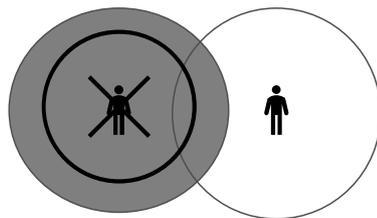
2021/8/19

世界の破壊



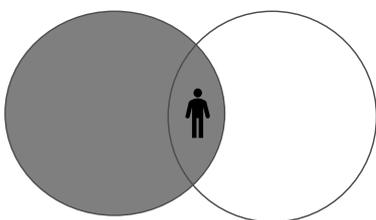
2021/08/19

自己の破壊



2021/08/19

中間点 (対話)



2021/08/19

ビースタの主体化論 道徳科におきかえると

自分の考えを持たない  
他の人の意見に流される  
教科書から答え？を見つける

自分の考えに固執している  
他の考えを受け入れられない  
教科書はキレイ事だ



他の人の考えに影響を受けながら  
自分の考えを持つようとしている状態

ビースタの主体化論 道徳科におきかえると

自分の考えを持たない  
他の人の意見に流される  
教科書から答え？を見つける

自分の考えに固執している  
他の考えを受け入れられない  
教科書はキレイ事だ



**中断！**

本当にそうなのかな？

他の人の考えに影響を受けながら  
自分の考えを持つようとしている状態

**中断！**

本当にそうなのかな？

ビースタの主体化論 道徳科におきかえると



**中断！**

本当にそうなのかな？

中断：教師が **問い** を発することで  
生徒を**対話状態**にする  
⇒**主体**として生き方について考える

**中断！**

本当にそうなのかな？

ポイントは**問い** (学習者が問われる感覚を持つこと)

- 自分の興味・関心からの発信だけでは、せまい自分の世界の中で考えが広がってしまうのでは？
- 他者から何を、どう受け取って、考えるのが大事では？

2021/08/19

GIGAスクール 一人一台ICT機器の導入 によって…

- 道徳的諸価値の理解を基にして考える (学習方法)
- ▼ 自分との関わりで考える (学習方法)
- (広い視野から) 多面的・多角的に考える (学習方法)
- ▼ 自分 (人間として) の生き方について考える (学習方法)

2021/08/19

令和3年度 上越教育大学 上廣道徳教育アカデミー  
道徳教育研究大会 「道徳授業の学びを考える」  
道徳授業の主体的、対話的、深い学びを考える



福岡県宗像市立玄海東小学校 主幹教諭 木下 美紀  
令和3年8月19日(木)  
m.kishita@eri.bbq.jp

### 教科化における重点ポイント

考え、議論する道徳科への転換！

- ① 目標の改善 ・21世紀型能力を入れて
- ② 内容の改善 ・系統的な内容・キーワード
- ③ 方法の改善 ・主体的・対話的で深い学び
- ④ 道徳の評価 ・数値での評価はおこなわない
- ⑤ 国の検定教科書

内閣府 Cabinet Office Society 5.0



これまでの社会  
知識・情報の共有、連携が不十分  
IoTで全ての人とモノがつながり、新たな価値が生まれる社会

これまでの社会  
地域の課題や高齢者のニーズなどに十分対応できない  
イノベーションにより、様々なニーズに対応できる社会

Society 5.0  
AIにより、必要な情報が必要な時に提供される社会  
ロボットや自動走行車などの技術で、人の可能性がひろがる社会

これまでの社会  
必要な情報の探索・分析が負担  
リテラシー（活用能力）が必要

これまでの社会  
年齢や障害などによる、労働や行動範囲の制約

### 令和の日本型学校教育

#### 個別最適な学び

学習者の特性や進度、到達度に応じて、指導方法・教材や学習時間などが保証され（指導の個別化）、学習者の興味・関心に応じて柔軟に学習を最適化する（学習の個性化）学び

#### 協働的な学び

同一学年・学級集団をはじめ、異学年間や他校との学び合いなど、様々な場面での学び

参考：文部科学省HP「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（中教審第228号）【令和3年4月22日更新】 access2021. 7. 27

### 質の高い多様な指導方法

読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習  
登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考えること  
→道徳的価値の理解を深める

様々な道徳的諸価値に関わる問題や課題を主体的に解決する学習  
・問題場面を自分に当てはめてみることを促す発問  
・問題場面における道徳的価値の意味を問う  
→価値を実現するための資質・能力を養う

道徳的行為に関する体験的な学習  
・問題場面を実際に体験してみること  
・それに対して自分ならどんな行動をとるか問題解決のための役割演技  
→道徳的価値を実現するための実践的な資質・能力を養う

27.12.16「特別の教科 道徳」の指導方法・評価について

### 今日お話しする内容

- ①はじめに 道徳の教科化への転換  
～何が変わり、何が変わらない？ GIGAスクール構想～
- ②考え、議論する道徳への転換  
・問題意識を大切にしたい授業づくり  
・多面的・多角的な思考を促す授業づくり
- ③おわりに  
具体的な実践から（部分的模擬授業）

### 教科化における重点ポイント

これを大切にしたい！授業づくり

- ① 問題意識を大切にしたい授業づくり
- ② 多面的・多角的な思考を促す言語活動の工夫

問題とは？ 問題意識生成の仕組み 指導過程 実践

### 道徳科における問題とは？

道徳的問題であり、道徳的価値が含まれており、ねらいに関わる事項

道徳科における問題とは道徳的価値に根ざした問題であり、単なる日常生活の諸事象とは異なる。

新学習指導要領解説より

## 問題意識と学習テーマ

切実感のある問いを！

**社会テーマ**  
社会的な課題に関わる問題意識

教材の中で生まれる  
問題意識

**教材テーマ**

身近な生活でのテーマ

**生活テーマ**

道徳的価値に直接関わる問題意識

**価値テーマ**

出典・永田繁雄「新しい道徳教育の在り方を求めて」『日本道徳教育学会講演資料』2021

問題とは？ → 問題意識生成の仕組み → 指導過程 → 実践

### 問題意識の連続

問題解決的な学習の指導過程

導入 ①日常生活 OR教材

展開 ②教材

③自己の振り返り

終末 **自分なりの納得解**

大切にしたい心・なり像(実践意欲)自己課題

①日常生活 OR教材: どうしてか知りたい(向上欲求に) 問題の意識化→把握→問題意識へ 学習課題の明確化 仮説も ※方法論は、教材提示後

②教材: 多面的・多角的な思考 ※役割演技・対話活動等 アクティブ・ラーニング

③自己の振り返り: 学習の**学び・納得**(体験と結んで) (自己モニタリング)

### 問題意識をもつための着眼点①

行動比較  
内面比較

席をゆずる

何がちがう？

やさしくできるとき

やさしくできないとき

めあて  
〇〇ができる自分になるにはどんな心が大切か考えよう。

### 問題意識をもつための着眼点②

自分の視点  
他者の視点

複数絵ペア

子どもの概念(本当の親切)とのズレを生じさせる複数絵ペア

めあて  
本当の□□について考えよう。

①問題意識 ②言語活動

わたしにもあるよ やさしい心(はしの上のおおかみ)

何がちがう？

①いじわるしている おおかみ

②やさしくしている おおかみ

### 発問から

- ・きまりは大事ですか？
- ・なぜきまりは大事ですか？
- ・きまりを守ることができない事態が生じたら？
- ・それでもきまりは大事ですか？

福岡県教育センター 石硯昭雄氏研究資料より

### 問題意識を大切に授業づくり

- ①ええ??(驚きがあるか?)
- ②どうしてだろう?(疑問が生じるか)
- ③どちらが正しいのだろう?(少し困る場面があるか)
- おかしいぞ! 今までとは違うぞ!なぜだろう?(はてな?が生じるか)

### 表現活動の工夫

(1) 言語的表現活動 (タブレットの活用)

- ・書く活動・話し合う活動
- ・ジャムボード等

(2) 動作的表現活動 **ポイント!**

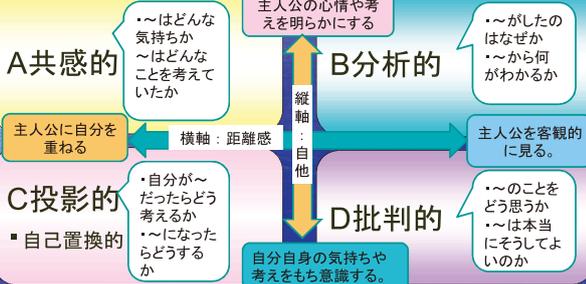
- ・動作化
- ・役割演技

(3) 視覚的表現活動 (タブレットの活用)

- ・心情図・ネームカード・付箋紙
- ・ジャムボード スプレットシート等

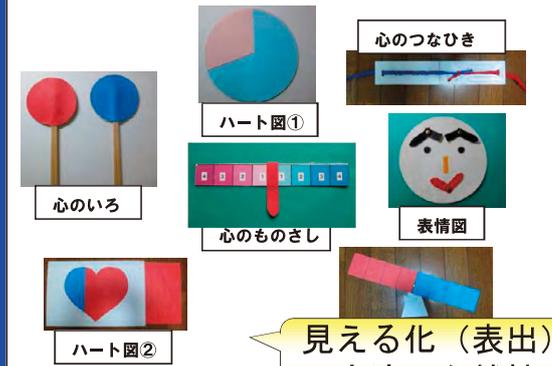
## 多面的・多角的に考えを深める

### 発問の工夫～発問の立ち位置・4区分～



東京学芸大学永田繁雄氏 資料より

## 言語活動が活性化する教具



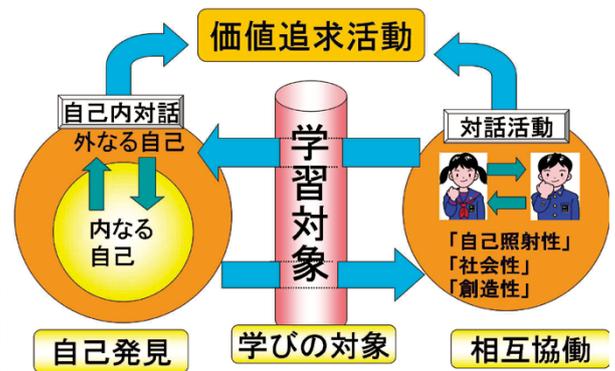
見える化（表出）  
交流の必然性

## 教具の活用（内言と外言をつなぐ）



- 【思考ツール】**(児童、生徒)  
・自己の考えの可視化  
・自己モニタリング  
・自己の対象へのエピソードを引き出す。
- 【交流ツール】**(児童、生徒)  
・他者との比較による自己の考えの拡充  
・感情的共同体としての他者との交流(対話活動)
- 【評価機能】**(教師)  
・児童、生徒の傾向性の把握  
・授業展開に生かす(交流)

## 対話活動の意義



## 考えを広げ・深める言語活動

- ①話し合う必然性  
児童生徒が話し合ってみよう!と思っているか?
- ②テーマの把握  
何について話し合うか分かっているか?
- ③話し合う材料  
自分の考えを書いたノート等をもとに話すか?
- ④話し合いのルール  
話し合いの進め方が分かっているか?
- ⑤支持的風土(認め合う集団)  
多様な考えを認め合う関係になっているか?



## ①「自分だったら」という発問は?

**メリット** 主体的な学びの保障：学習対象に対して自我関与を図り、立ち位置を明確にすることにより、自分のこととして考えを深めることができる。

**デメリット** 内容によって検討が必要  
自分のこととして表出が難しい場合もある。

### 配慮事項

- ①「自分だったら」と問うのに十分配慮が必要な内容を検討（例えば、正直、誠実の内容等、前提条件をおさえることが必要、この場合気持ちの軽重で問う）
- ②「自分だったら」と自分のことを言える学級集団かどうか（支持的風土づくり）
- ③発達段階の考慮が必要である(低学年は段階的に)

## 対話活動前

### 理由を記述

- ①主人公の生き方から
- ②友達の考えから
- ③自分自身のエピソードから(自己成長につながる)

## 対話活動後

三重県津市立北立誠小学校 4年1組実践より

## ICT機器を活用した学習

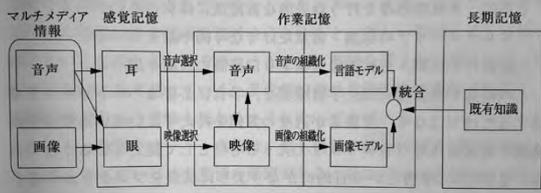
**メリット** 主体的な学びの保障：学習対象に対して自我関与を図る。個別最適化の学びへ。視覚的な情報により、理解しやすい。

**デメリット** 情報過多 社会的相互作用の減少  
※知と情の連動。認知的なアプローチから情動的なアプローチへ(道徳)エピソードと結ぶ

### 配慮事項

- ①二重チャンネル：人は、言語素材と映像素材を処理する際に別々のチャンネルを用いる。
- ②容量の限界：人は、各チャンネルで同時に少量の容量の素材しか処理できない。
- ③活動的な処理：学習者が学習過程において適切な認知的処理をしている場合、意味ある学習が生じる。

# ICT機器を活用した学習



(OECD 教育研究革新センター, 2013, p. 220 より引用)

図 6-4 マルチメディア学習の認知理論

出典: 立田慶裕 『生涯学習の新たな動向と課題』 放送大学教育振興会 2018  
第6章 テクノロジーの学習 P99

## 役割演技を取り入れた授業

上越市立高田西小学校 秋山佳子

### 私の道徳の教科化前の 道徳の授業への取り組みについて

あまり道徳に対して熱心に取り組んでいたとは言えない。

【困り感】

- ・ どんなことをするとよいのか分からない。
- ・ あまり子どもたちが発言しない。
- ・ 話はするけれど、ねらいを達成できない授業。

### 教科化になってから取り組み

- ▶ H30年度、現任校に赴任
- ▶ 校内研究のテーマ  
「他者と思いを伝え合い、自分の考えを深める子の育成」（道徳）
- ▶ 校内での道徳についての研修
- ▶ 上越市教育センター主催のセミナー等への参加

役割演技をすると、自分と違う考えに触れることができる。

演じた人以外も学びがあつて面白い。

自分のクラスの子もたちとしたら、どんな風になるのかな。

### 役割授業を取り入れた実践 主題や資料について

あいてのことを考えて（親切、思いやり）  
「まいごのすず」（学研）

自分が見たい映画を見るために急いで下校している途中で、持ち主が分からない鍵を見付けようとするべきか少年は悩む。悩んだ結果、「映画はまた見ることができる」と考え、鍵を届けに学校へ引き返す。

### 役割授業を取り入れた実践 ねらい

下校時に、落とし物を拾った登場人物の気持ちを考え、自分のやりたいことを我慢して困っている人を助けたいという葛藤する気持ちに共感させる。さらに、親切にした後の役割演技をする活動を通して、相手のことを考え親切な行為をする大切さに気付き、親切にしようとする態度を育てる。

### 役割授業を取り入れた実践 役割演技を取り入れた意図と場面

知らない人のものを拾うということは、だれにでも起こりうる状況  
「親切にすることは大切」はみんなが知っている  
しかし、知らない人に親切にすることは2年生の子どもたちにとって難しい状況である  
**鍵を届けた翌日の場面（教科所にはない場面）を役割演技**  
→親切にするよさについて実感を伴う理解  
→親切にしようという態度を育む

### 役割授業を取り入れた実践 授業の実際（導入）

**親切にしたことはありますか。**  
**そのとき、どんなきもちでしたか。**

- ・ おばあちゃんのかたをもむ。
- ・ 1年生に学校探検をした。

周りの人が喜んでくれた

### 役割授業を取り入れた実践 授業の実際（鍵を拾ったときについて）

**ゆうきさんは、鍵を見つめてどんなことを考えていたでしょう。**

- ・ 届けた方がいい
- ・ 学校に行けばいい

届けよう

- ・ 映画を見たいし、持ち主を捜したい
- ・ 渡したいけど、どうしよう
- ・ 家のかぎならいいから、家に帰りたいな。

迷い



<p>8.19道徳教育研究大会資料 道徳科授業の実践（低・中学年）</p> <p><b>道徳科授業において心がけていること</b></p> <p>上越市立柿崎小学校 教諭 林 誠仁</p>	<p><b>教職大学院で学んだこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①道徳科における評価</li><li>②ねらいの明確化</li><li>③場面分割、発問づくり</li><li>④自分の考えが深まる役割演技</li><li>⑤授業の振り返り</li></ul> <p style="text-align: center;"></p> <p>実際の道徳科授業で意識</p>
--	---

<p>①道徳科における評価</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○学習状況の評価</li><li>○指導を通じて表れる児童生徒の道徳性に係る成長の様子</li><li>○多面的、多角的な見方へ発展</li><li>○道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか</li></ul> <p>長期的な見取りによる個人内評価</p>	<p>①道徳科における評価</p> <p><b>○児童の道徳性は一人一人異なっているし、授業の受け止め方も一人一人異なる。</b></p> <p>ねらいをすべての児童に理解させなければならないと思うのではなく、</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>授業を通して、児童が自分なりの理解を得ることを大切にする。</p>
--	---

<p>①道徳科における評価</p> <p>児童の道徳性は、一人一人異なっている 授業の受け止め方も一人一人、異なる</p> <p style="text-align: center;"></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○子どもはどんな発言をするか？</li><li>○友達の発言から、自分の考えを広げるか？</li><li>◎楽しみながら、授業を行う</li></ul>	<p>②ねらいの明確化</p> <p>主題名 あたたかいところ B-（6） 親切、思いやり</p> <p>教材名 「はやとのゴール」 『みんなのどうとく1年』学研</p>
---	---

②ねらいの明確化

**教材の概要**

主人公のはやとはサッカーでゴールを決め、うれしくなっている。その帰り道に、近所のおばあさんが重そうに荷物を持って歩いている姿を見付け、しばらくついていく。困っているおばあさんを察知し、はやとは荷物運びを手伝う。おばあさんの家に到着し、おばあさんからお礼を言われ、はやとは何回もゴールを決めたようなうれしい気持ちになる。

おばあさんの家に到着したところから役割演技を行う。

②ねらいの明確化

**ねらい**

困っているおばあさんの荷物を持った後のはやととおばあさんを演じたり、演じている場面を見たりすることで、相手のことを考えて、優しく接することの大切さが分かり、親切な行為をしていこうとする態度を養う。



困っているおばあさんの荷物を持った後のはやととおばあさんを演じたり、演じている場面を見たりすることで、相手のことを考えて、**優しく接することは、相手も自分もうれしくする行為であることを理解し、親切な行為をしていこうとする態度を養う。**

③場面分割、発問作り

- 1 場面：困っているおばあさんを見付けた場面
- 2 場面：はやとが思い切って声を掛け、おばあさんが笑顔になる場面
- 3 場面：おばあさんの家に到着する場面（役割演技を行う）

**※挿絵を使い、読み聞かせながら授業を進める。**

③場面分割、発問作り

- 発問1：自分が困ったときに、だれかから助けてもらったことはありますか。
- 発問2：おばあさんを見たはやとさんは、**どんなことを考えていると思いますか。**
- 発問3：笑顔になってきたおばあさんを見た時、はやとさんは**どんなことを思ったでしょうか。**
- 発問4：はやとさんとおばあさんは、おばあさんの家の前に着きました。**二人はどんな話をしたと思いますか。**（役割演技）

④自分の考えが深まる役割演技

**役割演技を取り入れる際のポイント**

- 主人公と相手役が存在していること
- 児童の生活経験をもとにした行為が教材の中に含まれ、自我関与しやすいもの
- 教材の結末をカットしたり、最後まで読んだりしながら、その続きの場面を設定

④自分の考えが深まる役割演技

④自分の考えが深まる役割演技

### 観客が自分の考えを深める

○観客が演者の行為を通して、登場人物に自我関与しながら親切にされた時の思いを振り返ることができる。

「おばあさんが笑顔になったから、  
（はやとさんは）笑顔になった」  
◎観客は道徳的価値について実感的に理解

④自分の考えが深まる役割演技

### 演者が自分の考えを深める

○演者は、観客のリフレクションを通して、自分の行為を整理する時間が生まれる。

T「どうして、嬉しかったの」  
C「ありがとうって言われてうれしくなった」  
◎相手に優しく接することで、自分も嬉しくなることを実感を伴って理解。

## ⑤授業の振り返り

- 児童の発言をもとに振り返る。
- 授業中の発言を記録（メモ、ビデオ）
- 1年生は、7月ぐらいから感想を書き始める。
- 「授業の中で心に残ったことを書きましょう」
- 書くことが苦手な児童もいる。  
→友達の感想を読ませることで、自分の感じたことに気付かせる。

## 自分が大切にしていること

- 児童の生活の背景を考えて教材を吟味する。

「せんせい  
わたしの おうちね、  
おとうさん いないの」

## 最後に

### ◆道徳が好きな理由

- 登場人物に「自我関与」しながら自分の生活経験に基づいて自由に発言できる。
  - 友達の発言を聞いて自分と異なる考え方を知ることができる。
  - 発言できない児童も書くことで自分の考えを発信できる。
- 道徳科授業が「主体的、対話的で、深い学び」になっている

最後に

### 道徳科授業が「主体的、対話的で、深い学び」になるためには、

- ねらいを明確にし、児童の発言を楽しみながら授業を行う。
- 授業者は、児童の発言を傾聴し、生活の背景を基に児童の発言の真意を推し量る。
- あらかじめ決められた「答え」を終末に提示するのではなく、子どもの発言で振り返る。

令和3年度 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー道徳教育研究大会

## 子どもたちが主体的・対話的に学ぶ道徳授業

～令和2年度, 3年度 第4学年の実践から～

令和3年8月19日(木)  
上越市立稲田小学校  
梅澤ちひろ

1

### 主体的に学ぶ姿

- ・問題意識をもって学ぶ子ども
- ・発問に対して, 自分なりの答を出そうとする子ども

### 対話的に学ぶ姿

- ・仲間と対話し, 自分と異なる意見と向き合い, 考えを深めていく子ども

2

## 1. 視覚に訴える「やる気メーター」

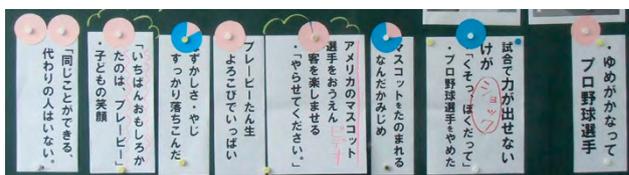
## 2. 対話を生む「思考ツール」

(1) フィッシュボーン (2) Yチャート (3) クラゲチャート

## 3. 「主体的な学び」・「対話的な学び」を可能にするGoogle Jamboard

## 4. 問題意識をもたせる手立て

## 1. 視覚に訴える「やる気メーター」

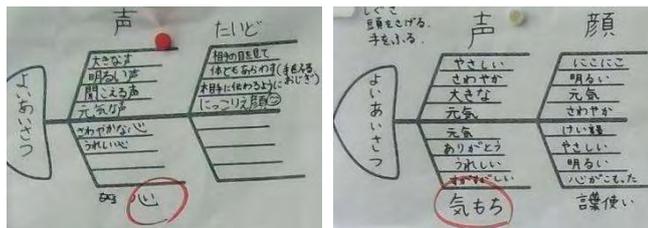


4

## 2. 対話を生む「思考ツール」

黒上晴夫・小島聖華里・桑山裕葉「シンキングツール～考えることを教えたい～」 [short.pdf.hs-lab.net/](https://short.pdf.hs-lab.net/) (参照 2021-07-24)

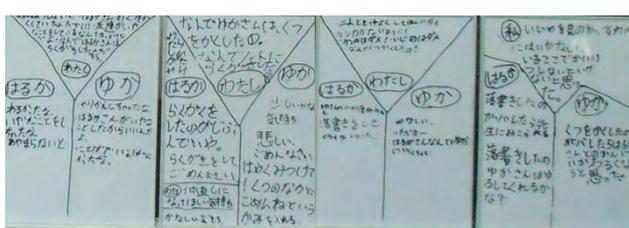
### (1) フィッシュボーン



5

## 2. 対話を生む「思考ツール」

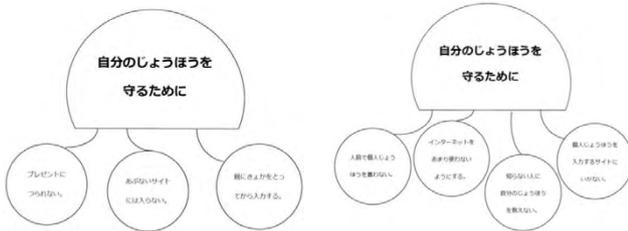
### (2) Yチャート



6

## 2. 対話を生む「思考ツール」

### (3) クラゲチャート

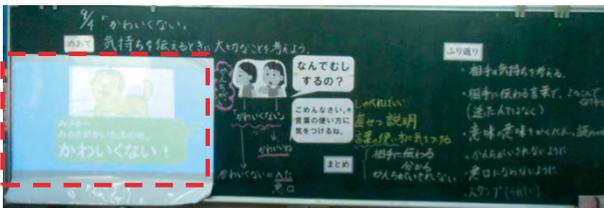


## 3. 「主体的な学び」・「対話的な学び」を可能にするGoogle Jamboard



## 4. 問題意識をもたせる手立て

### (1) PowerPointで疑似体験



ちさとへ  
ちさととメールができるなんて、とってもうれしいよ。  
メールでは、学校では言えないことや2人だけのひみつを書こうね。

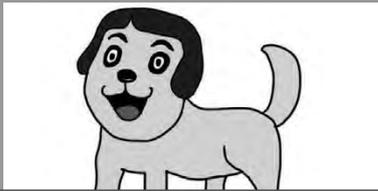
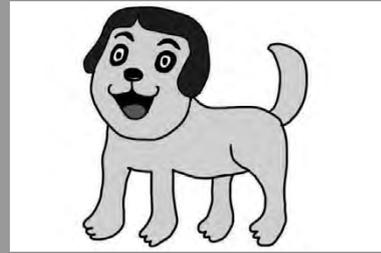
ちさとへ  
ちさととメールができるなんて、とってもうれしいよ。  
メールでは、学校では言えないことや2人だけのひみつを書こうね。

みさきへ  
さっそくメールをくれてありがとう。  
わたしもううれしいよ。

ちさとへ  
ちさととメールができるなんて、とってもうれしいよ。  
メールでは、学校では言えないことや2人だけのひみつを書こうね。

みさきへ  
さっそくメールをくれてありがとう。  
わたしもうれしいよ。

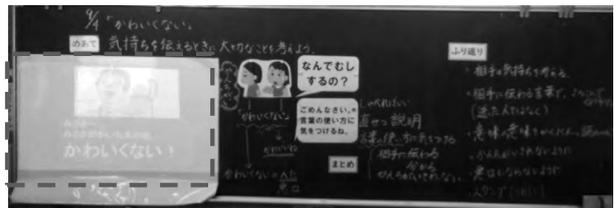
ちさとへ  
今、犬の絵をかくのがマイブームなの。  
この絵、どう思う？



みさきへ  
みさきがかいた犬の絵、  
**かわいくない！**

## 4.問題意識をもたせる手立て

### (1) PowerPointで疑似体験



## 4.問題意識をもたせる手立て

### (2) 補助資料の活用



## 子どもと共に学び 道徳授業を楽しみましょう



ご清聴ありがとうございました

教育出版「令和2年度版 小学校教科書のご案内 小学道徳 (はばたこう明日へ)」  
<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/2020shou/dotoku/index.html> (参照: 2021.07.18)

子どもたちが主体的・対話的に学ぶ道徳授業  
～令和2年度、3年度 第4学年の実践から～

令和3年8月19日(木)  
上越市立稲田小学校 梅澤ちひろ

<p>教材名【内容項目】主題 ○教材内容</p> <p>つながる やさしさ【B 親切, 思いやり】相手を思いやり ○登校時の低学年の児童とのやりとりを題材にして、思いやりの気持ちを相手に向けることよさを学ぶ。</p> <p>お父さんのラーメンがいちばん【C 家族愛, 家庭生活の充実】家族で協力し合っ</p> <p>○家族で進むラーメン屋での話を題材にして、家族を敬愛し、家族と支え合って生活することよさを学ぶ。</p> <p>ゆめは世界一のプロ野球マスコット(島野修)【A 個性の伸長】自分らしさをのびして</p> <p>○自分のよさを生かして活躍した野球選手の人生を通して、自分のよさをみがくことよさを学ぶ。</p> <p>十才のプレゼント【D 感動, 畏敬の念】美しいものにふれて</p> <p>○親から子への誕生日プレゼントを題材として、人の心や自然の美しさについて考える。</p> <p>かわいくない【B 礼儀】真心をもって</p> <p>○メールをすする際の友達とのやりとりを題材にして、礼儀の大切さを考える。</p> <p>雨のバス停りゆう所【C 規則の尊重】社会のきまりを守って</p> <p>○バス停留所でマナーを守らなかった児童とお母さんとのやりとりを通して、周りの人のことを考えて気持ちよく生活することの大切さについて学ぶ。</p> <p>ほっとけないよ【A 善悪の判断, 自律, 自由と責任】正しいことは自信をもって</p> <p>○友達をよくない行動を注意した児童を題材にして、正しい行動をすることよさを学ぶ。</p>	<p>実践上の手立て</p> <p>登場人物の挿絵から、表情の変化の理由を考える 低学年の児童の表情の変化に着目させて、「なぜ、泣き顔から笑顔に変わったのか」を考えさせた。</p> <p>登場人物の挿絵から、表情の変化の理由を考える 家族そろって食事をするこがあまりできない「わたし」の元気がない表情と、笑顔で店の手伝いをしている挿絵を比較して、「わたし」の心情の変化を考えさせた。</p> <p>やる気メーター 人生の節目での島野修氏の「やる気」を視覚化するこで、気持ちが大きく変化した場面を焦点化した。</p> <p>動画の視聴 教材に合わせて、日の出前後の山頂からの景色を動画で視聴し、登場人物が自然の美しさに感動した気持ちに共感させた。</p> <p>PowerPointで疑似体験 実際にメールやり取りしているような感覚を味わわせるために、スライドショーで臨場感を出した。</p> <p>ロールプレイ マナーを守らなかった児童と、いつもとは違う、怒った表情の母親役を代表児童2名に演じさせ、周りのことを考える大切さに気付かせた。</p> <p>思考ツール(Yチャート) 3人の登場人物の心情を考えたとき、少人数グループでのYチャートを使った話し合いを通して、より登場人物の気持ちに寄り添うことができた。</p>
--	--

<p>あいさつでつながる【B 礼儀】真心をもって</p> <p>○自身の挨拶を見直し、心をこめた挨拶をすることよさを学ぶ。</p>	<p>思考ツール(フェイスボード) よい挨拶とはどのようなものかを考えたとき、少人数グループでのフェイスボードを使った話し合いを通して、より深く、より具体的に「挨拶のよさ」を考えさせることができた。</p>
<p>守りたい自分のじょうほう【節度, 節制】自分でできることを考えて</p> <p>○安全に気を付けることの大切さについて考える。</p>	<p>思考ツール(クラゲチャート) 自分の情報を守るために大切なことを考えるとき、少人数グループでのクラゲチャートを使った話し合いを通して、より深く、より具体的に、自分の情報を守るために自分ができることを考えることができた。</p>
<p>絵はがきと切手【B 友情, 信頼】友達と助け合っ</p> <p>○友達から送られた郵便料不足のはがきを題材にして、友達のために自分がやることがあることについて考える。</p>	<p>ネームプレートで意思表示 絵はがきを送ってくれた友達に料金不足を教えるか教えないかを選択させてから学級全体で話し合うこで、問題を「自分事」として捉えやすくした。</p>
<p>タイガとココア【D 自然愛護】自然を大切に</p> <p>○多くの人々に愛されて成長したタイガとココアの話の題材にして、動物を大切にすることについて考える。</p>	<p>補助資料 釧路動物園のホームページから、タイガとココアの画像を見せた。教科書以外の資料にも触れるこで、より感情移入させた。</p>
<p>世界の子どもたちのために【C 国際理解, 国際親善】</p> <p>○日本と他国の文化の違いがあるこに気付く、世界の人々文化への理解を深める。</p>	<p>補助資料 資料に合わせて、他国の給食やプログラムの画像をPowerPointで提示した。教科書にはない資料に触れたこで、教材の内容がよりインパクトの強いものになった。</p>
<p>日本人が世界に広めたすこいもの【C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】</p> <p>○日本で発明された物品について話し合うこを通して、日本の文化を学ぶ。</p>	<p>補助資料 日本や日本人のよさに対する考えをより深めるために、教科書で紹介されているもの以外にも日本人が発明したり工夫を加えたりすること、世界に広まったものを画像で紹介した。日本や日本人のよさをより強く感じるこができた。</p>
<p>目覚まし時計【A 節度, 節制】自分でできることを考えて</p> <p>○目覚まし時計を題材にして、自分で生活をよくしていくこについて考える。</p>	<p>Google Jamboardの活用 Google Jamboardを使って意見を書き込んだ。友達のがりがリアルタイムに分かるこ、多くの意見に触れるこができるこ、学習意欲が高まったこが成果として挙げられる。</p>

**複数の道徳教材で単元化することを通して  
いじめ(差別)を見出し、差別をなくそうとする心を育てる**

**県内いじめ 過去最多2万件**

新潟市立亀田小学校  
教諭 松榮 尚樹

**授業実践(令和2年度4年生)  
学級の児童の様子**

- 自分の好きな子とだけ遊び、理由を付けて遊びを断る。
- 相手の痛みを考えず「ふざけて、調子に乗って」手を出す。
- 校内学校生活アンケートで、「いやなことを言われた、された」と回答する児童が多い。
- やっている側、見ている側には差別やいじめをしているという意識はない。
- 止める子はほとんどいない。

**授業者の思いの高まり**

いじめの認知件数が多いことは、よいこと？

↓

**道徳科の授業を変えることで、**

差別やいじめのない生活にしていこうとする心を育てたい

**松野博一 文部科学大臣からのメッセージ**

いじめに正義から向き合う「考え、議論する道徳」への転換に向けて

(加筆修正は松榮)

1月2日、いじめ防止対策推進法から、いじめの根拠を対抗に建てる議員がいた。文部科学省は、これに即した取組を様々な角度から総合的に進めてまいりました。

その中でも、是非特に関心するのは、**道徳科の教科書(道徳)の改訂**です。いじめの根拠を対抗に建てる議員がいた。文部科学省は、これに即した取組を様々な角度から総合的に進めてまいりました。

「考え、議論する道徳」への転換に向けて、広く知っていただくために、各都道府県で行う道徳科授業、道徳科授業への支援、道徳科授業の推進など、様々な取組を進めています。

道徳科の教科書(道徳)の改訂について、広く知っていただくために、各都道府県で行う道徳科授業、道徳科授業への支援、道徳科授業の推進など、様々な取組を進めています。

**授業者の思いの高まり → 単元化構想へ**

いじめの根源的要因となる差別を直視させ、差別やいじめに内在する問題を理解させる授業

↓

インパクトのある理解  
実践意欲を高める

↓

**複数の道徳教材を活用した単元構想**

**本単元の構想過程 その1**

**< 単元づくりで大切にしたこと >**

- (1) 単元を貫くねらい(児童に付けたい力)の明確化
- (2) 授業づくりで大切にしたい働き掛けの構成の工夫
- (3) (1)と(2)を可能とする教材の選定と位置付け
- (4) 単元を通して児童の意識がにつながる構想づくり

**本単元の構想過程 その2**

◎ (1)の単元のねらい(児童に付けたい力)の明確化

- ① 教材の問題場面からいじめ(差別)を見出すこと
- ② 被害者の辛さを理解すること
- ③ なぜいじめが起こるのかを理解すること
- ④ 自分ならどうするかを考え、納得のできる行動を見出すこと
- ⑤ 自分の生活の中で同じようなことがあることを理解すること

**いじめ(差別)を見出し、差別が起こる理由やそれがもたらす問題を考えることを通して、差別のない生活にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。**

**本単元の構想過程 その3**

◎ (2)の授業づくりで大切にしたい働き掛け

- A いじめ(差別)を見出させ、強い問題意識を促す働き掛け
- B いじめ(差別)がなぜ起こるのかを考えさせ、対話を促す働き掛け
- C 自分ならどうするかを考えさせ、いじめ(差別)問題の解決に向けた考えを促す働き掛け
- D 自分の生活の振り返りを促す働き掛け



## 複数の道徳教材での 単元化による授業実践の成果と課題

### 【成果】

- (1) 「単元を貫くねらい(児童に付けたい力)の明確化」について
  - ・ 3つある教材でも児童の意識がずれなかった。
- (2) 「授業づくりで大切にしたい動き掛けの構成の工夫」について
  - ・ A,Bを必ず入れたことで、差別やいじめへの判断力が付き、いじめの始まりを理解することができた。
  - ・ 教材によって重視する動き掛けを変えたことで、焦点化しながらねらいに近づけられた。
- (3) 「(1)と(2)を可能とする教材の選定と位置付け」について
  - ・ 教材1,2で、いじめの始まりとエスカレートする怖さを意識付けられた。
  - ・ 教材3では、その特徴を生かして問題意識をもたせ、未然防止の大切さを意識付けられた。
- (4) 「単元を通して児童の意識がつながる構想づくり」について
  - ・ 前の教材での学びの経験が、次の学びにつながった。

### 【課題】

- ・ 教師が介在したかわらせが多くなってしまった。



単元の主題 差別のない生活を！ (全3時間)

時	教材名	主な働き掛け	促したい児童の意識	授業者メモ
1	「このままではいけない」 (生きるⅡ) 公正, 公平, 社会正義	<b>A: (教材提示後) 何が問題?</b> <b>B: いじめはどのようにして起こるのか?</b>  C: 自分だったらどうする? D: ⑦~⑩に似たようなことは生活場面であるのかな?	A: いじめだ。ひどい。 B: ⑦最初は一部の子の意地悪→⑧繰り返し強くなる→⑨周りが乗っかる→⑩エスカレート→⑪傍観者も何もできない。仕返しが怖いから。 C: 自分なら〇〇する。 D: 似たようなことはある。自分たちの生活にもこんなにあるんだね。	被害者のつらさを十分に理解させた上で、Cは傍観者の立場で考えさせる。
2	「ひとりぼっちのYちゃん」 (光村図書) 公正, 公平, 社会正義	A: (教材提示後) 何が問題? B: 私(加害者)は、なぜいじめを始め、やめないのか?  <b>C: いじめが起きたら、自分だったらどうする?</b>	A: はじめは意地悪だったのにいじめにエスカレートした。 B: 軽い気持ちから始めるが、仲間が加わることでやめられなくなる。自分優先の弱い心。 C: 言えないときは、大人に伝えよう。こっそり被害者の味方になろう。自分にできることを考え、行動に移そう。	被害者のつらさを十分に理解させた上で、Bは加害者の立場で、Cは傍観者の立場で考えさせる。
3	「ちょっと待ってよ」 (光村図書) 公正, 公平, 社会正義	A: (教材提示後) 何が問題? B: (2)は友治を気遣っての行動じゃない? 差別なの? 差別を生んだ原因は? <b>D: それぞれの立場で似たようなことは生活場面であるのかな?</b>	A: これまでとは違うぞ。(1)は差別だけど(2)は...? B: 差別しているつもりはないが、された方は辛い。軽く言ったことが差別を生む。 D: 自分もしていたかも。自分がされたあのこともそうだったのかも。見ていたあのこともそうだったのかも。	正広の気付きから、差別に当たることを捉えさせる。Dでは、立場を限定せず、自分ごととして振り返らせることで、生活の中にある些細なことにも気付かせる。

※太字ゴシックは、その授業の中で最も重視した働き掛け

教材概要

第1教材「このままではいけない」新潟県同和教育研究協議会「生きるⅡ(小学校中学年用)」

トイレ掃除をしていたら(被害者)、「うんちきん」「きたない」「近寄るな」「きんがうつる」と言われ、周りにいた友達(観衆)が「遊ばない方がいい」と言って加担し、いじめが広がる。主人公(傍観者)は「このままではいけない」「どうしたらいいのだろう」と考えている。

第2教材「ひとりぼっちのYちゃん<公正, 公平, 社会正義>」光村図書「道徳4」

主人公(加害者)は転校してきたYちゃん(被害者)のことを、「楽しそうな子じゃない」「なんとなく好きになれない」という理由で「あっち行って」「話しかけないで」など意地悪を始める。すると、他の友達(観衆)もYちゃんのことを嫌うようになった。みんながいじめるようになったのを見て、主人公はYちゃんのことをかわいそうだと思ったが、今更味方をしたら今度は自分がみんなに嫌われると思い、意地悪はやめられなかった。それでもYちゃんは、「悪いところがあったら自分が直す」と言う。それを聞いた主人公は涙を流す。

第3教材「ちょっと待ってよ<公正, 公平, 社会正義>」光村図書「道徳4」

- [1] クラスの長縄練習で、女子(被害者)が失敗すると文句を言うが、男子が失敗しても笑って文句を言わない京一(加害者)。しかし、それを見ている主人公の正広(傍観者)は、何も言えなかった。
- [2] グループで発表の資料作りをしているとき、突き指をしている友治(被害者)に、「その指だときれいに貼れないから、見ていけばいい」「作業が遅れるといけない」という理由で、作業をさせない京一(加害者)と加担する静花(観衆)。見ていた主人公の正広(傍観者)は、今度は「ちょっと待ってよ」と言った。

「深い学びを導く『対話』」を目指して  
～今改めて、大切にしたいこと～



令和3年8月19日 (木)  
新潟市立宮浦中学校 佐久間 奈々子

1

道徳の授業であることの2つの条件

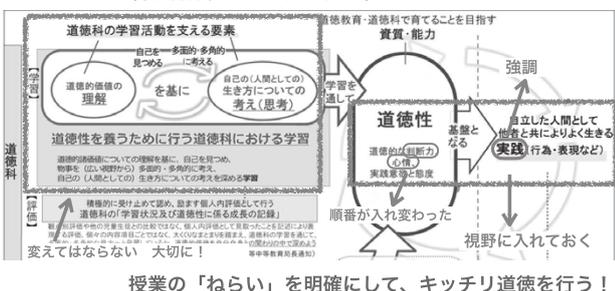
①道徳的価値の理解があること  
「新たな気づき (広がり)」と「深化 (深まり)」  
初めて考えたー! 「真理」「畏怖畏敬」「生きる喜び」  
ちゃんと考えたことなかったなあ... 「F 高められた友情」へ 「K 思いやり」から 「K 思いやり」へ

②人間としての生き方について深く考えていること  
このことだったんだなあ これからの私は... 「F 高められた友情」で 「K 思いやり」で

①と②を関連付けながら、  
主体的に考え、他者との対話によって学ぶ →深い学びに至る

2

小・中学校における道徳教育と資質・能力  
(中教審答申 2016. 12. 28)



授業の「ねらい」を明確にして、キッチリ道徳を行う!

3

「深い学びを導く『対話』」の手立て

思考ツールの実践紹介

- ①ホワイトボードミーティング  
ゆるゆるワールドカフェ
- ②ピラミッドランキング
- ③マトリクス
- ④心の花 (自作思考ツール)
- ⑤PMI

ピラミッドランキング

4

対話による深い学びの表出 「銀色のシャープペンシル」より  
発問「あなたが自分の弱みに負けそうになったとき、正しい方向へと導くものは何ですか？」

未来の自分...  
「なんて言うかな...  
未来の自分に恥ずかしくない生き方がしたい」

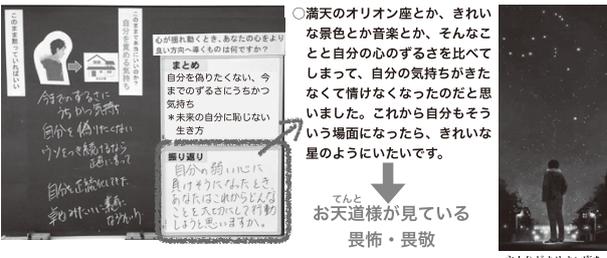
怒られたくない...  
それってどういうこと?  
自分にはない考えでした  
自分が逆にハズカシ...

「道徳ノート」への赤ペンでの加筆  
自分にはない考え・自分の中に取入れたい考え

語り直しによる学びの強化      対話による学びの深まり・広がり

5

「銀色のシャープペンシル」 「振り返り」 から



〇満天のオリオン座とか、きれいな景色とか音楽とか、そんなことと自分の心のすざを比べてしまっ、自分の気持ちがきたなくて情けなくなったのだと思います。これから自分もそういう場面になったら、きれいな星のようにいたいです。

てんと  
お天道様が見ている  
畏怖・畏敬

高められた道徳的価値で、人間としての生き方について深く考えている姿  
→この2つがあって道徳授業

6

「銀色のシャープペンシル」 この時の手立て

「ホワイトボードミーティング」  
「ゆるゆるワールドカフェ」 広がり

付箋に意見を書く (個)  
↓  
グルーピング (班)  
↓  
ラベリング (班)  
↓  
ワールドカフェ (個)  
(旅に出て、自分になかった考え、自分の中に取り入れたい考えの加筆)

これってどういうこと?  
うちの班にはなかった意見だ

ワールドカフェの様子

7

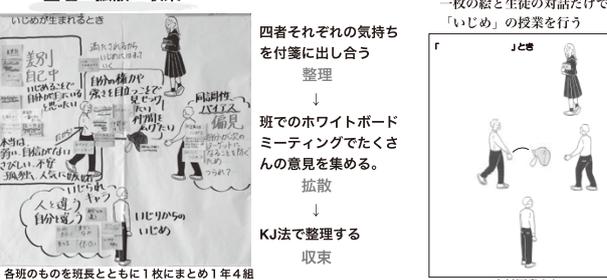
実践紹介「ホワイトボードミーティング」で「いじめの構図」を考える

整理→拡散→収束

いじめが生まれるとき

四者それぞれの気持ちを付箋に出し合う  
整理  
班でのホワイトボードミーティングでたくさんの意見を集める。  
拡散  
KJ法で整理する  
収束

一枚の絵と生徒の対話だけで「いじめ」の授業を行う



各班的ものを班長とともに1枚にまとめ1年4組が考えた「いじめの構図」とした

8

**実践紹介** ピラミッドランキングで「あなたなら、何ができる？」  
クラスで作成した「はじめの構図」からさらなる対話を促し、自我関与のある深い学びへ

「あなたがAさんだったら… 何ができますか？」

あえてランキングの軸を変える  
班→重要度 全体→難易度

一番できそうなことが、実は一番うれしいことに気づく「みんなで寄り添おう」がクラスの合言葉に！

9

**マトリクス (表) で「国際理解・国際貢献」比較・整理・分類**

日本の子どもたちにある「普通の生活」  
「普通の生活」とは何か… 始まる議論

深まる対話

いや… 異質じゃね？

「普通」って なんだろう？

国のため、家族のため… かな…

ホットだった話題に赤丸を付けさせ、再考を促す

私たちが自分のためじゃない？

最後は全部の班を併せて「振り返り」

6班	日本の子どもたち	世界の子どもたち
普通の生活 ・勉強 ・食料 ・お金	普通の生活 ・物も大切にできる ・お金の大切さ	普通の生活 ・物も大切にできる ・お金の大切さ

思考ツールを使った対話的な学びによって、深まり、広がっていく考え、新たな気づき

10

**「心の花 (自作思考ツール)」で「生きる喜び」拡散と再構成**

ワークシート「心の花」

11月 日(27日) 朝(朝) 朝(朝) 朝(朝) 朝(朝)

①最初の考え  
②友達の考え  
③作者の決断  
④再考再構成

ゆるゆるワールドカフェで花びらを広げていく

光村国書「撮れなかった一枚の写真」より  
\*イラストは美術科の同僚が描いてくれたもの

11

思考ツール「心の花」を考案 拡散・広がり・再構成

道徳で活用できる思考ツールとして、「心の花」(左図)を考案した。従来活用されている思考ツール「フィッシュ・ボーン」と「クラゲ・チャート」をもとに作成した。「心の花」の主眼ねらいは以下の4点である。

- ①自他の考えを可視化する。
- ②他者(教材含)との考えの異同を比較整理する。
- ③相互に自分の学びを共有し合う。
- ④自分の思考の再構成を図る。

「心の花」は、話し合いを取束や集約に向かわせるためのものではなく、自分の考えをもとに、友だちの意見を聞き、比較しながら思考を広げたり、深めたりする過程を可視するためのツールである。最後は花の中央部分に、改めて考えたことや感じたことを記入し、思考の再構成を図るとともに、変更にも気づくことができる。このツールによって、自分だけでは気づくことが難しい本時の道徳的価値について、他者(作者含)の考えを取り入れながら、考えを広げたり深めたりできるようにする。

12

思考ツール「心の花」  
実際の生徒のワークシート 「撮る」から「撮らない」へ

撮る(ワークシートはピンク) 撮らない(水色)意見が違う人、同じ人同士と対話。たくさんの意見をももら「旅」に出る。開花していく「心の花」

生徒同士の対話をどう生むか？

- ・対話的な学びをしなければならぬ状況に子どもたちをおとし入れる。
- ・可視化を図ることで、誰のどんな意見でどのように変わっていったか誰が見ても分かる面白さ。
- ・開花していく「花」の達成感と喜び。

13

「いじり見逃し」に取り組む全校道徳 整理・可視化・一貫性

PMIで「学級の『思いやり宣言』」

- ①個人でクラスのPMIをワークシートに書く。
- ②班でPMIをホワイトボードにまとめる。
- ③全体で共有しクラスのPMIをまとめる。

個→班 全体共有

クラスの思いやり宣言決定

14

**道徳で使いやすい「思考ツール」**

対話の目的	適する内容項目	適する思考ツール	ICT
収束	○生徒に身近で、思考経験がある項目 例：友情・きまりを守る・家族愛	ピラミッド	俯瞰 一貫性
拡散 再構成	○思考経験が少ない(ほぼない)項目 例：真理の探求・公德心・畏敬の念 生きる喜び	心の花	共有 比較
整理 分類 焦点化	○多様な考えを整理する ○見通しをもたせる	マトリクス PMI	

15

**「深い学びを導く『対話』」**

ICT活用の実践紹介

- ①ウェビングとクラゲチャート  
「生命尊重」
- ②Tチャート  
「誠実な生き方」
- ③ピラミッドランキング  
「集団生活の向上」

みんなが手を出せない  
「ピラミッドランキング」同じことをしています！  
タブレットじゃなきゃダメ？

4人全員が手を出している

16



**学習課題** 理想のリーダーとは、どのような人物か？

**「集団生活の向上」の授業**  
ロイロノート 思考ツール「ピラミッドランキング」  
1年生に3年生のピラミッドを見せる。  
→1年生の頂点は「声の大きい人」  
「足の速い人」...**学びの広がりと深まり**

**学習課題** 理想のリーダーとは、どのような人物か？

まとめ

まとめ

25

各班的シート

廊下に掲示

3班 4班 0

\*「フィッシュボーン」核心部での論点にズレが生じる場合もある

26

話し合いでは、タブレットを班で一つにする。あとはしまわせる。タブレットを倒し、中央に置き、全員が見えるようにする。全班分を「使用する」でノートに移す。カードの提出時のみ、生徒間通信のロックを解除する。

話し合いでは、タブレットを班で一つにする。あとはしまわせる。タブレットを倒し、中央に置き、全員が見えるようにする。全班分を「使用する」でノートに移す。カードの提出時のみ、生徒間通信のロックを解除する。

27

**タブレット道徳の**

子どもたちの感想

まとめ  
授業（学習課題）に対する学級の総意一共有

振り返り  
個人の学び、吐露共有

★共有をかける時には、書く前に生徒にこたわる。  
★共有の内容には細心の注意をはらう。特に生命尊重、友情  
★表面には表れない生徒の心の機微に敏感になる。

28

**道徳でタブレットを使用する際の留意点**

グループ学習の際に、子どもたちはどこに時間を割いているのかよく見とれる。対話はあるが、内容についての対話になっていないか、発話の内容と質、発話の分析や見極めをしっかり行うことが必要。  
モヤグチャさせっぱなしはダメ。授業では必ず「まとめ」「振り返り」で再構成を図る。  
授業者が「悔い」を覚悟し、しっかり見守る！  
タブレットでの共有は、多くの情報が一瞬で入ってくるので、他の意見との真偽を吟味し、再構成する時間の確保が大切。  
ワークシート記入の方が通している場合もあるので、何を授業の最優先にするのか検討し、活用を図る。タブレットありきではない。  
ワークシートや思考ツールを書かせ、写真に撮ってロイロで提出が一番いいような気がする！

**文字入力・タブレットのメリット**

- 漢字を書かず、漢字英字を打ちしないので、**文章を書く**という作業を減らすことができる。→**漢字の書き取り練習を減らす**ことができる。
- 漢字が読めなくても、**音声読み上げ機能**で読み上げることができる。→**漢字の読み取り練習を減らす**ことができる。
- 漢字が読めなくても、**音声読み上げ機能**で読み上げることができる。→**漢字の読み取り練習を減らす**ことができる。
- 漢字が読めなくても、**音声読み上げ機能**で読み上げることができる。→**漢字の読み取り練習を減らす**ことができる。

**文字入力・タブレットのデメリット**

- 見た目に凝って、文字装飾や操作に時間がかかってしまう。**Face to Face**が通った。
- わたしも自前画面を見ている時間が長い。生徒同士の対話はあるが画面を見ている。対話はあるが何について話しているか？操作が装飾
- 全員の手がかり、同じ操作ではなく、全員と比較共有できる。
- 全員の手がかり、同じ操作ではなく、全員と比較共有できる。
- 全員の手がかり、同じ操作ではなく、全員と比較共有できる。

実際に授業をやってみて気づいたことで、メリット、デメリットを踏まえての留意点！

29

**思考ツール「ピラミッドランキング」**  
集団生活の向上！ ICT活用

①各自の付箋を出し合う  
②ランキング  
グループ  
ランキングの同時進行  
③「まとめ」を書く  
④班のピラミッドを撮影し、ロイロで提出する

30

ロイロノートに画像を撮って提出  
俯瞰・共有・比較・検討  
分類・整理・再構成

31

「深い学びを導く『対話』」を目指して  
～今改めて、大切にしたいこと～

**まとめ**

- 思考ツールは**収束・拡散・再構成・整理・分類**を効率よく行える。
- ICTは**一貫性があり、俯瞰・共有・比較**を短時間でできる。  
支持的風土のある学級づくり、生徒指導を大切に道徳の授業をキッチリ行う！

**振り返り**

- 今はまだ、もしかしたらこの段階  
「どう使う？」→「どの場面で使う？」
- でも本当に考えなければならぬのは、  
→「なぜ使う？ 本当に必要？」

ipadの中で考えさせる？  
ipadを開いて考えさせる？  
ipadを離れて考えさせる？  
授業のねらいを明確にもつ！

32



生徒同士の対話をどう生むか？  
 ありがちなのは、指名された生徒と先生の問答型 一対教師だから授業が教習型（正解探し）になってしまう。  
 対話…生徒同士の問い返し、キャッチボール、時にツッコミ、時にフォロー  
 問い返し → ツッコミワード（生徒の言葉で）を示しておく

なんでもそう思ったの？  
 例えは？  
 どういう時にそうするの？

そんなことないよー！大丈夫！  
 じゃあこうなったらどうする？

えーっ？！そうだったけ～？  
 前にそう言ってたよー！

41

ロイロノートでは、  
 ノート管理とフォーマットの作成が重要！

「ノート」で授業管理  
 イラスト付きでUDL  
 ツールはPDFで書き出し  
 フォーマットを作る

赤ピン固定

42

教材や登場人物を窺にして・・・  
 自分を見つめる  
 うの自分

対話をとおして・・・  
 共に学ぶ  
 友に学ぶ

改めて・・・  
 自分を見つめる  
 うまでの自分 これからの自分

導入  
 展開  
 対話的な学び  
 終末  
 まとめ  
 振り返り

対話的な学びによって生じた、深化した価値で改めて自分を見つめ、人間としての生き方について考える。

独自の価値理解をより広げている、深まっている

ゆくゆくはクラウド化したいですが…  
 大人になっても、中学校の時の道徳の授業にアクセスしてくれらうれしいです。

道徳の授業であることの2つの条件  
 ①道徳的価値の理解があること  
 「新たな気づき」と「深化」  
 ②人間としての生き方について深く考えていること  
 ①と②を踏襲付けながら、主体的に考え、対話的に学ぶ  
 →深い学びに至る

43

宮浦ノート（道徳）の使い方（例）

ノートは1時間の授業で授業1ページを扱います。例え学年別の授業計画でもありません。自動的に授業で使用したワークシートを記録することもありません。ワークシートの書き出しもありません。

ワークシートの内容  
 授業での展開  
 ・自分の考え  
 ・実践の考え（色ペンで書きましょう）  
 ・新しい気づきのこと  
 ・気づき！この気づきから…  
 ・気づき！この気づきから…  
 ・気づき！この気づきから…  
 ・気づき！この気づきから…

「振り返り」は上段下段を実線で緩やかに分けている。  
 上段…これまでの自分は、  
 下段…これからの自分は、  
 で「書いてもよい」と示している。

①道徳的価値の理解があること  
 「新たな気づき」と「深化」  
 ②人間としての生き方について深く考えていること  
 ①と②を踏襲付けながら、主体的に考え、対話的に学ぶ  
 →深い学びに至る

44

第1学年A組 道徳 学習指導案

令和2年 月 日（ ） 限

授業者 教諭

1 主題名 約束（B-9）相互理解，寛容

2 資料名 「約束」（『輝け未来 中学校道徳1年』P110～114）

3 本時について

（1）ねらい

教材を通して、人は誰しも自分の狭いものの見方・考え方にとらわれて過ちを犯してしまうことがあることを理解し、それぞれの個性やものの見方、立場の違いに耳を傾けることが大切だということに気付き、謙虚に他者から学ぼうとする意欲を育む。

（2）展開

	教師の働きかけ	生徒の姿	留意点
導入 5分	○自分が失敗して相手が怒ってしまったとき、あなただったらどうする？	○前後、隣の生徒と意見交換をする。 ○考えを発表する。 ・気まずいので相手を避けるようにする。 ・自分からメールなどで謝る（直接は無理） ・時間が解決するのを待つ。	指名
展開前半 20分	○教材前半（～P111.020）まで読む。 「あなたは、亜紀子の行動をどう感じましたか？」  ○教材後半（P112.01～最後まで）を読む。 「もしあなたが亜紀子に相談されたら、何と返しますか？」	○前後、隣の生徒と意見交換をする。 ○考えを発表する。 ・約束を破られて腹が立つのはわかるから、無視しても仕方がない。 ・腹が立つのもわかるが、相手にも事情があるだろうから、聞いてあげるべきだ。 ・理由も聞かずに無視するのは感じが悪い。本当に友達なのか？ ・自分だってミスするのに相手を許さないのは心が狭すぎる。  ○ワークシートに自分の考えを記入する。 ○考えを発表する。 ・友達を失ってもいいのか。よく考えた方がいいよ。 ・麻衣子は、あなたのミスも許してくれたではないか。なぜ話も聞かないのか。 ・相手にも事情がある。今回は相手の事情を理解して許してみたらどうだろう？	意見を簡潔に板書する。
展開 15分	○班の形になって話し合わせる。 「仲直りに必要なものは何だろう？」	○班のメンバーでアイデアを出し合う。 ○ホワイトボードに書いたものを、学級全体で共有する。 ・時間・きっかけ ・相手が謝ってくれたり、自分が謝ったりするような雰囲気、タイミング ・先生などが場を用意してくれること。 ・相手の話を聞く態度。 ・自分ばかり正しいと決めつけない態度。	ホワイトボードを配布し、メンバーの意見をたくさん書かせる。
終末 5分	○今日の授業を通して考えたことをワークシートに記述する。	・ワークシートに記入	

【評価】・本時で話し合ったことをもとに、自分を振り返り、相手を理解しようとする寛容な心について考え続けようという決意や願いが道徳シートに記述されている。



第1学年A組 道徳 学習指導案

令和2年 月 日 ( ) 限  
授業者 教諭

- 1 主題名 約東(B-9) 相互理解, 寛容
- 2 資料名 「約束」 (『輝け未来 中学校道徳1年』P110~114)
- 3 本時について  
(1) ねらい  
教材を通して、それぞれの個性やものの見方、立場の違いに耳を傾けることが大切だということに気付き、謙虚に他者から学ぼうとする意欲を育む。

(2) 展開

導入 5分	教師の働きかけ ○教材を途中で読む。(最初~P112012)	生徒の姿 ○オウミングアッ ○教材を読む。	留意点
10分	「麻衣子は亜紀子に何を伝えたいと思えますか？」	○隣の生徒と意見を交換をする。 ○考えを発表する。くれないのかという怒り。 ・ なり話を聞いてくれないのかという怒り。 ・ わいという申し開き。 ・ 仲直りを訴える。 ・ 約束を破った謝罪。 ・ 一方的に怒らず話を聞いてほしいという願い。	意見を簡潔に板書する。
展開 25分	○考えてみたい問いを選ぶ。 ○「仲直り」はなぜ難しいのか？ ○「仲直り」に何が必要か？ ○「受け入れる」ことで得られるものは？ ○「受け入れる」には何が必要か？ ○多岐決で問いを決める。 ○話すルールを確認する。	○「仲直り」はなぜ難しいのか？ ○「仲直り」はハートフルが高い。 ・ 相手の反応が心配。受け入れてくれ るかも不安。 ・ 相手も勇気が出せず行動できない。 ・ 歩み寄る機会がほしい。 ・ 本音を伝えられぬ。 ・ 弱みを風義と相対するとき、どうする？ ・ 話し合えない状況の意見理解しようとする。 ・ 話し合える。合うなら譲ろう。譲らなければ譲ってしまおう。の關係でなければ放置する。 ●「受け入れる」ことで得られるものは？ ・ 自分と違う考えもあってもいい。 ・ 自分が100%正しい関係にはない。 ・ 相手とまいたいい関係になれる。 ●「受け入れられる」には何が必要？ ・ 相手の事情を「聴こう」という姿勢。 ・ 自分も失敗するときがあるという気付き。 ・ 相手と。話そう、知ろうとする行動。 ・ 相手で発言 ・ ワークシートに記入	ルールはあらかじめ印刷して目に入るようにしておく。 一斉授業 指名で発言する
終末 10分	○今日の話し合いを通して、自分の考えが変わったところがあるか聞こう。 ○今日の話し合いを通して考えたことをワークシートに記述する。		

【評価】・本時で話し合ったことをもとに、寛容な心を身に付けることについて考え続けようという決意や願いが道徳シートに記述されている。

【資料①】 考えるためのかぎ

- かんがえるための かぎ
- それってどういうこと？
  - 他の例はないかな？
  - なぜ？どうして？
  - 逆だったらどう？
  - でもね・・・、けどね・・・
  - どっちがいいかな？
  - 話をもとにもとそう
  - 静かにしてください
  - もういちど言ってください
  - 一度に話せるのはひとりでだよ

【資料②】 ルール

- みんなでかんがえるための きまり
- ボールを持っている人だけが話せる。
  - まだ話していない人にボールを回す。
  - 話せないときはパスができる。
  - 聞いている人のことを意識しながら話す。
  - 聞いているときはリアクションを返す。
  - 相手を傷つけるようなことは言わない。

こんな言い方、できるといいね！

- 「わたしは～だと思っただけど、〇〇さんの意見もいいね。」
- 「さっき〇〇さんが言ったことと少しちがうんだけど～」

【資料③】 評価 (ハンドサインなどで)

- 「自分の考えを伝える努力をしましたか？」
- 「他の人の考えに注意深く耳をかたむけることができましたか？」
- 「新たな発見がありましたか？」
- 「考えは深まりましたか？」
- 「セーフティーマーはどうでしたか？」

資料 4-2 令和4年度 上越教育大学 <sup>うえひろ</sup> 上廣道德教育アカデミー研究大会  
～特別支援教育における道德シンポジウム～

テーマ：「特別支援教育における道德のあり方 ～その理解と授業づくりの実際～」

※講師資料につきましては、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.uehiro-tokugaku.com/>



講演内容(敬称略)

●講演①

「特別支援教育の授業づくりにおける個別の指導計画の位置づけ」

藤井 和子 (上越教育大学大学院 教授)

●講演②

「特別支援教育における道德科の在り方と授業づくり」

吉本 恒幸 (聖徳大学 名誉教授)

●講演・演習①

「特別支援学級における道德科授業づくり ～子どもに合わせた授業づくりのポイント～」

笠井 善亮 (千葉県流山市立東深井中学校 校長)

●講演・演習②

「特別支援教育における道德科の授業づくりの実際と支援の工夫」

日置 健児朗 (熊本県立小国支援学校 教諭)

●シンポジウム テーマ「特別支援教育における道德授業の実際」

○シンポジスト(発表順)

- ・上越市立大町小学校 教諭 岩崎 裕
- ・三条市立大島小学校 校長 桑原 敦子, 教諭 川上 慶子, 教諭 片桐 治
- ・山口市立小郡中学校 教諭 和田 剛志

○コーディネーター

- ・吉本 恒幸 (聖徳大学 名誉教授)
- ・中島 秀晴 (上越教育大学 特任教授) (資料はございません)

## [道 徳]

## 知的障害特別支援学級における道徳科の授業の在り方 －特別支援学級における道徳科の工夫と、自立活動を関連させたユニットの提案－

岩崎 裕\*

### 1 主題設定の理由

岩龍（2010）は、「特別支援教育の対象となる子どもたちへの道徳教育に関する先行研究や実践例は非常に少ない」<sup>1)</sup>と述べ、特別支援学級における道徳の授業実践の報告が少ないという現状が示された。当時は、道徳の教科化に至っていなかったことを踏まえたとして、道徳の授業が自立活動や生活単元学習などの学習に代替されていたのではないかということや、児童の実態から道徳の授業の成立に困難さを抱えていたのではないかということが推察された。

道徳科は、小学校では、平成20年告示の学習指導要領の一部を改正することにより、平成30年4月1日より施行された<sup>2)</sup>。特別支援学校における道徳科の授業実施の現状は、平成29年度に全国特別支援学校長会が実施した全国の特別支援学校1,083校を対象とした小学部知的障害においては8.8%と、他の4障害種と比較し著しく低い値となっている<sup>3)</sup>。特別支援学級における道徳の授業実践の報告も少ない。以上のことから、教育課程上の位置付けや知的障害の特性による授業づくりの困難さが、低い値に起因しているのではないかと推察される。

筆者は、0小学校2年目に特別支援学級を担任した。特別支援学級では、個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づき、自立活動、国語、算数など、児童の実態に合わせて学習指導支援を行っている。児童は学校生活において友達との関わりで困り感を抱くことが多々見受けられ、その都度話し合いをして、相手を受け入れたり思いを伝えたりできるように指導を重ねてきた。そのことで、友達と関わるスキルは身に付けることはできたが、さらに、道徳科の学習において、道徳的価値を自分事として考え、理解を深めることを基に、よりよく生きる基盤を育むことが大切だと考えた。

ところで、自立活動は、特別支援教育の教育課程に設けられている、個々の障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための指導領域である。特別支援学校教育要領・学習指導要領解説では、その目標は、「個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を養う」<sup>4)</sup>ものとして定めている。筆者は、自立活動とは、「生活上や学習上での児童の困り感と向き合い、学びがつけられていく学習」だと捉えている。そして、特別支援学級では、学校生活全体で行われる自立活動が中核となって、学びが方向付けられていくと考える。

そのため、筆者は、次の視点から、道徳科と自立活動を関連させたユニットは有効ではないかと考えた。1点目は、自立活動の特性である。自立活動は、特別支援学級の児童が自立した生活をしていくための基盤を養うための中核にあり、その実態に応じて、あらゆる学習、場面で繰り返して行うことが肝要であること。2点目は、自立活動の内容と道徳科における道徳的価値の理解とは重なりがあり、重点的な指導内容によるユニットを指導計画上、組みやすいことである。

そこで本研究は、特別支援学級の子どもたちへの道徳科授業の効果を実践的に明らかにすることで、特別支援学級における道徳科授業の意義を考察するとともに、道徳科と自立活動とを関連させたユニットを提案することを目的とする。

### 2 研究の目的

特別支援学級の子どもたちへの道徳科授業の効果を実践的に明らかにすることで、特別支援学級における道徳科授業の意義を考察するとともに、道徳科と自立活動とを関連させたユニットを提案する。

---

\*上越市立大町小学校

### 3 研究の方法

(1) 対象 上越市内〇小学校 知的障害特別支援学級在籍児童4名  
A児；3年男子，B児；3年女子，C児；5年女子，D児；6年男子

(2) 期間 令和3年4月～令和4年3月

(3) 方法

- ① 個別の指導計画に基づいた自立活動の目標及び内容の吟味・選定
- ② 児童の実態に合った教材の吟味・選定
- ③ 自立活動と関連した道徳の授業実践（公開授業2回）

(4) 検証方法

MT・TTによる授業を展開し、

- ① 上越教育大学上廣道徳教育アカデミーをまじえた授業後の協議会による振り返り，意味付けと
- ② 校内研修による振り返り，意味付けをし，授業の効果と課題を明らかにする。

### 4 実践の概要

(1) 特別支援学級の概要

〇小学校の特別支援学級は，知的障害，自閉症・情緒障害，病弱の3学級が設置され，全11名の児童が在籍している。そのうち，知的障害特別支援学級の教育課程は，国語と算数においては，3年生2名は当該学年の内容，5・6年生は下学年適応の内容を学習している。国語，算数，自立活動，生活単元学習，総合的な学習の時間を特別支援学級で，他の教科，総合的な学習の時間，道徳，特別活動は交流学級で学習している。交流学級での学習面や生活面に支援の必要性が高いのが現状であり，課題でもある。

(2) 知的障害特別支援学級在籍児童の実態

知的障害特別支援学級在籍児童4名の実態と自立活動の目標を表1に示した。なお，個々の目標から「人間関係の形成」と「コミュニケーション」を中心に自立活動の重点内容として定めた。

表1 児童の実態と自立活動の目標

児童	実態	自立活動の目標
A児 (3年男子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感情豊かに気持ちや考えを表現する。</li> <li>・順序立てて相手に伝えることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えや思いを話し，言葉や文章で表現することができる。</li> <li>・困っていることがあったら，援助要求することができる。</li> </ul>
B児 (3年女子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が促すと，自分の言葉で気持ちや考えを表現することができる。</li> <li>・相手に聞こえる声で気持ちや考えを伝えることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わるように，自分の気持ちや考えを言葉で表すことができる。</li> </ul>
C児 (5年女子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちや考えを文章で表現することができる。</li> <li>・相手の気持ちを考えない言動がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な援助要求をすることができる。</li> <li>・自分の気持ちや考えを言葉で伝えたり，相手の気持ちを考えたりすることができる。</li> </ul>
D児 (6年男子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と話しながら，考えや気持ちを話すことができる。</li> <li>・思いを言葉で表現することが難しい。</li> <li>・適切なコミュニケーションの取り方がわからず，いきなり相手の体を触るなどして友達とトラブルになることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や先生との関わり方を考え，支援を素直に受け入れることができる。</li> <li>・自分の考えや思いを，言葉や文章にして伝えることができる。</li> </ul>

## (3) 自立活動と関連した道徳の授業実践

## ① 授業実践（公開授業 1 回目）

## ア 児童の実態

気持ちを言葉で表現することが難しく自信がないことから、感情的になり、自己本位になってしまっていて相手の気持ちを理解しにくいことが、クラス全体として共通した実態である。そのため、相手と分かり合うために、「勇気をもって相手に伝えること」や「相手の声に耳を傾けること」のよさや大切さを理解することで、「気持ちを伝え合いながら生活しようとする実践意欲や態度」が育まれると考えた。

## イ 自立活動との関連、自立活動と道徳（表 2）

内容（3）人間関係の形成（6）コミュニケーション

表 2 自立活動と道徳

事前	道徳科	事後
自立活動の指導 「自分の気持ちや意見を言葉にしよう」	「水やり係」	自立活動の指導 「相手の意見に耳を傾けて分かり合って生活しよう」

## ウ 教材について

主題名 気持ちをつたえ合って

内容項目 B-(10)「相互理解、寛容」

教材名 水やり係<sup>5)</sup>

## エ 本時のねらい

水やりの仕事をしなかったゆうかちゃんに理由をたずねる場面を役割演技で演じることを通して、相手の理解が得られるように思いを伝えると理解が得られることを実感的に理解し、互いの意見を交流し合うことで、互いを深く理解しようとする態度を養う。

## オ 支援の工夫

教材の場面ごとの視覚的提示、手作り表情絵カード（写真 1）、個別のワークシート、役割演技



写真 1 手作り表情絵カード

## カ 授業の様子（写真 2）（図 2）



写真 2 授業の様子

「ゆうかさん、水やりのことなんだけどさ、ちょっと聞きたいことがあるんだけど。ゆうかさん、水やりちゃんとしてよ。わたしは、ちゃんとしてるけど、今度はちゃんとしてね。分担替えとくね。」

図 1 D児の発言

図1は、D児が主人公の「わたし」になって、一緒に当番のゆうかさんに思いを伝えている場面である。本児は、自分の気持ちや考えを言葉や文章で伝えづらい児童である。そのため、作文や授業の振り返りなどは、教師のサポート無しでは、書き表すことが困難であった。しかし、本授業では、役割演技で相手を怖がることなく、思いを伝えることができた。教師のサポート無しで、その喜びが、振り返りのシートに書き表されている。

役割演技を演じるまでに、話を場面毎に区切って提示したり、表情絵カードを用いて登場人物の感情を視覚化したりすることで、状況的な理解と自分との関連で考える思考が深まった効果もあったのではないかと考える。

#### キ 成果と課題

##### <成果>

TTによる机間支援や教材の視覚的提示により、児童が授業に主体的に参加し続け、考え続けることができた。また、場面を区切って提示することで内容理解を深められた。役割演技や表情絵カード、個別のワークシートの活用により、相手に自分の気持ちを伝える姿が実現された。

##### <課題>

1つ目は、時間配分を見直すことである。導入と展開の時間配分を調整し、終末に振り返り、考えられる時間が生まれるように工夫するべきだった。2つ目は、役割演技で演じる際、教材の中の「わたし」に名前を付けた方がよかったことである。子どもたちにとって、演者の名前がないことで、「わたし」とは誰のことを言っているのか、混乱していた様子が見られた。3つ目は、役割演技後の話し合いの充実である。演じられた役割の意味が十分に解釈されずに終わってしまった。演じられた役割の吟味は、道徳的価値の意味の理解を深めるために不可欠である。4つ目は、児童の発言の意味の明確化である。踏み込んで問い返したり、子どもたちの言葉の意味を確かめたりしながら、学びを深められる時間にしたかった。

#### ② 授業実践（公開授業2回目）

##### ア 児童の実態

自分の考えや思いを表出しようとする姿や、互いを尊重しながらコミュニケーションを図ろうとする姿が見られるようになってきた。しかし、相手の気持ちを考えることには、まだ難しさが感じられた。

##### イ 自立活動との関連、自立活動と道徳（表3）

内容（3）人間関係の形成（6）コミュニケーション

表3 自立活動と道徳

事前		道徳科		事後
自立活動の指導 「気持ちを伝え合って生活しよう」		「たつきゅうは四人まで」		自立活動の指導 「相手の気持ちを考えて生活しよう」

##### ウ 教材について

主題名 友達とよりよい関係を築くには

内容項目B - (9)「友情, 信頼」

教材名 たつきゅうは四人まで<sup>6)</sup>

##### エ 本時のねらい

- ・相手の気持ちを考えることの大切さに気付く
- ・友達と互いに理解し合うよさを理解する
- ・友達とよりよい関係を築きながら生活していこうとする心情を養う

##### オ 支援の工夫

場面毎の視覚的提示（場面毎に教材を印刷したプリント）、手作り表情絵カード、個別のワークシート、役割演技

## カ 授業の様子（写真3，写真4）



写真3 授業の様子

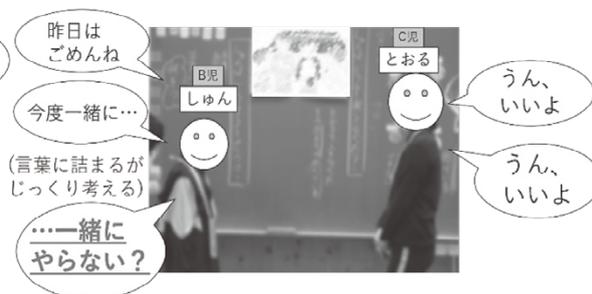


写真4 授業の様子

写真3は、しゅん役のA児が、とおる役のD児に対して、謝っている場面である。前回遊びを断ったしゅんが、謝り、「今度から入れてあげるね。」と言っている。それに対して、前回断られたとおるが「いいよ」と許している。

写真4は、同じ場面を別の演者で役割演技した場面である。しゅん役のB児は、「昨日はごめんね。」と謝った。これに対して、とおる役のC児は、「うん、いいよ。」と返した。すると、B児が、「今度一緒に…」と言ったところでしばらく次の言葉を考えた。自分なりに考えて出てきた言葉が、「…一緒にやらない？」という言葉だった。この言葉に、とおる役のC児は、写真3では見られなかった笑顔で「うん、いいよ。」と返している。

## キ 成果と課題

## &lt;成果&gt;

まず、時間配分についてである。スライド資料による視覚的提示により、内容の理解が深まり、さらに展開と終末の時間の確保につながった。次に、明確化についてである。1回目の授業実践の課題に挙げたが、言葉の意味や背景を演者にも観客にも確かめながら、子どもが何を言いたいのか捉えた。また、今何の話題なのか、意識的に整理した。

## &lt;課題&gt;

1つ目は、問いの具体化である。終末の個別のワークシートで、「友だちとよりよい関係をつくるには、何を大切にしたい？」と問うたが、問いが大きすぎ、授業の流れからかけ離れたものになってしまった。今日気付いたことやわかったことが、何か1つその子の中に落ちる問いの吟味が必要であった。2つ目は、考える内容の方向付け、ファシリテートについてである。先述のとおり、2回の役割演技での違いについて、明確にできなかった。1回目の役割演技では、遊びに入ることを許可しなかったしゅんは、とおるに謝ってはいる。しかし、その内容をみると、「今度に入れてあげるね。」と表現したように、しゅんと遊ぶことを「許可する」役割であることに変わりはない。入れて「もらう」、入れて「あげる」という上下関係を暗に感じさせるところに、とおるの納得が得られたとは考えづらい。それに対して、2回目の役割演技での「一緒にやらない？」という誘いは、やることもやらないことも、その判断はとおるに託されており、対等な遊び仲間として尊重されている。児童が抱く、客観的に言葉で表すことのできない違和感を手掛かりにして、互いに「信頼し」「助け合う」ことのよさの理解につなげられるファシリテーターとしての能力を高めていくことが、課題の具体である。

しかし、いずれの課題についても、実践したからこそ見つかったものである。その意味からは、「課題が見つかった」ことは、授業者としての最大の成果であり、今後の実践の中で、具体的に力を付けていきたい。

## 5 実践から明らかになった知的障害特別支援学級での道徳の授業の意義と在り方

## (1) 知的障害特別支援学級での道徳の授業の意義

普段の自立活動での児童同士、児童と教師との関わりなどの横のつながりによって、関係性が築かれていったことで、児童が安心して授業に参加することができた。

本実践までは、子どもたちは、道徳科の授業は全て、交流学級で受けていた。「内容が難しい」「何をやっているのか、わからなくなる」「話すのが嫌だ」「前に出たくない」など、多くの声やつぶやきを、筆者に正直に打ち明けてくれた。交流学級で道徳科の授業を受けることに対する率直な声や思いである。

しかし、特別支援学級で道徳科の授業を展開することで、子どもたちの姿に変化があった。それは、最後まで自分なりに主体的に考え続けたことや、勇気を出して友達の前に出て自分の気持ちを伝えたこと、友達の発言や反応に対して自分の気持ちを自分の言葉で伝えたことなどが実現されたことである。

## (2) 知的障害特別支援学級での道徳の授業の在り方

「自立活動－道徳の授業－自立活動」という、事前と事後の自立活動の間に道徳の授業を位置付けた展開が、知的障害特別支援学級での道徳の在り方の一つであると提案する。一人一人の自立活動の目標に近付くために、また一人一人の人間性や道徳性が育まれるために、自立活動と関連した道徳の授業を通して、子どもたちが自分との関わりで道徳的価値の理解を深めながら、障害による困難を克服する「学びがつくられていく学習」になると確信する次第である。

## 6 終わりに

特別支援学級は、保護者及び児童本人がその学級を選択している。私たち教員は、その選択を尊重し、選択した場を、責任をもって教育して守っていく立場にある。児童の学びが成立するために、児童の実態をよく見て聞いて話して、一人一人に寄り添った道徳科の授業の在り方を今後も追究していく。

※本稿は、上越教育大学上廣道徳教育アカデミーの「特別支援教育における道徳科の授業のモデルづくり」で実践した授業を基に、論文としてまとめたものである。

## 【引用文献・参考文献】

- 1) 岩龍大樹『特別支援学級における「道徳の時間」の検討－役割演技とソーシャルスキルトレーニングを用いた実践－』東京海洋大学研究報告, 2010年
- 2) 文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』廣済堂あかつき株式会社, 2017年
- 3) 齋藤大地「第1章 特別支援教育と道徳教育」(永田繁雄 監修『新時代を生きる力を育む 知的・発達障害のある子の道徳教育実践』ジヤース教育新社), p16, 2021年
- 4) 文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)』開隆堂出版株式会社, 2019年
- 5) 光村図書 道徳3 きみがいちばんひかるとき
- 6) 教育出版 道徳3 はばたこう明日へ

「特別の教科 道德」が全国の小学校でスタートしたその同日、平成30年4月1日に本アカデミーも開設しました。以来第Ⅰ期の3年間で、新潟県内の小中高等学校・特別支援学校への派遣事業を中心に据え、先生方に道德の教科化の意義、道德授業で学ぶ楽しさについて提案し、先生方と一緒に道德科の授業づくりについて考えを深めてきました。そして第Ⅱ期の2年間は、派遣事業に加えて、研修拠点校事業、特別支援教育における道德モデル構築事業に取り組み、少しずつ成果も見えてきました。

この2年間はコロナ禍にあり、夏の研究大会も2回ともオンライン開催となり、また、教職員向け自主セミナー（水曜セミナー）も今年度はオンラインとなり、画面越しですが遠方の先生方とすぐ隣にいる感覚でお話できる機会もできました。しかし、新潟県内の先生方の多くは、「対面」を希望され、感染対策を整えた上で子どもたちとの示範授業、先生方との模擬授業を交えた研修が絶えることはありませんでした。

上廣倫理財団には、第Ⅰ期の3年間に続き、こうして先生方が研修というものに慎重にならざるを得なかった第Ⅱ期の2年間にもアカデミーを繋げていただき、道德教育・道德授業づくりについて多様な研修内容と研修スタイルへと広げていくことができました。改めて深く感謝申し上げます。

先生方が道德の教科化をきっかけに、道德教育と道德の授業づくりに改めて意欲的に取り組む姿を目の当たりにして来られたことは、先生方の研修のお手伝いを使命とする本アカデミーの所員としてこの上ない喜びです。一緒に学んだ先生方が各地の道德教育を推進するリーダーとなり、一緒に授業をして共に考えた児童生徒の皆さんが教員となり道德教育の研究者となって私達の夢を繋いでいってくれたら…それは究極の幸せだと思います。上廣道德教育アカデミーを支えて下さっている多くの皆様にも感謝いたします。これからも夢の実現に向けてどうぞお力をお貸し下さい。よろしく願いいたします。

【上越教育大学上廣道德教育アカデミー】

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| ・ 統括監督者        | 林 泰成                |
| ・ 所長           | 早川 裕隆               |
| ・ 特任教授         | 小宮 健                |
|                | 田村 博久（2022年3月31日まで） |
| ・ 研修支援コーディネーター | 岩城 淑樹               |
| ・ 事務補助員        | 水澤 一（2022年3月31日まで）  |
|                | 荒井 郁恵（2022年4月1日より）  |
| ・ 上越教育大学担当事務局  | 研究連携課               |

---

上越教育大学上廣道德教育アカデミー  
第Ⅱ期（令和3年度～令和4年度）事業報告書

令和5年3月

発行 上越教育大学上廣道德教育アカデミー  
新潟県上越市山屋敷町1番地  
印刷 永田印刷株式会社  
新潟県上越市高土町3丁目10番3号

---

